【資料３】

第3次 富山市総合計画（案）

＜令和8年10月28日時点＞

基本構想（案）

基本構想

第Ⅰ部 総合計画の概要／4

1　総合計画策定の趣旨／4

2　総合計画の位置付け／4

3　総合計画の構成と期間／5

第Ⅱ部 富山市を取り巻く環境と課題／6

1　わが国を取り巻く状況と富山市における方向性／6

2　富山市の人口の将来見通し／8

3　富山市の財政状況／10

第Ⅲ部 基本構想／12

1　将来の都市像／12

2　10年後の市民が実感している幸せ―分野別のありたい姿／14

3　富山市の暮らしを支える都市のかたち／30

市長あいさつ

****
****
****

第Ⅰ部 総合計画の概要

1 総合計画策定の趣旨

富山市は、人口減少が大きな課題となる前から強い危機感を抱き、全国に先駆けて「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を中心施策に据え、「第2次富山市総合計画」に基づき、総合力の高いまちづくりに取り組んできました。

一方、富山市を取り巻く環境は近年大きく変化し、市に求められる行政需要がますます高度化・複雑化する中、課題も多様化しています。

少子高齢化や人口減少の進行に伴う地域のつながりの希薄化、担い手不足、そして価値観の多様化による合意形成の困難化など、私たち一人ひとりの生活に直結する「ひと」に関する課題が次々と生じています。

また、空き家や空き地の急速な増加や老朽化する公共施設や社会インフラ、化石燃料に依存したエネルギー構造、そして頻発する自然災害など、暮らしの土台に直結する「まち」の課題も山積しています。

これらの問題に対応するためには、これまでの取組を継承しつつ、スマートシティ政策によるDXの推進を軸に、さらに発展・深化させ、様々な施策を効率的に実施していくことが必要です。

これからの富山市が、多くの人を惹きつける魅力ある都市として輝き、市民一人ひとりが自分らしく幸せを感じ、その幸せを未来へと引き継ぐ都市となるため、「第3次富山市総合計画」を策定します。

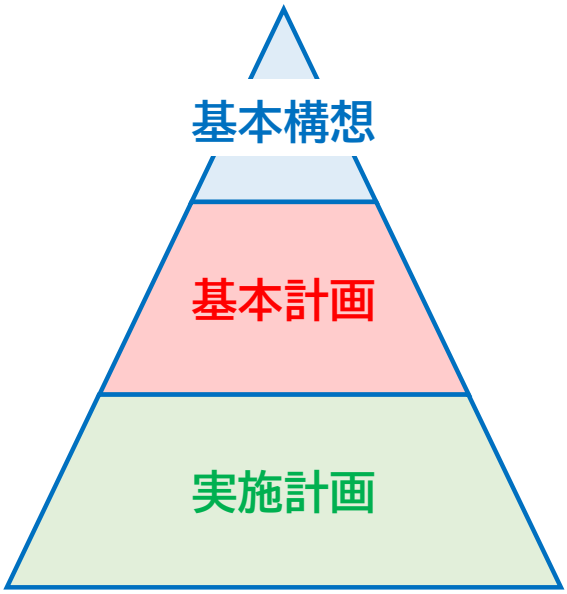
2 総合計画の位置付け

総合計画は、富山市のまちづくりにおける長期的かつ基本的な方向を示すものであり、目指すべき将来の都市像を明らかにし、その実現に向けた行動の指針として位置付けます。

また、総合計画は富山市の最上位に位置付けられる計画です。そのため各種個別の計画においては、本計画の内容を遵守するとともに、既存の計画については必要に応じて見直すものとします。

3　総合計画の構成と期間

総合計画は「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」で構成します。



(1)基本構想

基本構想では、長期的な展望のもとに将来の都市像と、市政における分野別のありたい姿(ビジョン)等を示します。令和9年度を初年度とし、令和18年度を目標年度とします。

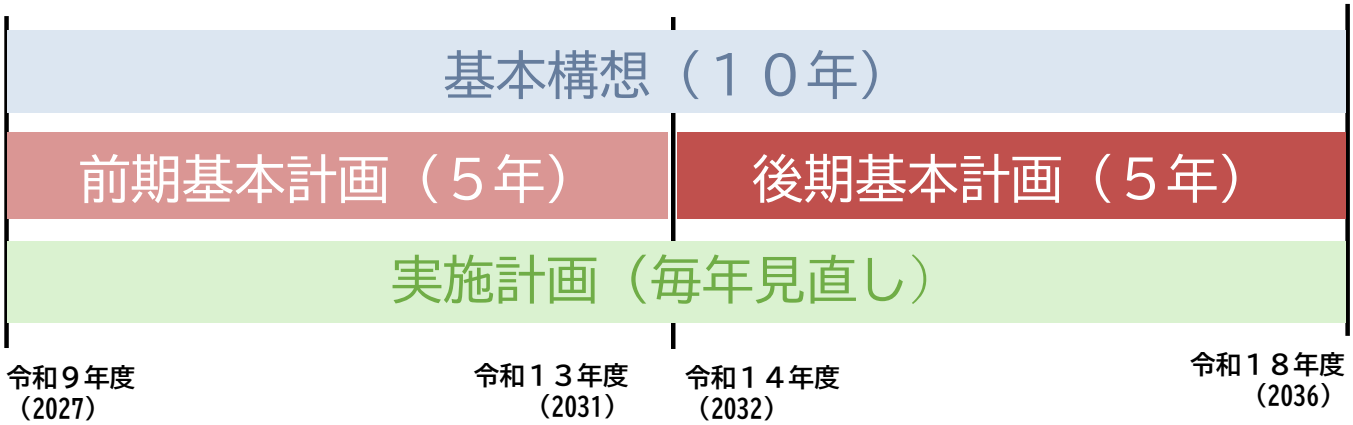
(2)基本計画

基本計画では、基本構想を実現するため、施策の体系化を行い、現状と課題を整理し、政策と施策等を示します。令和9年度から令和13年度までの5か年を前期基本計画、令和14年度から令和18年度までの5か年を後期基本計画とします。

(3)実施計画

実施計画では、基本計画に基づき、具体的な事業の年次計画等を示します。社会経済情勢の変化に的確に対応し、事業内容やスケジュールを毎年見直しながら、実効性の確保に努めます。

第3次富山市総合計画の期間は令和9年度から令和18年度までの10か年とします。



第Ⅱ部 富山市を取り巻く環境と課題

1 わが国を取り巻く状況と富山市における方向性

わが国を取り巻く状況は、経済・社会・環境など幅広い分野で変化しつづけています。第3次富山市総合計画では、これらの変化に対応できる計画とする必要があります。



少子高齢化の進行

当面は高齢者人口が高止まりし、年少人口と生産年齢人口は減少が加速することで少子高齢化が進行

これからの方向性

持続可能なまちづくりには、デジタル技術の活用により「コンパクトなまちづくり」を深化させる必要があります。



こどもを中心に据えた社会づくりの気運の高まり

令和5年4月、こども家庭庁が発足し「こどもまんなか社会」の実現を宣言

これからの方向性

「こどもまんなか応援サポーター」を宣言している富山市においても、こどもを中心に据えた施策の展開が必要です。



デジタル技術の進展

AIをはじめとしたデジタル技術の急速な進歩により、日本の行政においてもデジタル化が急務に

これからの方向性

地域課題解決や行政運営の効率化を実現するため、DXの取組を推進する必要があります。

激甚化する災害



甚大な被害をもたらす地震や台風、集中豪雨など大規模自然災害が多発

これからの方向性

防災に向けた基盤整備や「自助・共助・公助」の災害対策、災害時に迅速に対応できる体制構築が必要です。

脱炭素化の必要性の高まり



パリ協定に基づき、わが国においても2050年までの温室効果ガス排出実質ゼロが目標

これからの方向性

脱炭素社会の実現に向け、省エネルギー化やGXの推進など、地域が一体となった取組が必要です。

公共施設等の老朽化



高度成長期に整備された公共施設や社会インフラについて、全国で一斉に更新時期が到来

これからの方向性

公共施設・社会インフラの長寿命化や更新に向けて、緊急度・重要度を踏まえた賢い対策が必要です。

地域社会の多様化



国籍や文化の多様化が進む中、互いの違いを認め合う多文化共生の社会づくりが課題に

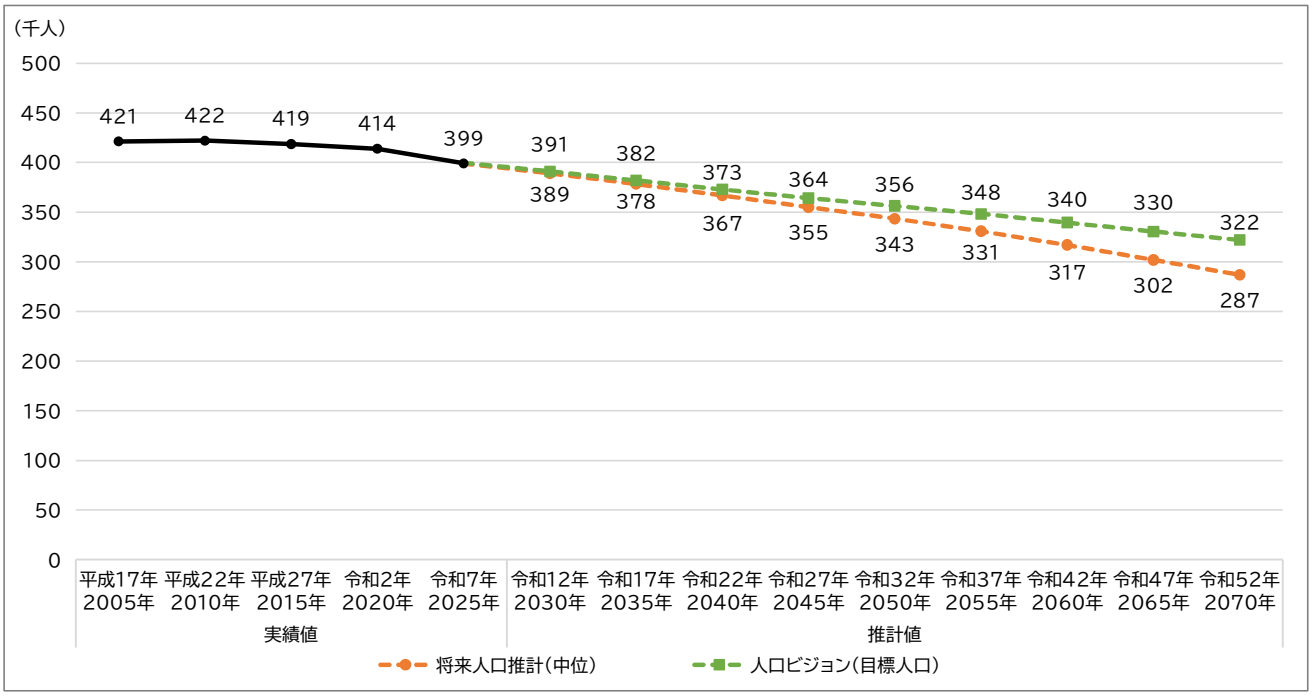
これからの方向性

国や県とも連携しながら、お互いの「違い」を尊重し、誰もが暮らしやすい社会づくりに取り組むことが必要です。

2 富山市の人口の将来見通し

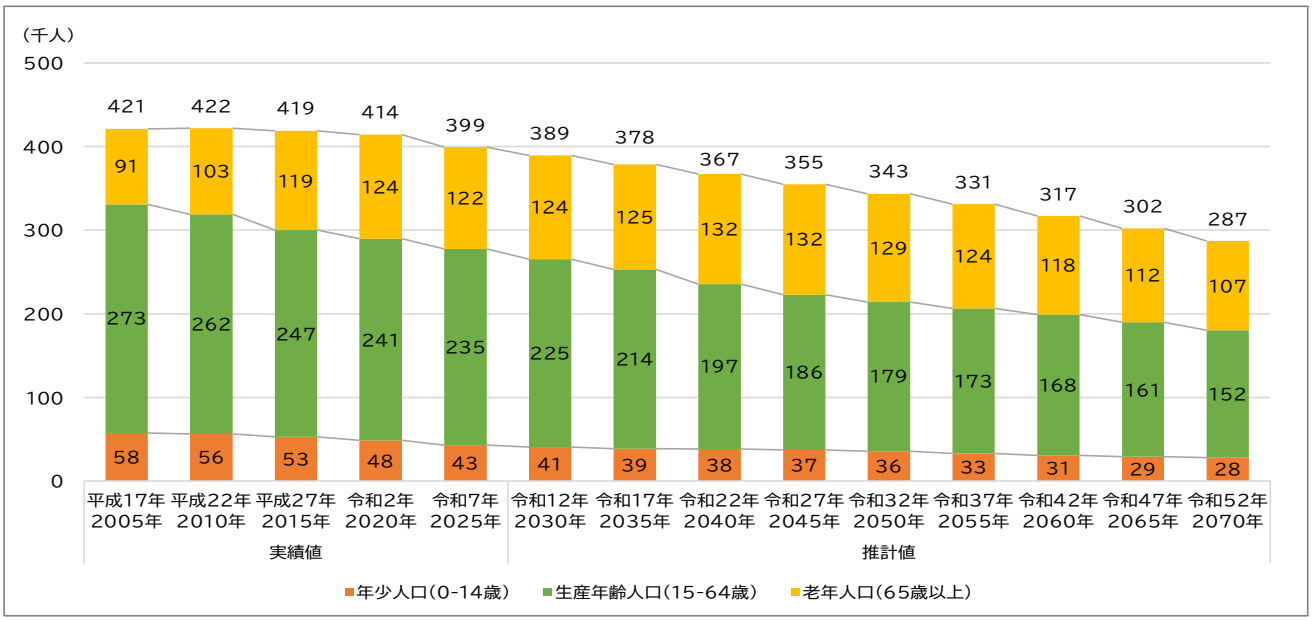
- 富山市の人口は、平成22年(2010年)の約42万2千人をピークに減少に転じており、将来人口推計によると令和52年(2070年)には約28万7千人と30万人を下回ることが見込まれています。
- 富山市が令和7年(2025年)3月に策定した「富山市人口ビジョン」では、令和52年(2070年)に人口32万人程度を目標人口として設定しています。

[人口の将来見通し]



- 年齢構成別人口は、年少人口(0-14歳)・生産年齢人口(15-64歳)の減少が続く一方で、老年人口(65歳以上)は、令和22年(2040年)年まで増加傾向が続くと見込まれています。

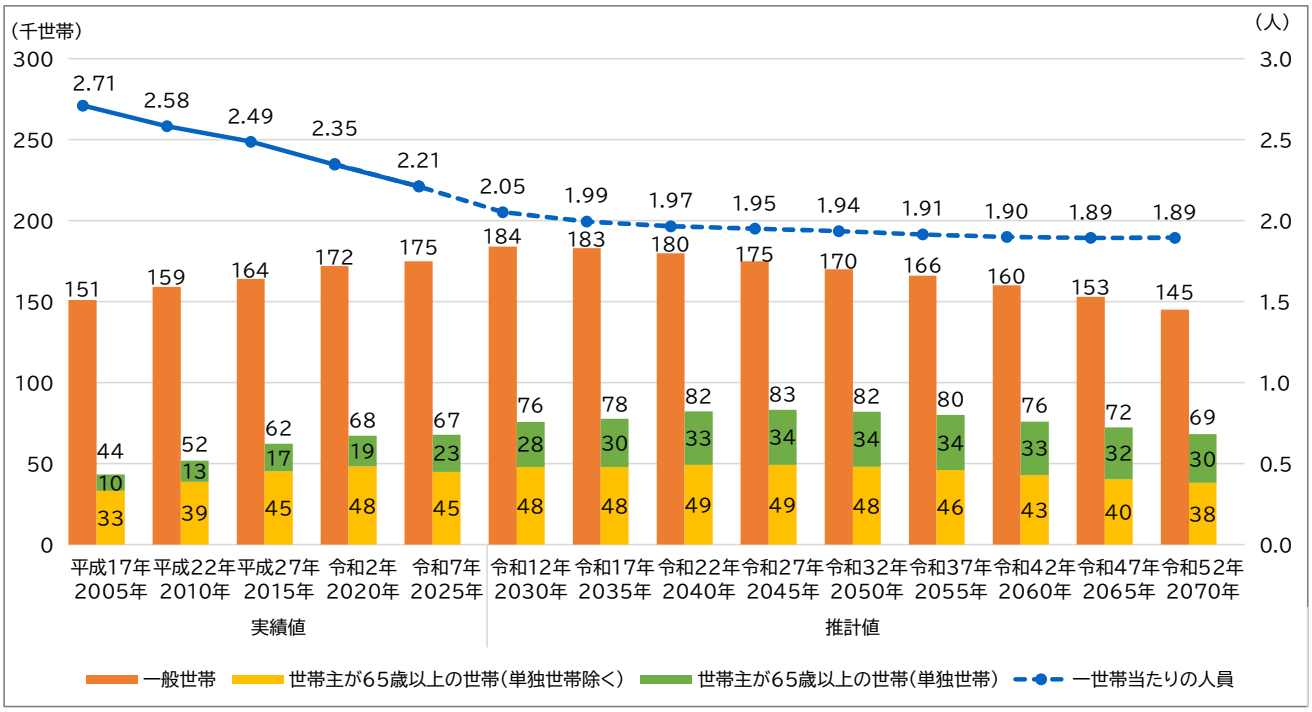
[年齢3区分別の人口構成比]



※数値は四捨五入しているため合計が一致しない場合があります
出典:富山市将来人口推計報告書、富山市人口ビジョン、総務省「国勢調査」

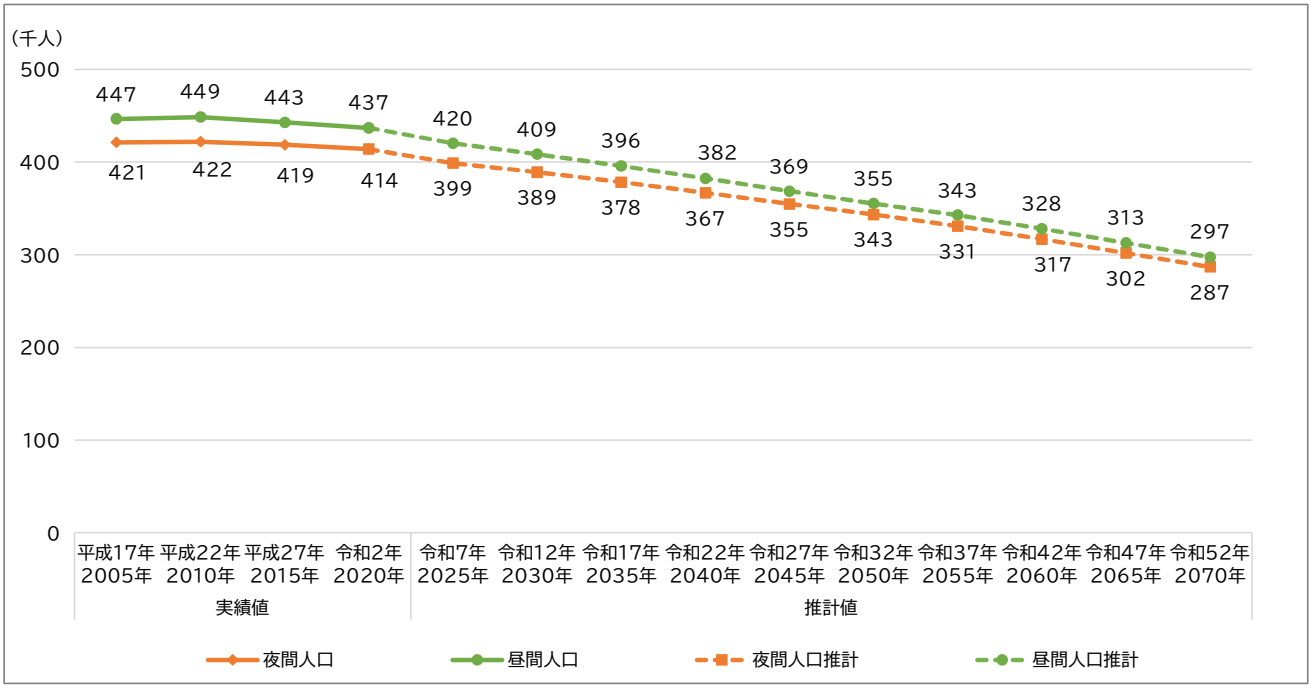
- 一般世帯は、令和12年(2030年)までは増加傾向にありますが、その後減少に転じ、令和52年(2070年)には約14万5千世帯になると見込まれています。
- 世帯主が65歳以上の世帯は世帯数が減少に転じた以降も、当面は増加する見込みです。また、令和27年(2045年)には、世帯主が65歳以上の世帯が一般世帯のおよそ半数になることが見込まれています。
- 一世帯あたり人員数は、減少傾向にあり、令和17年(2035年)には2人を下回ると見込まれています。

[世帯数と一世帯あたり人員数の将来見通し]



- 昼間人口と夜間人口は、共に平成22年(2010年)から減少に転じており、昼間人口と夜間人口の差は小さくなるものと見込まれています。

[昼夜間人口の将来見通し]

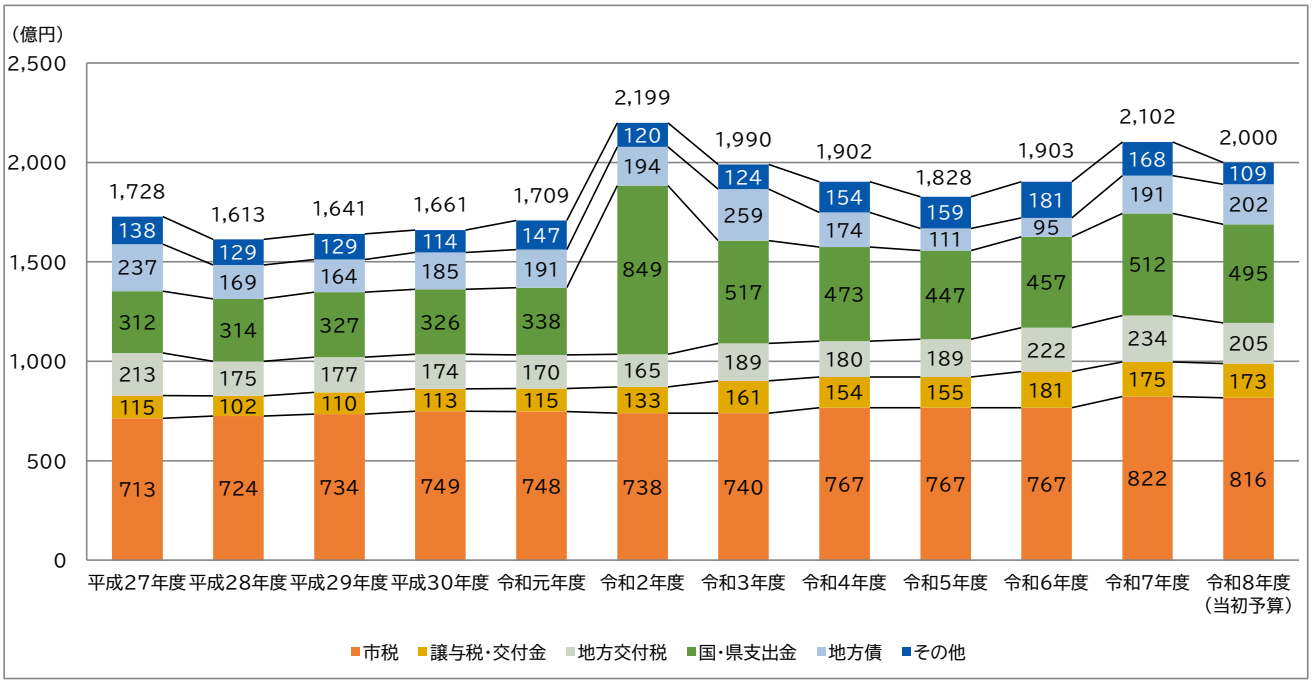


※数値は四捨五入しているため合計が一致しない場合があります
出典:富山市将来人口推計報告書、総務省「国勢調査」

3　富山市の財政状況

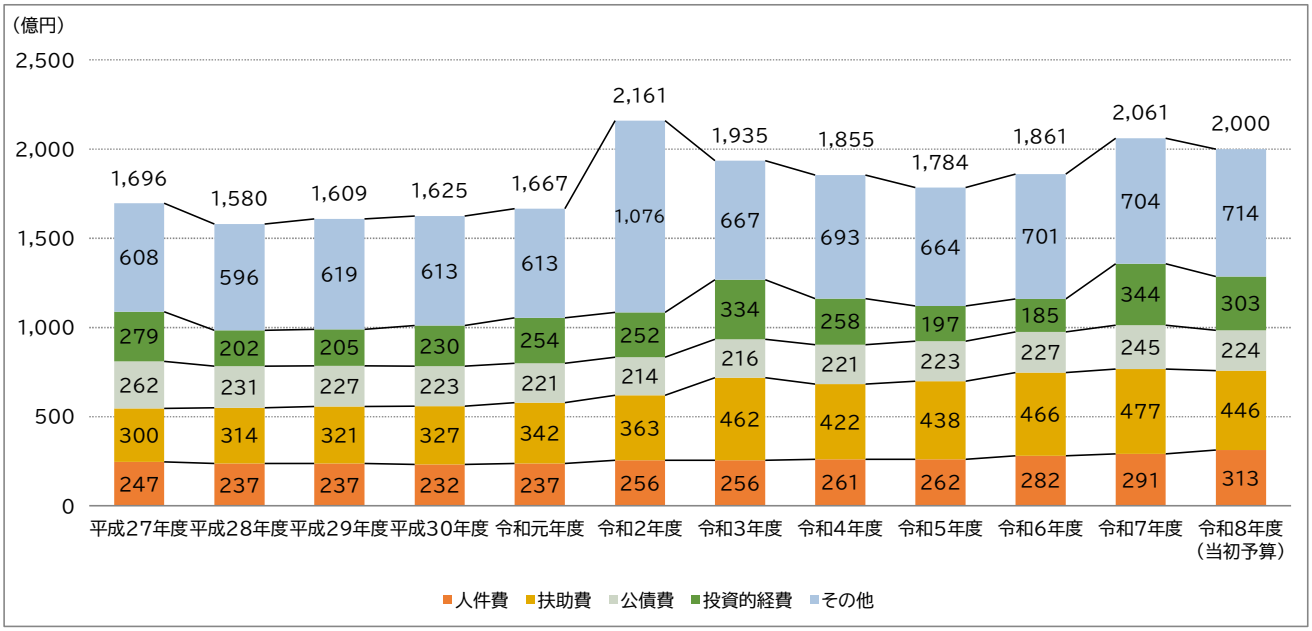
- 歳入総額は令和2年度から令和5年度まで減少傾向にありましたが、その後増加に転じ、令和7年度は2,102億円でした。
- 市税は増加傾向にあり、令和7年度は822億円でした。

[歳入総額の推移(普通会計)]



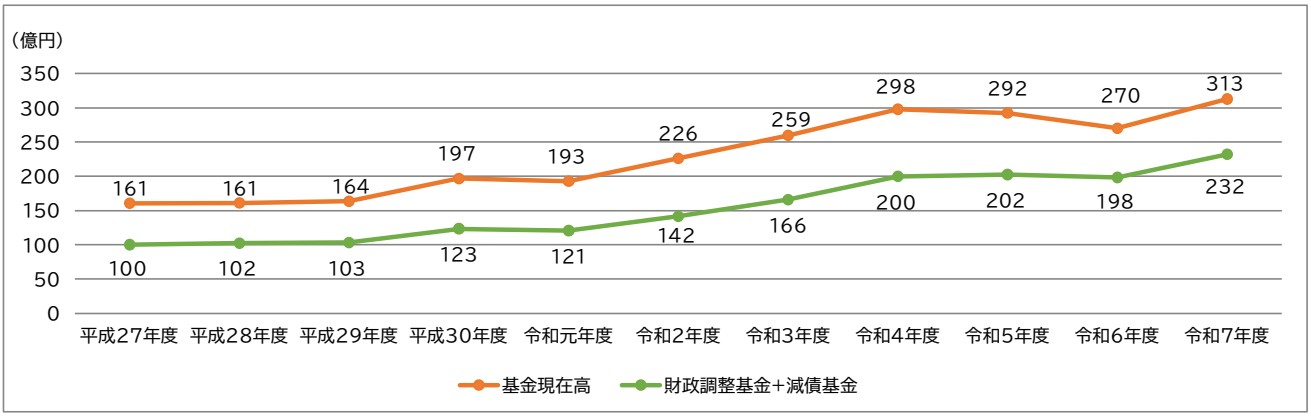
- 歳出総額は令和2年度から令和5年度まで減少傾向にありましたが、その後増加に転じ、令和7年度の歳出総額は2,061億円でした。
- 人件費・扶助費・公債費を合わせた義務的経費全体は増加傾向にあり、令和7年度は、1，013億円でした。

[歳出総額の推移(普通会計)]

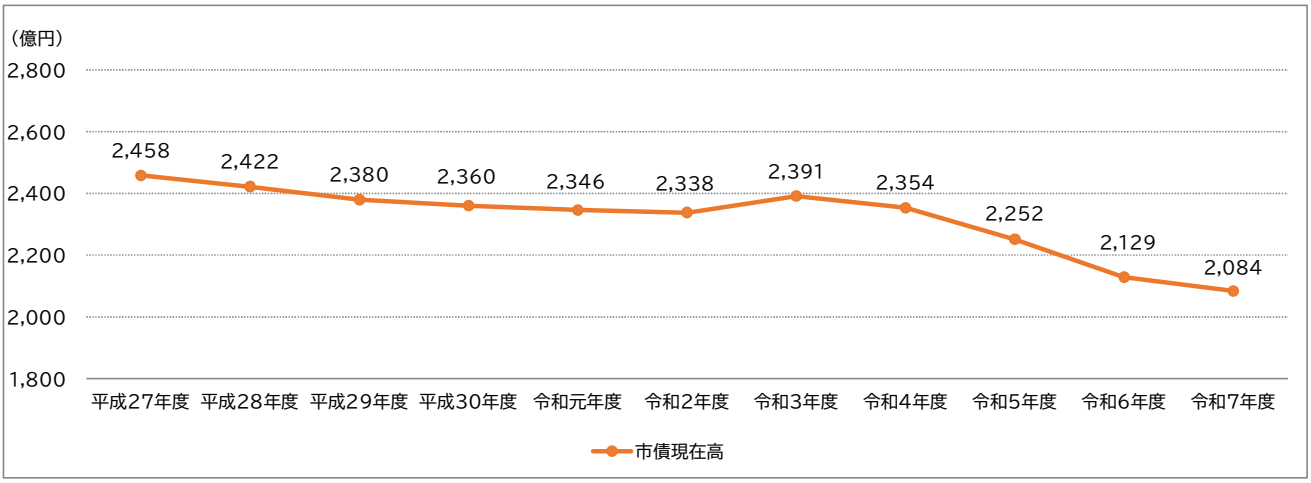


- 基金現在高は増加傾向にあり、令和7年度は313億円でした。
- 市債現在高は減少傾向にあり、令和7年度は2，084億円でした。

[基金現在高の推移(普通会計)]



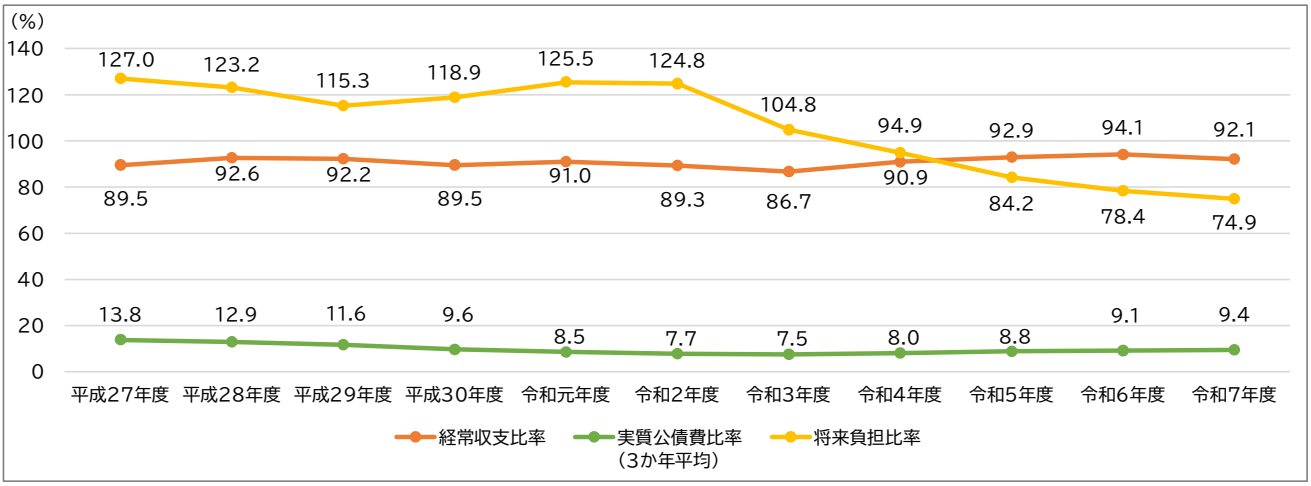
[市債現在高の推移(普通会計)]



- 経常収支比率は令和3年度から令和6年度までは上昇傾向にありましたが、その後低下に転じ、令和7年度は92.1%でした。
- 実質公債費比率は低下傾向にありましたが、令和4年度から上昇に転じ、令和7年度は9.4%でした。
- 将来負担比率は減少傾向にあり、令和7年度は74.9%でした。

※経常収支比率:財政構造の弾力性を判断する指標、比率が低いと財政の自由度が高い。(令和6年度中核市平均93.2%)
※実質公債費比率:公債費に係る財政負担を表す指標、比率が高いと財政が硬直化する。(令和6年度中核市平均5.2%)
※将来負担比率:将来財政を圧迫する可能性を示す指標、比率が低いと将来の負担が少ない。(令和6年度中核市平均16.6%)

[財政状況の推移]



第Ⅲ部 基本構想

1 将来の都市像

将来の都市像

幸せ日本一のまち・とやま
－誰もが挑戦でき、支え合い、活き活きと心豊かに暮らせる持続可能な都市へ

「幸せ日本一のまち・とやま」を実現するため、「ひと」と「まち」の両輪から未来を描きます。

幸せ日本一のまち・とやま
－誰もが挑戦でき、支え合い、活き活きと心豊かに暮らせる持続可能な都市へ





wheel 1 ひと

誰もが自分らしく学び、
充実した日々の中で
富山での暮らしに誇りを持てる社会

wheel 2 まち

暮らしやすく移動しやすい、
自然災害や社会変化にも
対応できる都市

将来の都市像に込めた思い

富山市がこれからの姿を描くにあたって、大切にしたいと考えたのは「幸せ」という言葉です。一人ひとりが「幸せ」と感じることこそが、社会全体を支える力になるからです。

市民の皆さんにとっての「幸せ」とは何でしょうか。家族と安心して暮らすこと、やりたいことに挑戦できること、地域の仲間と支え合うこと…。一人ひとりの幸せが積み重なって、社会全体の幸せへと広がっていきます。富山市が目指すのは、そうした小さな幸せが循環し、大きな力となり、その幸せを未来へとつなぐ都市です。

その中心にあるのが「ひと」です。市民一人ひとりが安心でき、自分らしさを発揮し、人とのつながりの中で楽しみを見つけ、充実した日々を送ることが欠かせません。誰もが自分らしく学び、働き、富山の暮らしに誇りを持てる社会を目指します。

同時に、「まち」がその社会を支える基盤となります。交通や防災、美しい自然といった暮らしの土台が整い、先人たちが紡いできた伝統文化が守られ、新しい文化や賑わいが育まれていくことが、市民の生活をより豊かにします。暮らしやすく移動しやすい、自然災害や社会変化にも対応できる、持続可能な都市を築いていきます。

「ひと」と「まち」の両輪が共に輝くとき、誰もが幸せを感じ、夢と希望を持って暮らせる、「幸せ日本一のまち・とやま」が実現します。

2　10年後の市民が実感している幸せ
―分野別のありたい姿

「ひと」と「まち」の両輪が輝く「幸せ日本一のまち・とやま」を、もう少し具体的にイメージしましょう。市政を14の分野に分けて、10年後の市民が実感している「幸せ」を市民の皆さんの声から考えました。

ひと	1	健康・福祉・医療
	2	結婚・出産・子育て
	3	教育
	4	スポーツ
	5	地域コミュニティ
	6	郷土愛
	7	行政・パートナーシップ
まち	8	都市・交通
	9	防災・防犯
	10	産業・雇用
	11	観光・交流
	12	農林水産
	13	環境
	14	文化・芸術

分野
01

健康・福祉・医療



2036年
市民の
幸せ実感

困ったとき、助けてくれるひとがいる。
この地域で暮らせて、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 市民が、自ら健康づくりに取り組み、活き活きと暮らしている。

運動や食生活改善などの生活習慣病予防や、検診の受診による早期発見・早期治療の取組が広がり、健康寿命が延びています。

② 地域の人々が、つながり合い、誰も孤立していない。

地域住民や地域の多様な主体のつながりが広がり、困りごとを抱える人も地域の中で安心して暮らせています。

③ 高齢者や障害のある人が、自分らしく、安心して地域で暮らし、活躍している。

高齢者や障害のある人に対して、介護や福祉サービスが整い、一人ひとりが尊重され、地域で役割を持ちながら生活しています。

④ 保健・福祉・医療が、切れ目なく連携し、誰もが住み慣れた地域で必要な支援を受けられている。

保健・福祉・介護サービスと医療機関が連携し、必要な支援の途切れがなく安心して生活できる体制が整っています。

【姿のもとになった市民の声】

- 10年後も、健康に家族と暮らしたいです。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）
- 困ったときに、手助けしてくれる人がいると安心できる未来になると思います。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）
- 障害のある人を含めた地域のイベントを実施して、常日頃から顔見知りになるようにしたい。（富山市地域福祉計画／地域懇談会）
- 社会を支えてきた高齢者に、必要な支援が届く社会になっていてほしいです。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）

分野
02

結婚・出産・子育て



2036年
市民の
幸せ実感

自分らしく描く未来への希望。
描いた希望がかなうって、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 若い世代が安心して結婚や出産を考え、希望をかなえている。

経済的な不安や仕事と家庭の両立の課題を減らし、安心して家庭を築ける環境が整っています。

② 妊娠・出産から子育てまで、切れ目なく安心して支援を受けられている。

妊娠期から子育て期まで、途切れることなく様々な相談や支援が受けられる体制が整い、子育て家庭の孤立を防いでいます。

③ 子どもが健やかに育ち、子育てに「喜び」や「生きがい」を感じている。

安心して子育てができ、家庭や地域で子どもの成長を共に喜べる環境になっています。

④ 地域がつながり、子どもを安心して育てられる「子育てにやさしいまち」になっている。

地域や企業が協力し合い、子育て家庭を支える仕組みが広がり、こどもまんなか社会が実現しています。

【姿のもとになった市民の声】

- 結婚って楽しい！と思える社会になっているといいと思います。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）
- 安心して妊娠、出産、子育てができるような社会になっていることを望みます。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）
- 働く親が、小学生の子どもを安心して預けられる場所を作ってほしいです。（富山市こども計画／子ども・子育て支援に関するニーズ調査）
- 子どもが大きな声を出した時に、「子どもはそういうものだ」という対応をしてくれた時は安心しました。（富山市こども計画／子ども・子育て支援に関するニーズ調査）

分野
03

教育



2036年
市民の
幸せ実感

いつでも、どこでも、誰でも。
思うように学べるって、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 子どもが、自分の興味や得意を生かしながら学ぶことを楽しみ、将来に希望を感じている。

学びを楽しむことができる環境下で、主体性を育みながら自分の得意や好きなことを伸ばし、一人ひとりが自分らしい未来を思い描いています。

② 保護者や地域の人と学校が力を合わせ、子どもをみんなで育てている。

学校だけでなく、家庭や地域などみんなが子どもの教育に参加・協力して、子どもの豊かな成長を支える社会になっています。

③ 一人ひとりの子どもが、自分に合った学び方を選んでいる。

登校が難しい子どもを含め、すべての子どもが多様な学びの場の中から自分に合った環境を選び、安心して学んでいます。

④ 年齢に関係なく、誰もが学び続け、新しいことに挑戦している。

子どもから高齢者まで、学ぶ喜びをいつまでも感じることができています。

【姿のもとになった市民の声】

- 子どもの健康、発達によらず、のびのびと遊び、学ぶことが出来ていることを望みます。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）
- 先生方の労働環境やメンタルヘルスにも配慮してほしいと思います。（富山市こども計画／子ども・子育て支援に関するニーズ調査）
- 家以外で勉強できる場所を作ってほしいです。やっぱり人と話すって大切だと思うから。（富山市こども計画／富山市子どもの生活実態調査）
- いくつになっても勉強し、学べることが理想だと思います。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）

分野
04

スポーツ



2036年
市民の
幸せ実感

「する」のも、「観る」のも。
スポーツで盛り上がるって、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 誰もが自分に合ったスポーツを、気軽に続けて楽しんでいる。

子どもから高齢者まで、健康づくりや趣味として、スポーツやレクリエーション活動が日常にあります。

② 地元プロチームや国際大会を、家族や仲間と一緒に熱く応援している。

スポーツ観戦を楽しむ人の輪が広がり、市外・県外から訪れるファンも増えています。応援する楽しさが地域の会話や交流を広げています。

③ スポーツを支える（育てる）人たちが、やりがいを持って活動している。

スポーツ指導者の力により、初心者からプロを目指す人まで、より楽しくスポーツできています。

④ スポーツを通して、多くの人が集い、つながり、交流している。

地域のスポーツ情報がすぐに分かり、コミュニティやまちなかのアリーナなどに多くの人が集まっています。

【姿のもとになった市民の声】

- 一緒にスポーツする仲間がいると嬉しいです。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）
- スポーツチームと一体になれると、楽しいと思います。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）
- 富山の選手がトッププレイヤーになると、その競技の関心度が上がる。競技力が向上することで、富山のスポーツが盛り上がると思う。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）
- スポーツに力を入れていることは市民の活気にもつながると思います。（富山市民意識調査）

分野
05

地域コミュニティ



2036年
市民の
幸せ実感

先人たちが紡いだ地域の絆。
未来につなぐ、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 多様な人が、互いを認め、支え、高めあっている。

性別、年齢、障害の有無、国籍などに関わらず、誰もが地域に居場所や活躍の場を持ち、安心して活き活きと暮らしています。

② 地域の人材が、やりがいを持って地域を支えている。

ICTを活用した負担軽減を図りつつ、町内会や消防団、地域福祉活動などに積極的に参加し、防災や防犯をはじめとした自分の役割に誇りを感じながら活動しています。

③ コミュニティの拠点が、賑わいを生んでいる。

公民館等に人が集まり、住民同士の交流や活動が広がり、地域に活気をもたらしています。

④ 地域の祭りや歴史、自然が、誇りとして受け継がれている。

地域の祭りや伝統文化を通じて賑わいが生まれ、世代を超えて故郷を愛する心が育まれています。

【姿のもとになった市民の声】

- 「違っていても、それが良いね」と言える富山になっていてほしいです。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）
- 失敗をたくさん重ねるようなことも必要。失敗しても大丈夫だと、みんなが感じられるような社会になってほしい。（富山県未来共創セッション）
- おわら風の盆などの伝統文化は、担い手も減ってきているため、街並みと合わせて守っていくべきだと思います。（富山市都市マスタープラン／高校3年生WEBアンケート調査）
- その地域ならではのことが、形になっていることを期待します。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）

分野
06

郷土愛



2036年
市民の
幸せ実感

「AMAZING TOYAMA」が、ここにある。
富山に生まれて、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 富山の魅力が、戦略的に発信されている。

富山ならではの魅力が効果的に伝えられ、暮らしたい、訪れたいと思われる「選ばれるまち」になっています。

② 富山への共感が、内外で広がっている。

市民と市外の人々との交流を通じて、富山への愛着やつながりが強まり、関係人口が増えています。

③ 市民が、誇りを持って富山を語っている。

富山の良さを自分の言葉で語り、日常の中から「AMAZING TOYAMA」を発信しています。

④ 郷土愛が、次の世代へ着実に受け継がれている。

学校・家庭での教育や地域活動を通じて、子どもから大人まで、富山を大切に思う心を共有しています。

【姿のもとになった市民の声】

- 10年後、自分にとって「自慢の富山」にしたいです。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）
- 住んでいる地域の自慢ポイントはココ！と言えるようになりたい。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）
- 富山の人は、実は富山のことをあまり知らない人が多いと思います。それを変えていきたいです。（富山県未来共創セッション）
- 息子が夏休みの宿題で富山城の絵を描いた時に、ふと自分も子どもの時に書いたことを思い出し、些細な幸せを感じました。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）

分野
07

行政・パートナーシップ



2036年
市民の
幸せ実感

幸せ日本一のまち。
オール富山で創る、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 市民と行政が、共にまちを創っている。

声を上げやすく、まちづくりに参加しやすい仕組みの中で、市民と行政が一緒にまちを創っています。

② 多様な主体が、力を合わせて未来をつないでいる。

県や大学、企業等と市が手を取り合い、連携の力で持続可能なまちづくりを進めています。

③ 職員が、チャレンジを楽しみながら成長し続けている。

全ての職員が市民と共に考えながら、前例にとらわれずに挑戦し、多様化する課題に柔軟に取り組んでいます。

④ 公共施設が、賢く使われ未来につながっている。

学校やホール、スポーツ施設などがこれからの時代に合うよう見直され、官民連携や市民協働で持続的に活用されています。

【姿のもとになった市民の声】

- 誰かが創ったまちを受け取るのではなくて、自分たちで創っていくんだと思います。（富山県未来共創セッション）
- 公共施設が気軽に使えるようになっていると良いと思います。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）
- 若い職員が、自分達の感性で未来の富山をデザインしていってほしい。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）

分野
08

都市・交通



2036年
市民の
幸せ実感

コンパクトシティといえば富山。
便利なまちに住めるって、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 公共交通が、暮らしの真ん中で頼りにされている。

コンパクトシティの推進で電車やバスが便利につながり、多くの人が公共交通沿線に住むことで、車に過度に依存しない生活ができるまちになっています。

② まちの拠点が、賑わいと魅力を生み出している。

中心市街地や地域の拠点が整備され、買物や交流、仕事の場として活気があふれています。

③ 郊外や中山間地域なども、暮らしやすさが守られている。

公共交通や生活道路の確保、そしてスマートシティ政策の推進により、多様な住まいを選べる環境が整っています。

④ 社会インフラが、未来に向けて賢く管理されている。

道路、橋梁、上下水道などが計画的に整備・維持管理・更新され、持続可能で安全なまちになっています。

【姿のもとになった市民の声】

- 子どもと一緒に路面電車に乗っている時に、一緒に車窓を眺めることが好きなので、将来孫とも乗りたいです。マイカーでは体験できない贅沢だと思います。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）
- 富山市中心部などに拠点を集中させることで市民にとって生活しやすい環境をつくり、その他の場所は放置するのでなく、その地域の自然の豊かさや伝統を引き継いでいくことが出来れば良いと思う。（富山市都市マスタープラン／高校3年生WEBアンケート調査）
- 運転することができない子どもやお年寄りにとって住みやすい富山になってほしいです。（こども意見表明交流会）
- 地区センターなど1つのところに、地域の施設がコンパクトにまとまっていると良い。（富山県未来共創セッション）

分野
09

防災・防犯



2036年
市民の
幸せ実感

「もしもの時」を想定内に。
「備え」で守る、身近な幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 市民が、災害のときに落ち着いて避難し、命を守っている。

市民自らが日頃の訓練と備えで培った正しい知識により、いざという時も迷わず落ち着いて行動できるようになっています。

② 地域の人が互いに声をかけ合い、事故や犯罪の少ないまちで安心して暮らしている。

除雪や見守りといった地域の活動にやりがいを感じながら助け合い、警察とも連携しながら防犯意識が高まり、子どもから高齢者まで安心して過ごせています。

③ 道路や建物が災害に強く、いざという時に対応できる安全・安心なまちになっている。

公共施設や社会インフラの耐震化等により、まちの強靭化が進み、災害時も安全で、普段も安心して暮らせています。

④ 消防・救急の体制が整い、いざという時にすぐ駆けつけてもらえる。

もしもの時に確実に対応してくれる消防や救急などの体制や、市民による応急手当の技術の向上により、市民が安心して暮らせています。

【姿のもとになった市民の声】

- 令和6年能登半島地震では、津波に対する知識不足や、避難所運営における課題が見つかった。これを生かして今後に備えるべき。（令和6年能登半島地震における課題等についてのアンケート調査）
- 自分の住む地域は地域の住民で守るため、実践・行動を考えていきたいです。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）
- 安全安心な暮らしのためには、地域の全ての世代が連携すべきだと思います。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）
- 歩行者・自転車・自動車がぶつかる危険のない、安全な道路になっていてほしい。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）

分野
10

産業・雇用



2036年
市民の
幸せ実感

富山でなら、挑戦できる。
働くって、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 産業が、稼ぐチカラを高めている。

DX推進などにより企業が生産性を高めつつ、地域資源や先端技術を生かした新しい産業も生まれ、全国から企業や人材が集まっています。

② 人材が、未来を担う力を身につけている。

次世代を担う若者が、富山の産業を知ることで、富山への愛着が育まれています。さらに専門教育や産学官民の連携により、若者や働く世代がスキルを磨いています。

③ 多様な人材が、様々な働き方で活躍している。

性別、年齢、障害の有無、国籍などに関わらず、誰もがそれぞれに合った環境で安心して働いています。

④ 多くの人が、富山で就職や創業し、活き活きと働いている。

UIJターン就職や創業にチャレンジしやすい環境づくりが進み、まちに新しい活力がもたらされています。

【姿のもとになった市民の声】

- 仕事と家庭の両立がしやすい、働きやすい職場が増えるといいな。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）
- 障害のある人も一緒に働ける場所、企業がたくさんあるようになることを望みます。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）
- 年を取っても活き活きと働ける社会になっていてほしい。（富山県未来共創セッション）
- 新しい事業も起こしやすく、他県からも移住している人が増えている富山になってほしい。（富山県未来共創セッション）

分野
11

観光・交流



2036年
市民の
幸せ実感

10年後も「行くべき都市」。
世界中から人が来るって、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 市民や来訪者が、ガラスや食など富山ならではの体験を楽しんでいる。

「すしのまちとやま」「ガラスの街とやま」や富山の食・くすりなど、富山の文化を生かした体験型観光が定着しています。

② 世界からの旅行者が、まちなかと山・海を巡って長く滞在している。

インバウンド観光の充実で、都市と自然の両方を楽しめる滞在型観光が広がっています。

③ 国際会議や交流イベントが、仕事と観光の賑わいを広げている。

MICE誘致や大規模イベントで人が集まり、交流と経済の好循環が生まれています。

④ 富山を何度も訪れる人が増え、地域と深くつながっている。

季節ごとに訪れるリピーターや二地域居住者が増え、関係人口が着実に拡大しています。

【姿のもとになった市民の声】

- 海や川など、富山の水辺は都会にはない美しさがあると思います。これを生かしてほしいです。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）
- 富山の食を目当てに、海外からたくさんの人たちが来てほしい。（富山県未来共創セッション）
- 人とのつながりが新しいつながりを生むようになっているといい。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）

分野
12

農林水産



2036年
市民の
幸せ実感

富山湾から立山まで。
富山の恵みで稼げるって、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 農業が、多彩な作物を育み、食卓と地域を支えている。

スマート農業や有機農業、高収益作物の栽培により、持続的で魅力ある農業が広がっています。

② 林業が、森を守りながら地域を潤している。

森林整備と市産材の活用により、環境保全と地域経済の両立が進んでいます。

③ 水産業が、富山湾の恵みで全国の人を楽しませている。

漁業の効率化により生産性が向上し、PR強化により魚介類のブランド力が高まっています。

④ 都市と農山漁村が、交流で結ばれている。

農業体験や都市住民との交流などを通じて、人と地域が結びつき、担い手の確保につながっています。

【姿のもとになった市民の声】

- 全国に誇れる、野菜や果物をつくってほしい。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）
- 地元の新鮮な食材が、気軽に入手できるようになっていると良い。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）
- 富山湾で獲れる魚を使ったお寿司が富山市の魅力。外国人観光客にもっと富山の魚のおいしさをPRしていくべき。（富山市都市マスタープラン／高校3年生WEBアンケート調査）
- 山と触れ合って山菜を採ったり、ハイキングに行ったりするようなライフスタイルが根付くと良いと思う。（富山県未来共創セッション）

分野13 環境



2036年 市民の 幸せ実感

わたしたちの行動が、未来を変える。
守るべき環境があるって、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① 豊かな自然が、美しいまちと調和している。

森里川海の豊かな自然環境が保全され、身近に自然を感じながら心地よく暮らせるまちを実現しています。

② まちが快適で、清潔な生活環境が守られている。

環境の管理が徹底され、まちを汚さないための取組が進んでいます。空き家や空き地が適切に管理され、清潔で健康的な環境が守られています。

③ ごみが減り、資源が循環している。

市民の環境リテラシー向上により分別とリサイクルがさらに進み、ものを大切に使う暮らしが広がっています。市民・企業・行政が協力し、サーキュラーエコノミーの取組が進んでいます。

④ 太陽光や水力などのエネルギーが、まちを動かしている。

太陽光や小水力などの再生可能エネルギーが暮らしに溶け込み、省エネな生活と合わせてゼロカーボンシティに近づいています。

【姿のもとになった市民の声】

- 緑がもっと増えて、リラックスできる空間が広がるといいな。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）
- リサイクルや資源循環が進んでいる素晴らしい富山になっていてほしい。（富山県未来共創セッション）
- 子どもたちへ、水や環境を守るための環境教育を進めてほしい。（富山県未来共創セッション）
- 無駄なゴミを出さず、電気を大切に使うことを心がけたい。そして水力発電や太陽光発電で生まれる電力を、次の世代にも使ってもらいたいです。（富山市次世代エネルギーパーク見学ツアー／アンケート）

分野
14

文化・芸術



2036年
市民の
幸せ実感

アートが息づく日常がある。
「本物」が身近にあるって、幸せ。

幸せを実感できる未来スケッチ

① **富山の文化と芸術が、世界へ響き渡っている。**

富山のガラスや音楽・舞台芸術が世界中から注目を集め、国際的な文化都市としての存在感を高めています。

② **文化が、産業や観光、まちづくりと結びついている。**

富山の歴史・文化・芸術を商業・観光と融合させ、新たな産業や都市の魅力を育てています。

③ **市民が、日常の中で芸術を楽しんでいる。**

音楽や舞台芸術、美術などに触れる機会が身近にあり、誰もが気軽に創作や鑑賞を楽しんでいます。

④ **富山の歴史と伝統が、大切に受け継がれている。**

歴史的建造物や伝統芸能などの文化遺産を保存・活用し、まちの誇りとして次世代につないでいます。

【姿のもとになった市民の声】

- 富山のまちなかが、芸術であふれるようなまちづくりをしてほしい。（オンラインプラットフォーム「とやまトーク」）
- 好きな事に興じられる、共通の仲間といつでも会えるといいなと思います。（富山市スマートシティ推進ビジョン／市民ワークショップ）
- 10年後、富山が誇るべき文化・伝統行事が残っていてほしい。（富山県未来共創セッション）

背景に富山市の風景などの写真を挿入

3　富山市の暮らしを支える都市のかたち

「将来の都市像」や「分野別のありたい姿」の実現には、そのための取組を支えるまちづくりの方向性を、共通の認識として整理することが不可欠です。人口減少や財政制約が進む中、富山市が持続的に機能し続けるためのコンパクトなまちづくりと、市民や地域の課題をデジタル技術やデータの利活用により解決するスマートシティ政策を、基本構想に位置付けます。

(1)都市の再構築によるコンパクトなまちづくり

基本的な考え方

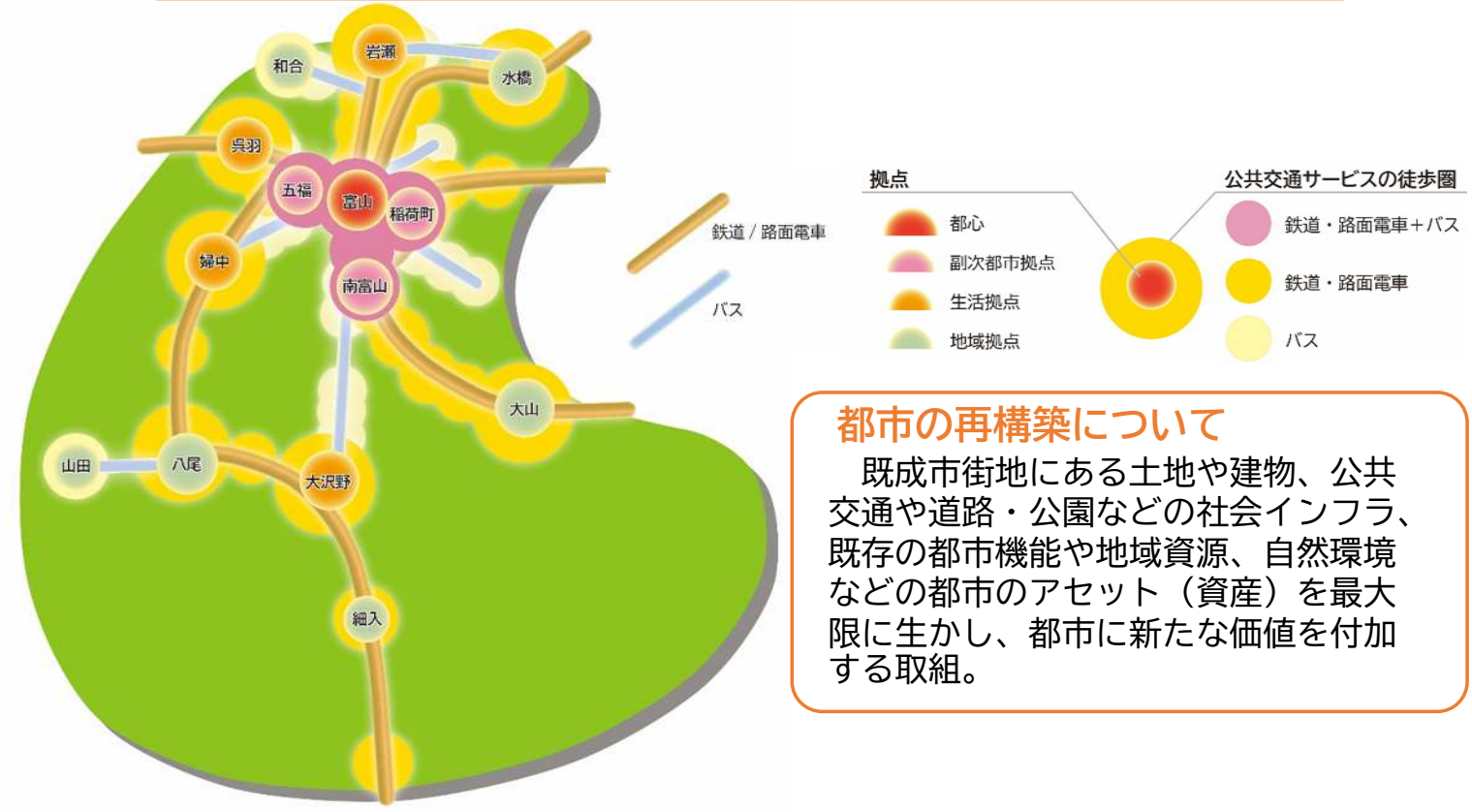
市街地の外延化や低密度化の抑制が引き続き必要な中、人口減少や高齢化のさらなる進行に加え、世帯数も減少に転じることから、使われない土地や建物の増加による生活環境の悪化や、地域の生活サービスの維持が一層困難となることが懸念されています。

将来にわたり持続可能で活力ある都市であり続けるため、公共交通の活性化と、その沿線に居住や都市機能の集約化を図るコンパクトなまちづくりを継続します。

さらに、地域資源を生かした拠点形成や既成市街地の利活用による「公共交通を軸とした都市の再構築による拠点集中型のコンパクトなまちづくり」の実現を、市民や事業者等とともに目指します。

＜都市の再構築により目指すお団子と串の都市構造＞

使いやすい「串」　　：利便性や質の高い公共交通
色付けされた「お団子」：串で結ばれた特色ある徒歩圏



都市の再構築について

既成市街地にある土地や建物、公共交通や道路・公園などの社会インフラ、既存の都市機能や地域資源、自然環境などの都市のアセット（資産）を最大限に生かし、都市に新たな価値を付加する取組。

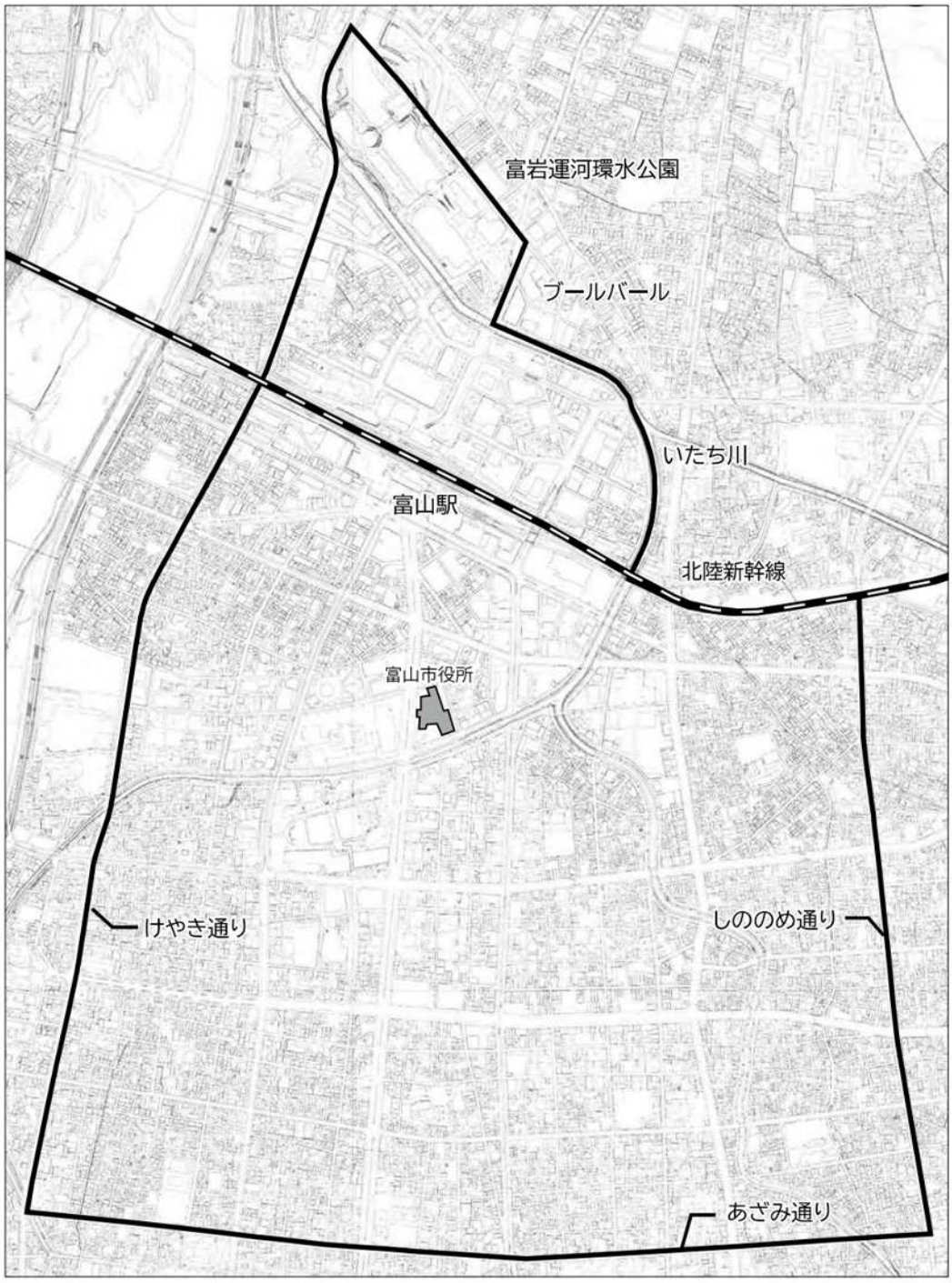
将来都市構造

市域全体の広域的な拠点である「都心地区」と、日常生活を支える各地域の拠点を「地域生活拠点」に位置付け、それぞれの役割に応じた都市機能の充実を図ります。

また、都心地区や地域生活拠点を結ぶ公共交通軸の維持・改善に加え、公共交通へのアクセスを支える身近な生活交通サービスの確保を図ります。

こうした取組により、地域資源を生かした拠点形成や既成市街地の利活用を推進するとともに、特色ある徒歩圏（お団子）と利便性や質の高い公共交通（串）からなる多核型の都市構造を目指します。

都心地区の範囲



※ 東側の境界は、しののめ通り（一般県道八幡田・稲荷線及び市道大泉稲荷線）、南側の境界は、あざみ通り（市道磯部大泉線及び市道磯部大泉2号線）、西側の境界は、けやき通り（市道神通町蜷川線）、北側の境界は、富岩運河環水公園、ブールバール、いたち川、北陸新幹線で囲まれる面積約436haの地区

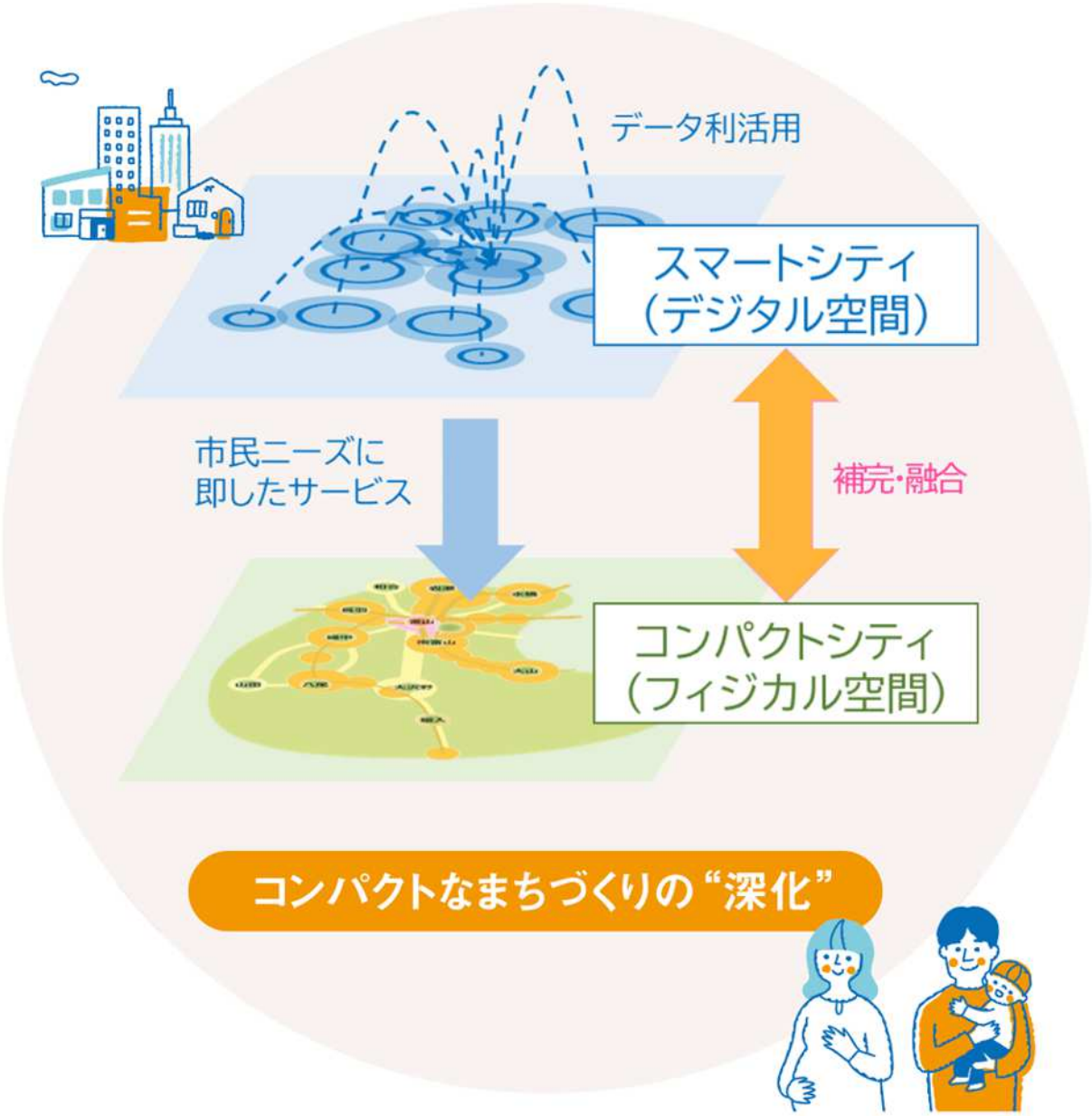
（2）スマートシティ政策によるコンパクトシティ政策の深化

コンパクトなまちづくりを支えるデジタル技術の活用

近年、ICTやAI、IoTなどの先端技術の急速な発展は、経済・社会・環境のあらゆる分野に革新的な変化をもたらしつつあります。

これらの社会情勢や技術革新の潮流を踏まえ、富山市がこれまで取り組んできたコンパクトシティ政策の成果を市全域に行き渡らせるとともに、市民一人ひとりが利便性や生活の質の向上を実感することのできる「富山市版スマートシティ」の実現を目指します。

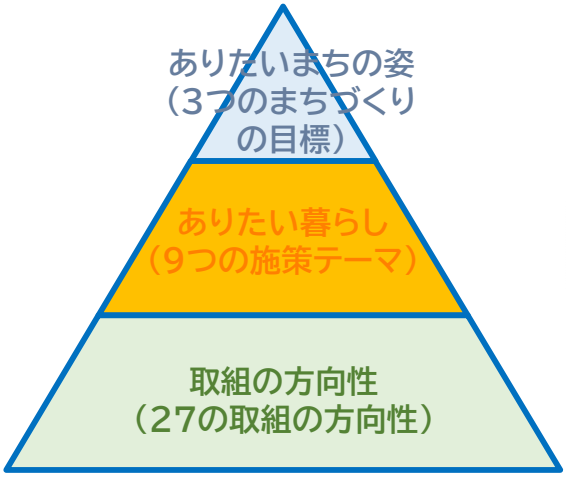
コンパクトなまちづくりを富山市版スマートシティ政策で補完・融合し、デジタル技術の導入と得られるデータの利活用により、市民や地域の課題解決に資するサービスを産学官民が連携し創出する「富山市版スマートシティ」実現のための取組を推進します。



「富山市版スマートシティ」実現のための取組の方向性

コンパクトシティ政策をスマートシティ政策により深化させるためには、行政だけで推進するのではなく、産学官民による共創が不可欠です。デジタル技術を活用してどのような暮らしや地域の姿を目指すのかを明確にし、立場や視点が異なる産学官民がスマートシティの方向性を共有し行動することが重要です。

「富山市スマートシティ推進ビジョン」では、その全体像を「ありたいまちの姿」、「ありたい暮らし」、「取組の方向性」の3層で整理しています。市民一人ひとりの便利で安心な暮らしを実現し、地域の魅力や課題に応じた取組を進めることで、コンパクトシティ政策の深化につなげます。



ありたいまちの姿　スマートシティ政策を実現するためのまちづくりの目標

ありたい暮らし　ありたいまちの姿を実現するために目指す理想の暮らし

取組の方向性　ありたい暮らしを実現するために必要な成果

3つの「ありたいまちの姿」

1. 誰一人取り残されることなく便利で安心して暮らせるまち
2. 地域の宝を未来へつなぐ地域づくり・人づくりのまち
3. 互いの地域を尊重し支えあう一体感のある持続可能なまち

9つの「施策テーマ」／27の「取組の方向性」

01 便利な暮らし
- 車がなくても移動できる
- どこでもお必要なモノ・コト・情報を入手できる
- どこでも仕事や勉強ができる

02 安心・安全で健康な暮らし
- どこでも医療・介護・健康サービスが受けられる
- 事故や犯罪がなく治安が良い
- 雪や災害・感染症に対する備えができている

03 誇れるものがある暮らし
- 伝統や文化が大切に継承されている
- 美しく豊かな自然が維持されている
- 地域の魅力が発信できている

04 心が豊かでワクワクできる暮らし
- 個性や長所が尊重されている
- 外出したくなる個性的・魅力的な場がある
- 芸術文化・スポーツに親しんでいる

05 子どもの笑顔があふれる暮らし
- 子どもの多様な学び・交流・体験の場がある
- 学校に行くのが楽しみになる
- 地域ぐるみで子育てがサポートされている

06 若い世代の活気に満ちた暮らし
- 仕事が魅力的で働き方も多様である
- 挑戦者が応援してもらえる
- 若い世代の意見が尊重される

07 人と人のつながりがある暮らし
- 困りごとを気軽に相談できる
- 助けあい支えあいの輪が広がる
- 安心して参加できるコミュニティがある

08 地域の魅力を分かちあい支えあえる暮らし
- つくる人とたべる(つかう)人がつながっている
- 地域の魅力が新たな交流を生んでいる
- あらゆる活動に次世代への配慮がある

09 産学官民の共創が生まれる暮らし
- 未来への学びと対話の機会がある
- 新たなビジネスが生まれている
- 市民が主体的にまちづくりに参画している

前期基本計画
(案)

前期基本計画

第Ⅰ部 前期基本計画の体系／36

1　前期基本計画の構成／36
2　施策を推進する基本的な視点／37
3　施策の体系図／40

第Ⅱ部 分野別の政策／44

1　健康・福祉・医療／44
2　結婚・出産・子育て／50
3　教育／56
4　スポーツ／62
5　地域コミュニティ／68
6　郷土愛／74
7　行政・パートナーシップ／78
8　都市・交通／84
9　防災・防犯／90
10　産業・雇用／96
11　観光・交流／102
12　農林水産／108
13　環境／114
14　文化・芸術／120

第Ⅲ部 分野横断重点テーマ／126

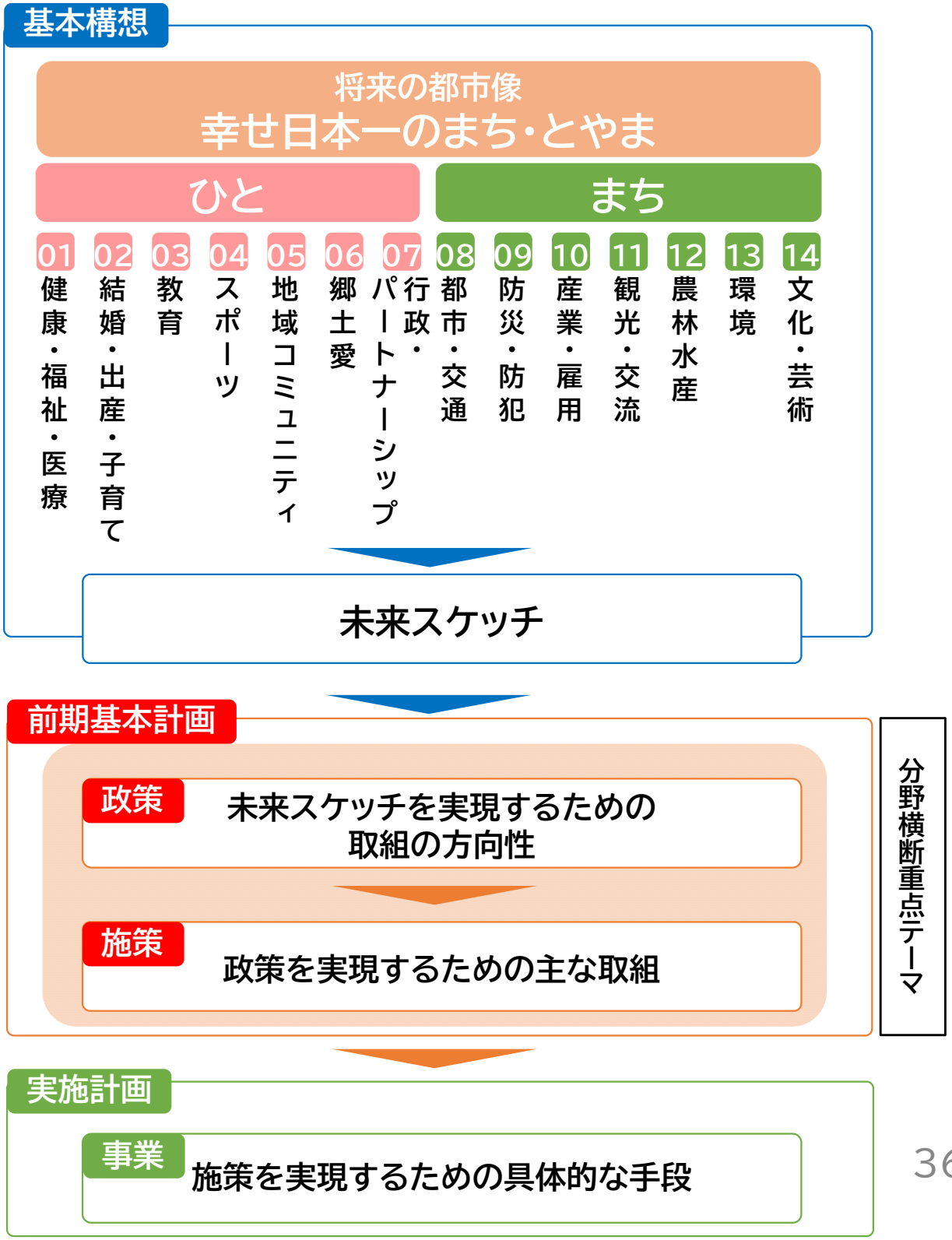
第Ⅰ部 前期基本計画の体系

1 前期基本計画の構成

前期基本計画は、基本構想で掲げる「将来の都市像」の実現に向け、前期5年間に取り組む「政策」と「施策」を示すものです。前期基本計画では、基本構想で描いた14分野のありたい姿（未来スケッチ）を踏まえ、分野ごとに政策と施策を体系的に整理します。

あわせて、分野別の政策を推進する上で、複数の分野が連携して取り組む「分野横断重点テーマ」を示し、基本構想の実現に向けた取組を一体的、戦略的に進めます。

なお、実施計画において、施策を推進する事業のうち特に計画的・重点的に推進する事業を「総合計画事業」に位置付け、進捗管理を行います。



2 施策を推進する基本的な視点

前期基本計画では、基本構想で掲げる「富山市の暮らしを支える都市のかたち」を構成するコンパクトなまちづくりとスマートシティ政策、そしてSDGsの理念を、施策を推進する基本的な視点とします。

(1)都市の再構築によるコンパクトなまちづくり

公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能の集約を図るコンパクトなまちづくりを継続するとともに、地域資源を生かして魅力を最大化する拠点形成や既成市街地の利活用により「公共交通を軸とした都市の再構築による拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を進めます。

前期基本計画では、人口減少が進む中においても、市民の暮らしや様々な都市活動を将来にわたり支える持続可能なまちをつくるというコンパクトなまちづくりの考え方を、各分野の政策・施策を進める上での基本的な視点とします。

具体的には、各分野の政策・施策を進めるに当たり、市民生活を支える都市機能を、それぞれの機能や地域の特性を踏まえながら、地域の拠点や公共交通沿線への配置・集約を重視します。また、既成市街地にある土地や建物、公共交通や道路・公園などの社会インフラ、都市機能や地域資源、自然環境などの都市アセット(資産)を最大限に生かし、新たな価値を付加する「都市の再構築」に向けた取組を推進します。

こうした視点のもと、市民、事業者、行政などが連携することで、持続可能で活力あるまちづくりをさらに推進します。

(2)スマートシティ政策によるコンパクトシティ政策の深化

「コンパクトなまちづくり」をスマートシティ政策で補完・融合し、デジタル技術やデータの利活用によって、市民や地域の課題解決につながるサービスを創出することで、コンパクトシティ政策をさらに深化させます。

前期基本計画では、スマートシティ政策を、デジタル化そのものを目的とするのではなく、市民や地域の課題を起点として、デジタル技術やデータを有効に活用し、多様な主体との共創によって課題の解決や新たな価値の創出につなげるための手段と捉え、この考え方を各分野の政策・施策を進める上での基本的な視点とします。

具体的には、各分野の政策・施策を進めるに当たり、AI等を活用した地域交通サービス、行政手続やサービスのオンライン化、センサー等を活用した災害情報の収集や公共施設マネジメント、データの分析・可視化による効果的な政策立案など、市民生活の利便性向上や地域課題の解決につながるデジタル技術やデータの効果的な活用を重視します。また、産学官民の多様な主体との共創により、新たなサービスの創出や実証・実装につなげます。

こうした視点のもと、スマートシティ政策の考え方を各施策に反映することで、コンパクトシティ政策の効果を市域全体に行き渡らせ、市民生活の質や利便性の向上と、地域特性に応じた市内全域の均衡ある発展につなげます。

(3)SDGsの理念に基づいた持続可能なまちづくり

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)

2015年(平成27年)9月の国連サミットにおいて、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。その中核であるSDGsは、「誰一人取り残さない」を基本理念に、2030年(令和12年)までに経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題を統合的に解決することを目指す国際社会共通の目標であり、17のゴール・169のターゲットから構成されています。



SDGs未来都市としての取組

内閣府は、SDGsの達成に向けて優れた取組を提案する地方自治体を「SDGs未来都市」、また、その中でも特に先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として選定し、富山市は2018年(平成30年)6月にその両方に選定されました。

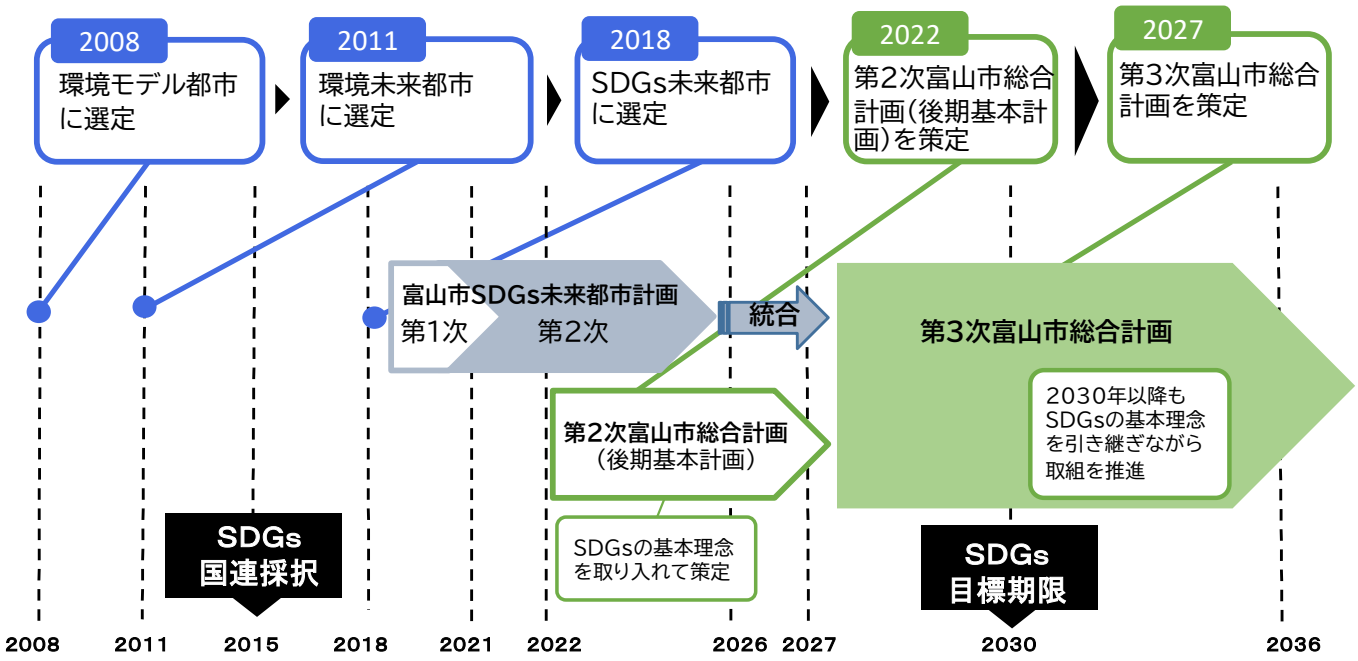
「富山市SDGs未来都市計画」を策定し、これまでの「環境モデル都市」、「環境未来都市」の取組を、経済価値、社会価値、環境価値の統合による都市創造のスパイラルアップの視点から発展させ、「コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現」を目指し、様々な取組を推進してきました。



さらなるSDGsの推進に向けて

SDGsの目標期限は、2030年（令和12年）に設定されており、第3次富山市総合計画の計画期間の途中となりますが、SDGsに掲げられている世界共通の目標は全世代の多様な人々が健康で暮らせる環境の確保や、住み続けられるまちの実現など、富山市が目指す将来の都市像と重なるものです。

このため、SDGs未来都市計画と総合計画を統合し、SDGsの理念を本計画に取り込むことで、SDGsのさらなる推進に寄与し、SDGs未来都市としての責務を果たすとともに、「幸せ日本一のまち・とやま」の実現を目指します。



3 施策の体系図

基本構想

将来の都市像

幸せ日本一のまち・とやま

ひと

分野・未来スケッチ

01 健康・福祉・医療

① 市民が、自ら健康づくりに取り組み、活き活きと暮らしている。
② 地域の人々が、つながり合い、誰も孤立していない。
③ 高齢者や障害のある人が、自分らしく、安心して地域で暮らし、活躍している。
④ 保健・福祉・医療が、切れ目なく連携し、誰もが住み慣れた地域で必要な支援を受けられている。

02 結婚・出産・子育て

① 若い世代が安心して結婚や出産を考え、希望をかなえている。
② 妊娠・出産から子育てまで、切れ目なく安心して支援を受けられている。
③ 子どもが健やかに育ち、子育てに「喜び」や「生きがい」を感じている。
④ 地域がつながり、子どもを安心して育てられる「子育てにやさしいまち」になっている。

03 教育

① 子どもが、自分の興味や得意を生かしながら学ぶことを楽しみ、将来に希望を感じている。
② 保護者や地域の人と学校が力を合わせ、子どもをみんなで育てている。
③ 一人ひとりの子どもが、自分に合った学び方を選んでいる。
④ 年齢に関係なく、誰もが学び続け、新しいことに挑戦している。

04 スポーツ

① 誰もが自分に合ったスポーツを、気軽に続けて楽しんでいる。
② 地元プロチームや国際大会を、家族や仲間と一緒に熱く応援している。
③ スポーツを支える（育てる）人たちが、やりがいを持って活動している。
④ スポーツを通して、多くの人が集い、つながり、交流している。

05 地域コミュニティ

① 多様な人が、互いを認め、支え、高めあっている。
② 地域の人材が、やりがいを持って地域を支えている。
③ コミュニティの拠点が、賑わいを生んでいる。
④ 地域の祭りや歴史、自然が、誇りとして受け継がれている。

06 郷土愛

① 富山の魅力が、戦略的に発信されている。
② 富山への共感が、内外で広がっている。
③ 市民が、誇りを持って富山を語っている。
④ 郷土愛が、次の世代へ着実に受け継がれている。

07 行政・パートナーシップ

① 市民と行政が、共にまちを創っている。
② 多様な主体が、力を合わせて未来をつないでいる。
③ 職員が、チャレンジを楽しみながら成長し続けている。
④ 公共施設が、賢く使われ未来につながっている。

前期基本計画

政策・施策

政策1　市民の健康づくりの推進
施策1　将来を見据えた健康づくりの強化　施策2　子どもの健康づくり
施策3　感染症対策の強化

政策2　支え合いによる福祉の充実
施策1　課題を抱える市民への包括的支援体制の整備
施策2　認知症とともに暮らすまちづくりの推進　施策3　精神保健福祉対策の推進
施策4　自殺対策の推進

政策3　高齢者や障害のある人が安心して暮らし活躍できる地域づくり
施策1　フレイル予防・介護予防の推進　施策2　高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進
施策3　介護サービスの基盤整備と介護等従事者の確保　施策4　障害のある人の地域生活支援

政策4　地域で支え合う包括的な保健・福祉・医療体制の構築
施策1　市立の病院及び診療所における医療提供体制の充実、連携強化
施策2　在宅医療・介護の連携推進

政策1　出会い・結婚の希望をかなえる支援の充実
施策1　若い世代の経済的負担の軽減　施策2　ライフデザインの支援
施策3　出会いの場の創出、結婚支援

政策2　妊娠・出産・子育てを切れ目なく支える仕組みづくり
施策1　妊娠期から子育て期の切れ目ない支援の充実
施策2　多様な保育サービスの提供
施策3　安全・安心な保育環境の提供

政策3　子育ての喜びを支える支援の推進
施策1　地域における子育て支援拠点施設の整備・運営
施策2　親子で楽しめる場の創出
施策3　ひとり親家庭への支援

政策4　子どもの健やかな成長を見守る体制の構築
施策1　「こどもまんなか社会」の実現
施策2　地域の子育て環境の充実
施策3　児童虐待防止体制の整備

政策1　未来を切り拓く子どもを育てる学校教育
施策1　主体性のある子どもの育成
施策2　安全・安心で質の高い教育環境の整備
施策3　教育DXの推進

政策2　学校・家庭・地域で支え合う教育の推進
施策1　学校・家庭・地域との連携・協働と開かれた学校づくり
施策2　地域と共に子どもが育つ環境づくり
施策3　家庭教育支援の充実

政策3　一人ひとりに合った学びの充実
施策1　学校に行きづらいと感じている子どもへの支援
施策2　インクルーシブ教育の推進

政策4　生涯にわたり活躍できるひとづくり
施策1　リカレント教育の推進
施策2　生涯学習拠点の充実

政策1　誰もが楽しくスポーツを「する」環境づくり
施策1　多様な主体がスポーツを楽しむ機会の創出
施策2　安心・安全・快適で、持続可能なスポーツ施設の整備

政策2　トップレベルのスポーツを「みる」環境づくり
施策1　プロスポーツチームと連携した「応援する」気運の醸成
施策2　スポーツ大会の誘致による観戦機会の創出

政策3　スポーツ活動を「ささえる」環境の整備
施策1　トップアスリートの育成・強化体制の確立
施策2　スポーツ活動を支える団体や指導者への支援

政策4　スポーツで「つながる」交流と賑わいの創出
施策1　スポーツを通じた集まる機会創出と交流促進
施策2　まちなかのアリーナを拠点とした賑わいの創出

政策1　多様な人々が支え合う地域づくり
施策1　多文化共生の推進　施策2　男女共同参画社会の推進
施策3　高齢者や障害のある人の社会参加支援

政策2　地域を担う人材の育成と活動の促進
施策1　ICTを活用した地域活動の活性化
施策2　地域活動への参画促進・担い手育成

政策3　地域拠点を生かした交流の促進
施策1　コミュニティ活動の拠点整備
施策2　地域拠点を活用した交流機会の創出
施策3　中山間地域の地域資源を生かした交流の促進

政策4　地域の誇りを受け継ぐふるさとづくり
施策1　ふるさとづくりの推進
施策2　地域の伝統行事等の継承支援

政策1　富山の魅力発信と移住定住の促進
施策1　シティプロモーションの推進
施策2　富山の魅力を生かした移住定住の促進
施策3　近隣市町村との連携による魅力創出

政策2　ふるさとへの理解と誇りの醸成
施策1　シビックプライドの醸成
施策2　ふるさと教育の推進

政策1　市民主体のまちづくりの推進
施策1　市政への市民参画の推進
施策2　市民の創意と主体性を生かしたまちづくりの推進
施策3　SDGsの普及展開と担い手の育成

政策2　多様な主体との連携の推進
施策1　県や近隣市町村との連携
施策2　高等教育機関との連携
施策3　産学官民の連携による共創の推進

政策3　挑戦と成長を促すスマートな行政基盤の確立
施策1　スマート自治体の実現
施策2　多様な行政ニーズに対応できる人材の育成・確保
施策3　健全な行財政運営に向けた公共施設マネジメント

3　施策の体系図

基本構想

将来の都市像

幸せ日本一のまち・とやま

まち

分野・未来スケッチ

０８　都市・交通

① 公共交通が、暮らしの真ん中で頼りにされている。
② まちの拠点が、賑わいと魅力を生み出している。
③ 郊外や中山間地域なども、暮らしやすさが守られている。
④ 社会インフラが、未来に向けて賢く管理されている。

０９　防災・防犯

① 市民が、災害のときに落ち着いて避難し、命を守っている。
② 地域の人が互いに声をかけ合い、事故や犯罪の少ないまちで安心して暮らしている。
③ 道路や建物が災害に強く、いざという時に対応できる安全・安心なまちになっている。
④ 消防・救急の体制が整い、いざという時にすぐ駆けつけてもらえる。

１０　産業・雇用

① 産業が、稼ぐチカラを高めている。
② 人材が、未来を担う力を身につけている。
③ 多様な人材が、様々な働き方で活躍している。
④ 多くの人が、富山で就職や創業し、活き活きと働いている。

１１　観光・交流

① 市民や来訪者が、ガラスや食など富山ならではの体験を楽しんでいる。
② 世界からの旅行者が、まちなかと山・海を巡って長く滞在している。
③ 国際会議や交流イベントが、仕事と観光の賑わいを広げている。
④ 富山を何度も訪れる人が増え、地域と深くつながっている。

１２　農林水産

① 農業が、多彩な作物を育み、食卓と地域を支えている。
② 林業が、森を守りながら地域を潤している。
③ 水産業が、富山湾の恵みで全国の人を楽しませている。
④ 都市と農山漁村が、交流で結ばれている。

１３　環境

① 豊かな自然が、美しいまちと調和している。
② まちが快適で、清潔な生活環境が守られている。
③ ごみが減り、資源が循環している。
④太陽光や水力などのエネルギーが、まちを動かしている。

１４　文化・芸術

① 富山の文化と芸術が、世界へ響き渡っている。
② 文化が、産業や観光、まちづくりと結びついている。
③ 市民が、日常の中で芸術を楽しんでいる。
④ 富山の歴史と伝統が、大切に受け継がれている。

前期基本計画

政策・施策

政策1　便利で使いやすい公共交通等の充実

施策1　持続可能な交通体系の実現　施策2　公共交通利用の啓発
施策3　歩くライフスタイルの推進　施策4　公共交通沿線居住の推進
施策5　都市部や地域の骨格を形成する道路網の整備

政策2　賑わいと暮らしを支える都市拠点の形成

施策1　都市の再構築による拠点の形成　施策2　富山駅周辺の南北一体的なまちづくりの推進
施策3　まちの魅力を高める都市景観の形成　施策4　中心市街地の賑わい再生
施策5　まちなか居住の推進

政策3　市域のどこに住んでいても多様な暮らし方ができる都市の実現

施策1　コンパクトシティ政策を補完するデジタル技術の活用
施策2　地域のニーズに合った最適な移動手段の確保
施策3　市民生活を支える道路の整備

政策4　安全・安心を守る社会インフラのマネジメント

施策1　安全で快適な道路空間の確保　施策2　橋梁等のメリハリのある老朽化対策
施策3　河川水路の長寿命化・老朽化対策の推進　施策4　安全・安心な公園施設の保全管理
施策5　強靱で持続可能な上下水道システムの構築

政策1　地域の防災力向上の促進

施策1　自助、共助の強化
施策2　災害対応力の強化と公助の充実
施策3　災害リスクの見える化

政策2　犯罪や事故を防ぐ安全・安心な暮らしの確保

施策1　安全で安心して暮らせる地域社会の実現
施策2　人と車が共生できる安全・安心な交通社会の実現
施策3　地域ぐるみの除排雪活動の支援　施策4　有害鳥獣による人身被害の防止

政策3　災害に強いまちづくりの推進

施策1　防災インフラの整備と長寿命化の推進
施策2　ICTを活用した安全・安心なまちづくり
施策3　住宅の地震に対する安全性の向上

政策4　消防・救急体制の整備

施策1　地域における消防拠点の整備と機能強化
施策2　様々な災害や事故への対応能力の強化
施策3　市民の防火意識の高揚　施策4　救命体制の充実強化

政策1　地域産業の成長と産業基盤の強化

施策1　戦略的な企業誘致と産業基盤の強化
施策2　企業の成長支援と販路開拓の促進
施策3　DX・GXによる地域産業の持続可能性の向上

政策2　未来を支える人材の育成と地域定着

施策1　若者の就業促進と地域人材の確保
施策2　産業人材の育成とキャリア形成支援

政策3　多様な人材が活躍できる環境づくり

施策1　多様な人材の活躍促進と就業環境の整備
施策2　外国人材の受入環境づくりと職場定着の支援

政策4　富山で働き挑戦できる環境づくり

施策1　創業と共創による新たなビジネスの創出
施策2　移住・定住による地域人材の確保

政策1　魅力ある観光資源の創出と発信

施策1　「薬都とやま」ブランドの確立　施策2　「富山の食」の魅力発信
施策3　伝統文化・行事の新たな魅力の創出と継承支援
施策4　「ガラスの街とやま」観光体験の充実

政策2　滞在型観光と広域周遊の推進

施策1　富山の魅力を生かした広域・滞在型観光の推進
施策2　観光客の誘致と受入環境の充実

政策3　多様な交流の場の創出

施策1　コンベンション等の誘致の促進
施策2　スポーツを通じた交流の推進
施策3　国際交流の推進

政策4　再来訪の促進と関係人口の拡大

施策1　再来訪につながる観光コンテンツの充実
施策2　継続的な来訪と二地域居住の促進
施策3　自然資源を生かした再来訪と交流の促進

政策1　持続可能な農業の推進

施策1　農業の担い手の育成・確保　施策2　スマート農業の推進と生産基盤の整備
施策3　農林水産物の高付加価値化　施策4　安全・安心な農林水産物の供給

政策2　森づくりと林業振興の推進

施策1　豊かな森林整備の推進
施策2　地域資源である市内産材の利用拡大
施策3　林業の担い手の育成・確保と市民参加の森づくりの推進

政策3　水産業の振興

施策1　ブランド力の向上と情報発信強化
施策2　持続可能な漁業の振興

政策4　中山間地域農業の活性化

施策1　中山間地域における資源の保全・整備と魅力ある空間づくり
施策2　地域資源を生かした農業・産業の育成
施策3　都市との交流による新たな価値の創出

政策1　豊かな自然と美しいまちの調和の推進

施策1　水と緑の保全・活用の推進
施策2　豊かな自然空間の整備

政策2　快適な生活環境づくり

施策1　良好な生活環境の確保
施策2　空き家・空き地対策の推進
施策3　将来の需要を見据えた斎場機能の充実

政策3　循環型社会の形成

施策1　環境にやさしいライフスタイルの推進
施策2　サーキュラーエコノミー（循環経済）の推進
施策3　環境学習の充実

政策4　ゼロカーボンの推進

施策1　再生可能エネルギーの導入拡大・活用推進　施策2　省エネルギー化の推進
施策3　エネルギービジネスの活性化
施策4　多様なステークホルダーとの協働

政策1　観光・まちづくり・産業等との連携による質の高い文化・芸術の共創

施策1　富山ならではの文化・芸術の創造
施策2　「ガラスの街とやま」の推進

政策2　市民文化活動への支援

施策1　多様な文化・芸術に親しむ機会の充実
施策2　市民の創造性と交流拡大に向けたデザイン活動の支援

政策3　伝統文化の継承と文化遺産の活用

施策1　文化遺産等の保存・活用
施策2　地域の伝統文化の継承

分野
01

健康・福祉・医療

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

市民一人ひとりが健康で自分らしく暮らし、必要な介護・福祉・医療サービスを切れ目なく受けられ、住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを進めます。

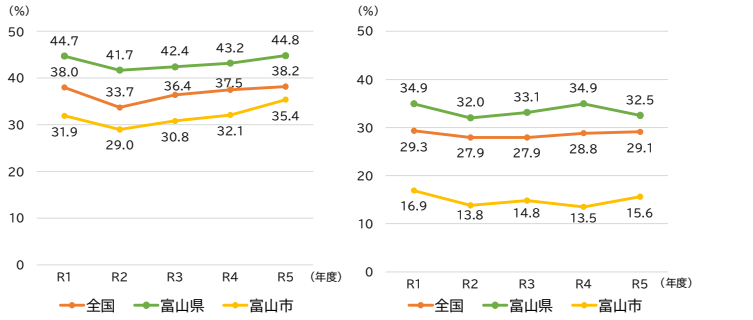
- 富山市はこれまで、健康づくりや介護・福祉・医療サービスの推進をはじめ、地域福祉活動への支援などを通じて、市民が住み慣れた地域で暮らし続けるための基盤を形成してきました。
- 一方、生活習慣病リスクが増加する中、高齢化の進行に伴う介護・医療ニーズの増大、介護・福祉人材不足の深刻化などが課題となっており、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、関係機関による連携やさらなる支援体制の強化が求められています。
- 今後、健康寿命の延伸に向けて、市民の主体的な健康管理を促進するとともに、認知症に対する理解促進や障害のある人の地域生活支援の充実、介護・福祉サービス基盤の強化及び人材の確保等に取り組みます。また、在宅医療や介護・福祉サービスを一体的に提供できる体制整備を進め、誰もが住み慣れた地域で安心して必要な支援を受けられるまちの実現を目指します。

健康・福祉・医療分野に関連するSDGsゴール



① 市民一人ひとりへの健康意識の浸透と、持続可能な健康行動を促す環境整備が必要です。

左：特定健康診査受診率　右：特定保健指導実施率（※1）

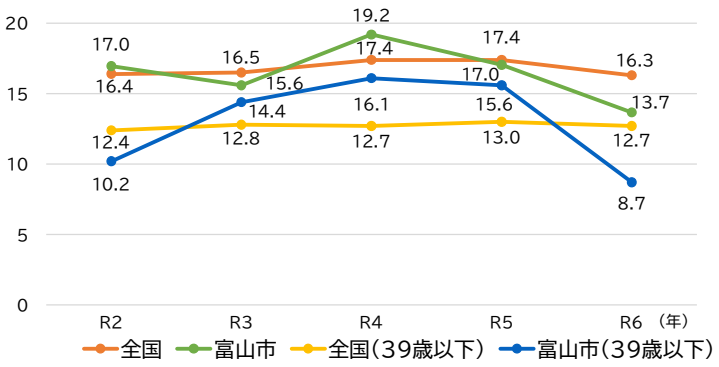


出典：富山県国民健康保健団体連合会資料「目でみるとやまの国保」

健康づくりに積極的な層がある一方で、関心の薄い層への働きかけや、生活習慣の改善に向けた健康行動の変容には課題があります。誰もが無理なく「健康づくり」ができる環境の整備が必要です。

② 多様な福祉課題に対応するため、支援体制の充実が求められています。

自殺死亡率の推移（人口10万人あたり）

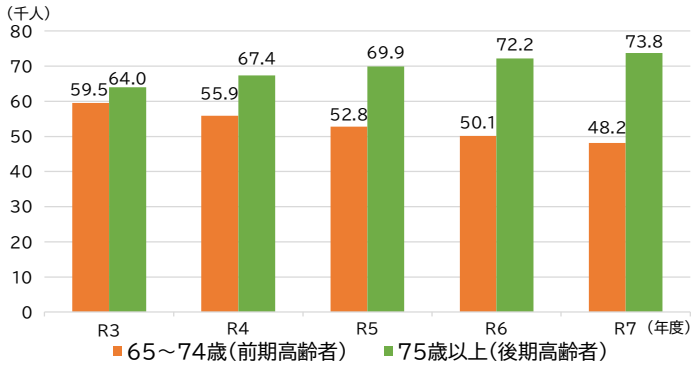


出典：厚生労働省「人口動態統計」及び富山市調査

高齢化や単身世帯の増加、認知症や心の健康問題など、福祉に関する課題が複雑化・多様化しています。個々の支援だけでは対応が難しく、包括的な支援体制や精神保健福祉、自殺予防対策の強化が必要です。

③ 高齢者等が安心して暮らせる支援体制の強化が求められています。

前期・後期高齢者数の推移（各年度9月末現在）

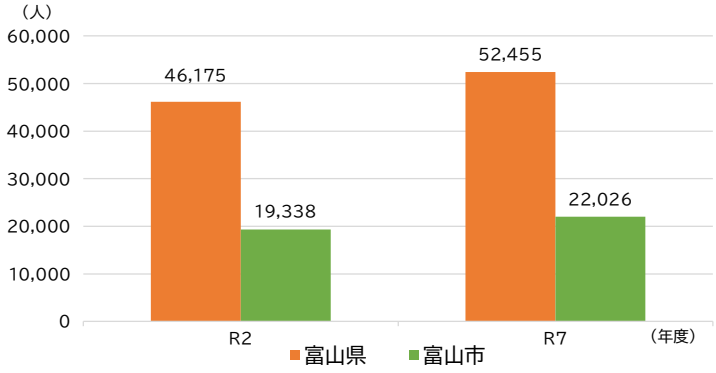


出典：富山市「住民基本台帳」

後期高齢者数が増加傾向にあり、介護・医療ニーズは増大しています。住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域に密着した施設の整備や介護人材の確保など、多様な課題への対応が求められています。

④ 地域の保健・福祉・医療のさらなる連携強化が求められています。

一人暮らし高齢者数の推移（各年度10月1日現在）



出典：総務省「国勢調査」

一人暮らし高齢者世帯の増加に伴い、日常生活での支援が必要な高齢者も増加しています。地域の見守り・相談体制のほか、保健・福祉・医療の各分野の連携を強化することで、安心して暮らし続けられる地域づくりを推進していくことが求められています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

運動習慣者の割合

基準　25.8%（令和7年度）

目標　34.8%（令和13年度）

健康づくりに関する市民意識調査

心が健康だと感じている市民の割合

基準　87.6%（令和7年度）

目標　向上

こころの健康に関する市民意識調査

健康な高齢者の割合

基準　前期高齢者95.8%
後期高齢者68.1%
（令和7年度）

目標　前期高齢者96%以上維持
後期高齢者67%以上維持
（令和13年度）

富山市調査

地域包括支援センターによる在宅復帰支援者数

基準　1,552人（令和7年度）

目標　1,760人（令和13年度）

富山市調査

（※1）特定健康診査・特定保健指導：40 歳～ 74 歳の被用者保険や国民健康保険の加入者を対象に実施されている、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診および保健指導

政策 1 市民の健康づくりの推進

生活習慣病予防や感染症対策等、あらゆる世代の市民に対して健康づくりを支援します。

施策 1 将来を見据えた健康づくりの強化

- 市民へ望ましい食生活や運動習慣等に関する知識の普及啓発を行い、健康意識の向上を図ります。
- 企業や地域と連携し、就労世代を中心に、自発的に健康行動ができる環境を整備します。
- がん検診受診率の向上と、精密検査が必要と判定された市民が確実に受診できるよう支援し、がんの早期発見・早期治療を促進します。

施策 2 子どもの健康づくり

- 保護者や学校などの関係機関と連携し、子どもの健やかな成長と将来にわたる健康づくりを推進します。
- 小・中学生を対象に小児生活習慣病予防対策検診を実施し、健康状態の把握を行います。
- 医師や管理栄養士等による個別指導や集団指導を通じて、保護者も含めた生活習慣の改善に向けた意識を啓発します。

施策 3 感染症対策の強化

- 感染症の発生動向調査及び防疫体制を強化し、関係機関と連携して感染拡大を防止します。
- 感染症危機に備え、平時から関係機関との連携や体制整備を進め、継続的な研修と訓練の実施で対応力の向上を図ります。
- 市民が感染症に関する正しい理解や、感染予防の行動を身につけるため、感染症の発生やまん延に備えることの重要性を啓発し、予防接種の実施率の向上を目指します。

主な関連計画
- 富山市健康プラン21
- 富山市新型インフルエンザ等対策行動計画

政策 2 支え合いによる福祉の充実

地域で支え合い、複雑化・複合化する福祉課題に対応する支援体制の充実を図ります。

施策 1 課題を抱える市民への包括的支援体制の整備

- 相談者の属性や世代を問わず、相談を受け止め、必要な支援を行うとともに、複雑化・複合化した課題については関係機関が連携して対応する包括的な相談支援体制を整えます。
- アウトリーチ等の支援を通じて、老々介護やヤングケアラー、ひきこもりなど自ら支援につながることが難しい方に対しても、継続的な支援を行います。
- 地域や社会への参加支援や、多様な担い手が連携する仕組みづくりを推進します。

施策 2 認知症とともに暮らすまちづくりの推進

- 認知症になってからも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるという「新しい認知症観」の市民への普及を図り、認知症への正しい理解を深めます。
- 認知症の人の生活におけるバリアフリー化を推進し、社会参加の場を確保します。
- 早期診断や早期対応に向けた支援体制の構築を目指します。

施策 3 精神保健福祉対策の推進

- 心の健康問題への正しい理解を促進し、精神障害のある人が地域の一員として自分らしく暮らし、社会参加できる地域づくりを推進します。
- 精神保健福祉に関する相談支援体制の強化を図るとともに、ひきこもり対策や退院後の支援など、関係機関が連携した包括的な支援を推進します。
- メンタルヘルスサポーターを育成し、啓発活動を通じて、地域住民のメンタルヘルスに対する理解を深めます。

施策 4 自殺対策の推進

- 子どもから高齢者まで、悩みや困りごとを抱えた際に身近な人や相談機関につながることができるようネットワークを強化し、相談支援体制を充実させます。
- 若年層や職域でのゲートキーパーの養成や、心の健康に関する啓発活動を強化し、自殺予防に向けた取組を進めます。
- 心の健康に課題を抱えた方などに対し、保健や医療、社会参加や地域の助け合いなどを含めた包括的な支援体制を構築するとともに、相談に対応できる支援者の育成に取り組みます。

主な関連計画
- 富山市地域福祉計画
- 富山市高齢者総合福祉プラン
- 富山市自殺対策総合戦略

政策 3 高齢者や障害のある人が安心して暮らし活躍できる地域づくり

地域で誰もが安心して暮らせる福祉環境づくりを推進します。

施策 1 フレイル予防・介護予防の推進

- 多様な介護予防プログラムや運動教室を開催し、健康寿命の延伸につなげます。
- 介護予防の推進リーダーや運動指導者の育成を推進し、身近な地域での介護予防運動の普及を図ります。
- 高齢者一人ひとりの状態に応じたパワーリハビリテーションを実施し、運動機能の維持・改善を図ります。

施策 2 高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進

- 高齢者がこれまで培ってきた豊富な経験と知識を生かし、地域社会の活性化に貢献するとともに、健康で生きがいのある生活を送れるよう支援します。
- シルバー人材センターと連携し、高齢者の就労機会を拡大します。
  【関連施策】産業・雇用　政策３－施策１
- 老人クラブなどの団体への活動支援により、高齢者が社会活動に参加できる仕組みづくりを進めます。
  【関連施策】地域コミュニティ　政策１－施策３

施策 3 介護サービスの基盤整備と介護等従事者の確保

- 住み慣れた自宅や地域での生活を支える、地域密着型介護サービスを提供する事業所の整備を支援します。
- 県外から移住し、市内の介護事業所等へ就職する介護従事者を支援します。
  【関連施策】産業・雇用　政策４－施策２
- 介護分野への就職に結びつくよう、介護の仕事・職場に対する理解を深める機会を充実するとともに、就労を希望する学生の資格取得支援や、市内事業所とのマッチングを推進します。
- ＩＣＴや介護ロボット等の活用を促進し、業務効率化及び職員の業務負担軽減により、人材の定着とサービスの質を確保します。

施策 4 障害のある人の地域生活支援

- 地域での日常生活を支える障害者グループホームの整備を支援し、地域移行の環境を整えます。
- 就労に必要な知識や能力の向上を図る就労移行支援事業所等の整備を支援するとともに、ハローワーク等の関係機関との連携により、就労を希望する障害のある人の一般就労への移行を支援します。
- 地域生活支援拠点等において、様々なニーズに対応できるサービスの提供体制や、緊急時の相談及び受入体制の確保等、効果的な機能の確保に努めます。

主な関連計画
- 富山市障害者計画・富山市障害福祉計画
- 富山市高齢者総合福祉プラン

政策 4 地域で支え合う包括的な保健・福祉・医療体制の構築

保健・福祉・医療が連携した切れ目のない支援体制を構築します。

施策 1 市立の病院及び診療所における医療提供体制の充実、連携強化

- 新たな地域医療構想や医療ニーズの変化を踏まえ、老朽化が進む市民病院やまちなか病院の施設の再整備を検討します。
- 地域医療支援病院として、市民病院で医療従事者向け研修や症例検討会を開催し、かかりつけ医との連携強化を推進します。
- まちなか病院及びまちなか診療所を中心に、地域の在宅医療と病院医療の連携を深め、包括的な医療提供を図ります。

施策 2 在宅医療・介護の連携推進

- 地域包括ケアシステムの推進により、医療や介護の関係機関等が連携上の課題を共有し、それらの解決に向けた方策を検討することで、協働・連携体制の強化を図ります。
- 地域の医療や介護の資源を整理し、医療・介護関係者の連携に必要な情報を提供します。
- まちなか診療所やまちなか総合ケアセンターによる在宅医療を推進し、安心して暮らせる医療・介護体制の充実を図ります。
- 要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、エンディングノートの活用などを通じて人生の最期の過ごし方を家族等周りの信頼する人たちと話し合う重要性を周知啓発します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市高齢者総合福祉プラン
- 富山市病院事業中長期計画

分野
02

結婚・出産・子育て

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

出会いから結婚、子育てまでを切れ目なく支え、社会全体で子どもと家庭を支える環境づくりを進めます。

- 富山市はこれまで、保育サービスや子育て支援拠点、妊娠期から子育て期までの相談支援など、子どもと家庭を支える基盤を整え、地域や関係機関と連携しながら、結婚、出産、子育ての希望を支える取組を広げてきました。
- 一方、経済的な不安や出会いの機会が少ないことなどを背景に、結婚や出産に対する希望の実現に課題を抱える人もいます。また、子育て家庭の孤立感、児童虐待リスクの顕在化など、子どもや家庭を取り巻く課題が複合化しており、地域全体での対応が求められています。
- 今後、結婚・出産・子育ての各段階を切れ目なく支える視点のもと、経済的負担の軽減、出会いの機会創出、子育て環境の充実を強化します。また、地域・企業・関係機関との連携を深化させ、社会全体で子育てを支える仕組みへ発展させます。さらに、「こどもまんなか」の視点のもと、子どもの声を生かした施策展開に努めながら、誰もが安心して自らの希望を描けるまちづくりを進めます。

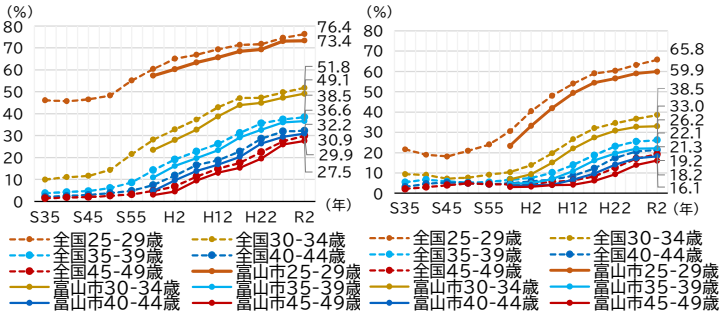
結婚・出産・子育て分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 若い世代の結婚の希望をかなえるために、不安を取り除く支援が求められています。

未婚率の推移　左：男性　右：女性

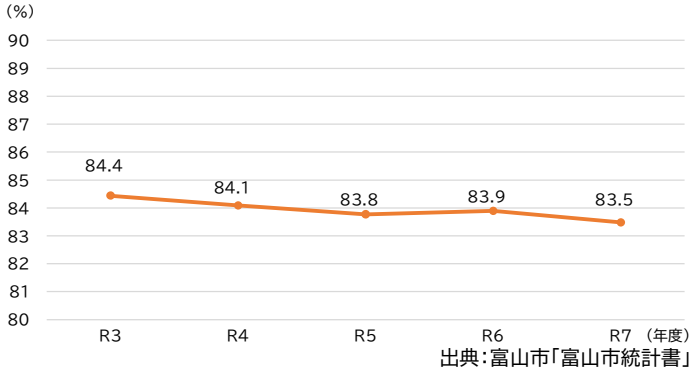


出典：富山市「富山市人口ビジョン【第3版】（令和7年3月）」
総務省「国勢調査」

晩婚化・未婚化が進む中、結婚希望のある若い世代の中には、経済面への不安や出会いの機会が少ないことなどにより、結婚の希望と実現に差がある状況もみられます。若い世代が富山で自分らしい人生を描ける環境づくりが必要です。

② 妊娠期から子育て期にかかる多様な支援ニーズへの対応や、安全・安心な保育環境の提供が求められています。

保育施設利用率の推移

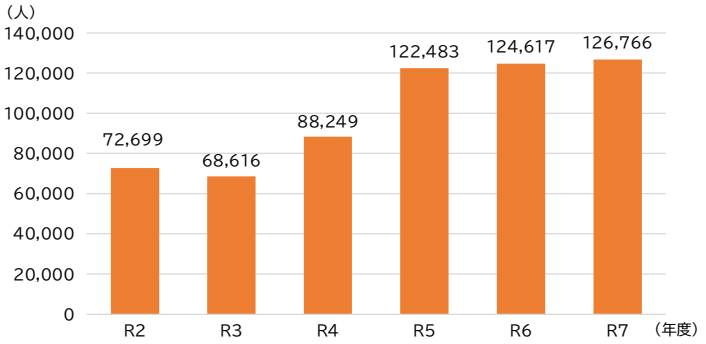


出典：富山市「富山市統計書」

妊娠期から子育て期の支援や多様な保育ニーズへの対応を実施している一方、それぞれの連携にはまだ課題があります。保育環境の充実に継続して取り組むとともに、各段階をつなぐ連携を通して、切れ目ない支援体制の強化を図る必要があります。

③ 子育ての孤立感や経済負担への支援などを通じて、子育ての喜びを実感できる環境整備が求められています。

子育て支援センター等の利用者数

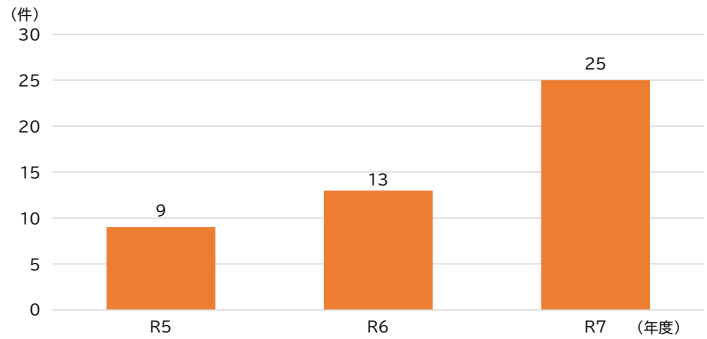


出典：富山市調査

子育ての孤立感や経済的な不安などにより、子育ての喜びを十分に実感できない環境や、ひとり親家庭を取り巻く厳しい状況が課題となっています。安心して子育てできる環境づくりが求められています。

④ 子育て支援の認知度向上や関係機関の連携を強化し、子どもを安心して育てられる体制の整備が求められています。

こどもまんなかアクションの報告数



出典：富山市調査

「こどもまんなか」に対する若い世代の認知度が低いこと、放課後の居場所や遊び場の確保、保育施設老朽化への対応が課題となっています。こどもまんなかアクションを進めるとともに、児童虐待の未然防止や早期発見、適切な支援を図るため、関係機関の連携が必要です。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

結婚や出産・子育てについて主体的に考えていると回答した若年世代の市民の割合

基準　新規

目標　50%（令和13年度）

ライフデザイン支援参加者アンケート

妊娠・出産における指導・ケアに満足している保護者の割合

基準　93.0%（令和7年度）

目標　95.5%（令和13年度）

富山市調査

子育てについて「楽しいと感じることの方が多い」と思う保護者の割合

基準　63.0%（令和5年度）

目標　65.0%（令和10年度）

富山市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査

「こどもまんなかアクション」という言葉を知っていて、行動している市民の割合

基準　13.2%（令和7年度）

目標　23.0%（令和12年度）

富山市民意識調査

政策 1 出会い・結婚の希望をかなえる支援の充実

結婚を望む人がその希望をかなえられるよう、環境の整備と支援を進めます。

施策 1 若い世代の経済的負担の軽減

- 安心して希望する結婚、出産、子育てができるよう、若い世代の経済的負担の軽減を図ります。
- 若い世代が将来に対して希望を持てるよう、経済的負担の軽減策をはじめ、結婚、出産、子育ての支援に関する情報を分かりやすく整理し、周知を図ります。

施策 2 ライフデザインの支援

- 就職や結婚、出産などのライフイベントに関する自分自身の考えや見通しを整理するライフデザインを支援し、一人ひとりが自分らしい人生を描き、実現できる環境づくりに取り組みます。
- 性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来の健康を考えて健康管理を行う、プレコンセプションケアを推進します。

施策 3 出会いの場の創出、結婚支援

- 結婚を希望する人が自然に交流しながら出会いのきっかけを得られるよう、富山市の多様な公共施設を活用した婚活イベントの開催など、出会いの場の創出を図ります。
- 出会いの場の提供のみならず、交際から結婚に至る過程でのサポートなど、結婚の希望をかなえられるように支援します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市こども計画

政策 2

妊娠・出産・子育てを切れ目なく支える仕組みづくり

関係機関が連携し、切れ目なく子育てを支える体制を構築します。

施策 1

妊娠期から子育て期の切れ目ない支援の充実

- こども家庭センターを中心として、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援に取り組みます。
- 若い世代や企業に向けて、妊娠・出産・子育てに関する知識の普及啓発を行い、社会全体で子どもや子育てを支え応援する気運の醸成を図ります。
- 妊娠期や出産後の経済的支援を実施するとともに、妊娠初期からの継続支援を強化することにより、安心して出産・子育てができる環境づくりを推進します。
- 医療機関等と連携し、出産環境の充実や産後ケアの推進などを通じて、子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりを推進します。
- 市民病院において、無痛分娩やＬＤＲ室（※１）の整備等、出産環境の充実を図ることで、妊娠・出産に対する不安や負担を軽減します。

施策 2

多様な保育サービスの提供

- 延長保育や一時預かり、病児・病後児保育など多様な保育サービスを提供するとともに、保護者の多様なニーズに対応できる保育環境を整備し、子育てと仕事の両立を支援します。
- 保育人材の確保や資質向上のための取組を継続し、安心して子どもを預けられる体制を整備します。

施策 3

安全・安心な保育環境の提供

- 就学前児童数の減少を踏まえ、集団保育に必要な児童数、施設の配置、地域性、施設の老朽化などを総合的に勘案し、将来の保育需要を見据えた上で、安全・安心で質の高い保育サービスを安定的に提供する保育環境づくりを進めます。
- 市立・私立保育施設の環境整備により、安心して子どもを預けられる保育環境を確保するとともに、地域の理解と協力を得ながら、子育て世帯を支える環境づくりを進めます。

主な関連計画
- 富山市こども計画

（※1）LDR室：妊産婦が出産から回復期までを移動なく過ごすための陣痛室、分娩室及び回復室が一体となった病室

政策3 子育ての喜びを支える支援の推進

子育て世帯を多面的に支え、安心と喜びを実感できる環境をつくります。

施策1 地域における子育て支援拠点施設の整備・運営

- 市内各所に子育て支援センターを開設し、親子が気軽に集い、交流できる場を提供します。
- 子育てに関する相談対応や講座の実施、地域の子育て情報の発信などにより、子育て中の不安感や孤立感の緩和を図ります。
- 父親向け講座の充実や地域・企業との連携により、家庭内の育児負担の偏りの軽減を図ります。

施策2 親子で楽しめる場の創出

- 子どもたちが安全に遊ぶことのできる場の充実や、子育て世帯が公共交通を利用しやすい環境を創出することで、外出機会の拡大を図ります。
- 保育所や認定こども園などに通っていない子どもと保護者を対象にした親子サークルなどを通じて、親子の交流を深める遊びや、子育ての仲間作りの機会を提供します。

施策3 ひとり親家庭への支援

- ひとり親家庭の子が大学等へ進学する際の奨学資金を給付し、経済的理由により進学や学習機会をあきらめることのないよう支援します。
- ひとり親家庭の親の就業に関する支援や経済的支援を行うことで、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市こども計画

政策 4 子どもの健やかな成長を見守る体制の構築

社会全体で子どもを見守り、健やかな成長を支える環境を整えます。

施策 1 「こどもまんなか社会」の実現

- こどもまんなか推進ロゴマークや各種広報媒体を活用した周知・啓発を行い、「こどもまんなか」の理念や取組の認知度向上を図ります。
- 子ども・若者の声を政策に反映するため、中高生など若い世代に向けた周知啓発を行うとともに、意見を聴く取組を実施します。
- 企業や関係機関との連携による、こどもまんなかアクションの取組事例の収集と発信を通じて、社会全体で子どもや子育てを支え、応援する気運の醸成を図ります。

施策 2 地域の子育て環境の充実

- 放課後児童クラブなどの受け皿確保を進め、子どもの居場所の充実を図ります。
- 老朽化した児童館について、公共施設の再編にあわせた機能の複合化を検討し、児童が安全に利用できる遊び場を確保します。
- 地域や関係機関と連携し、子どもを地域全体で見守り育てる意識の醸成を図ることにより、子どもの健やかな成長を支える環境づくりを推進します。

施策 3 児童虐待防止体制の整備

- 関係機関との連携による要保護児童等の早期発見や適切な支援を行う体制を整備し、児童虐待の未然防止と早期対応を進めます。
- 児童相談所、学校、保育施設、教育委員会などの関係機関と連携し、情報共有や連絡調整を行い、支援を必要とする子どもや家庭への対応力を高めます。
- 児童虐待防止に関する広報・普及啓発活動を推進し、市民の理解促進と通告意識の向上を図ることで、子どもの安全確保につなげます。

主な関連計画
- 富山市こども計画

分野
03

教育

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

子どもから大人まで、誰もが学ぶことを楽しみながら、自分らしく輝き、挑戦し続ける社会の実現を目指します。

- 富山市はこれまで、社会変化に対応した教育の実施や、いじめ対策や不登校児童生徒への支援、学校再編の推進など、子ども一人ひとりの学びを支える学校教育の基盤を整えてきました。また、すべての世代の学びの場である生涯学習拠点の整備を進めてきました。
- 一方、将来の予測が困難な現代においては、これまでも大切にしてきた資質・能力はもとより、思いやりや協調性、探求心、課題解決に主体的に取り組む力等を一体的に育む教育が求められています。また、子どもを取り巻く環境が多様化する中、誰一人取り残されない学びを保障し、社会全体で子どもの成長を支える仕組みが必要です。また、人生100年時代を見据え、いつまでも学び続け、挑戦し続ける環境づくりが求められています。
- 今後は、子どもたちの主体的な学びを支え、一人ひとりの可能性を引き出し、安心して学校へ通えるよう、質の高い教育環境の整備を一層推進します。また、すべての子どもが自分にあった学びを選択できるよう、多様な選択肢を提供します。さらに、リカレント教育への支援を充実させ、生涯にわたり学び、挑戦し続ける社会の実現を目指します。

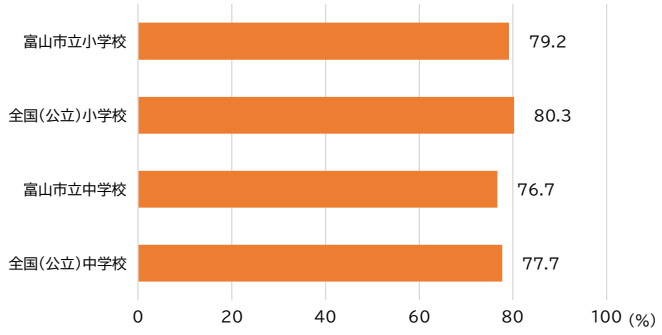
教育分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 子どもの主体的な学びを支え、一人ひとりの可能性を引き出す教育環境の整備が必要です。

「授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分で取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合

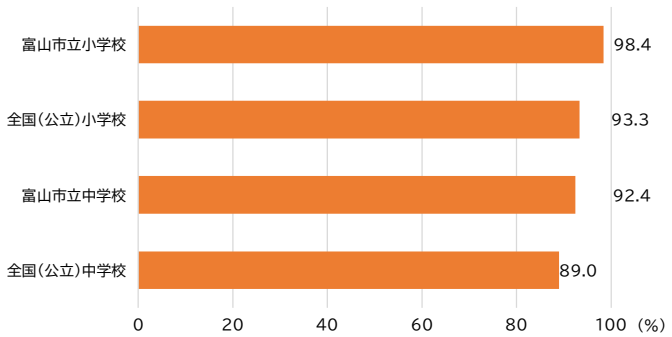


出典:文部科学省「全国学力・学習状況調査(令和7年度調査)」

将来の予測が困難な時代において、グローバルな視野を持ち、社会の発展を支える人材の育成が求められています。学びを楽しむことができる環境のもとで、課題解決に主体的に取り組む力を養う教育が必要です。

② 学校・家庭・地域みんなで協力し、子どもの成長を支えることが必要です。

「コミュニティ・スクール等の取組により、学校と地域や保護者との相互理解が深まった」と回答した学校の割合

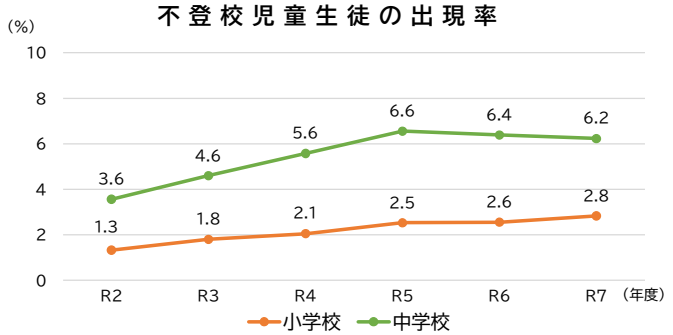


出典:文部科学省「全国学力・学習状況調査(令和7年度調査)」

近年、家族構成の変化や地域とのつながりの希薄化により、家庭での教育負担が増大し、子どもが抱える問題の早期発見が難しくなっています。子ども一人ひとりの豊かな成長を支えるためには、学校・家庭・地域が協力することが必要です。

③ すべての子どもが自分に合った学びを選べるよう、多様な選択肢が求められています。

不登校児童生徒の出現率

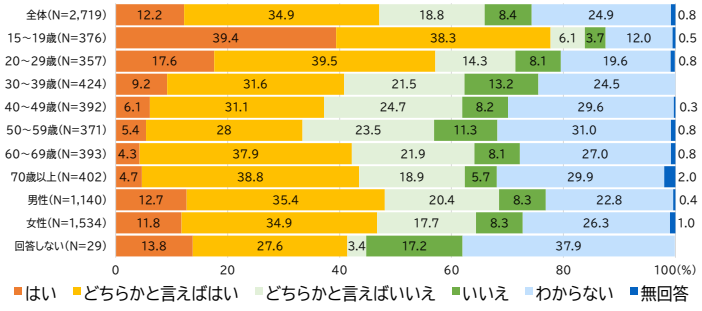


出典:文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

すべての子どもは、それぞれの状況に応じた適切な教育を公平・公正に受ける権利があります。誰一人取り残されない学びを実現するために、子どもが自分に合った学びを選べる、多様な選択肢の提供が求められています。

④ 年齢に関係なく誰もが学び続け、新しいことに挑戦できる環境が必要です。

「全体として、あなたが成長するための学びや経験できる環境がある」と回答した市民の割合



出典:富山県「令和7年度ウェルビーイング県民意識調査結果報告書」

人生100年時代において、刻々と変化する社会に対応できる知識やスキルを身につけるために、生涯にわたり学び続けることの必要性が高まっています。年齢を問わず、誰もがいつまでも学び、挑戦できる環境の整備が求められています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

「授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができている」と回答した学校の割合

基準 小学校:82.8%
中学校:69.2%
(令和7年度)

目標 小学校:92.0%
中学校:90.0%
義務教育学校:100%
(令和13年度)

全国学力・学習状況調査

コミュニティ・スクール等の取組により、学校と地域や保護者との相互理解が深まったと回答した学校の割合

基準 小学校:96.3%
中学校:89.8%
(令和5~7年度平均)

目標 小学校:98.0%
中学校:95.0%
義務教育学校:100%
(令和13年度)

全国学力・学習状況調査

不登校児童生徒数の割合(不登校出現率)

基準 小学校:2.84%
中学校:6.23%
(令和7年度)

目標 小学校:2.28%
中学校:4.46%
(令和13年度)

児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

富山市民大学での学びを今後の生き方やキャリアで活用できると感じている受講者の割合

基準 新規

目標 83%
(令和13年度)

市民学習センター受講者アンケート

政策1 未来を切り拓く子どもを育てる学校教育

学びを楽しむことができる環境下で、一人ひとりの可能性を引き出す質の高い教育を実現します。

施策1 主体性のある子どもの育成

- グローバルな視野を持って活躍できる能力を育成するため、外国語によるコミュニケーション能力の向上を図り、国際理解教育を推進します。
- 専門家の訪問授業により体験的な活動の機会をつくり、子どもの観察力・コミュニケーション力・探究心を高めます。
- 9年間の学びを通した確かな学力を育むため、小・中学校が連携した指導に取り組みます。
- 各学校において「主体的な学び」に向けた実践が進められるよう、教員の研修の充実を図ります。

施策2 安全・安心で質の高い教育環境の整備

- いじめの未然防止、早期発見、早期対応ができる組織体制を活用し、いじめを生まない学校づくりを目指します。
- 教員が心身共に健康で、子どもたち一人ひとりに向き合う時間を確保できるよう、学校における働き方改革を推進します。
- 子どもの学びの質を保障するために、これまでの学校再編の効果を検証し、学校規模の適正化を図ります。
- 適切な改修により施設の長寿命化を図り、小・中学校の体育館に空調設備を整備することなどにより、持続可能で快適な学習環境を確保します。
- 将来にわたり安定的に学校給食を提供する体制を構築するため、学校給食調理場の再編・整備を推進します。

施策3 教育DXの推進

- 一人1台端末を活用し、ICTを日常的に活用した学びを推進するため、ICT環境の整備と教員の指導力向上を図ります。
- 情報を正しく選び安全に使える基礎的な力を育てるため、生成AIの利活用を含めたデジタルリテラシー教育を実施します。
- ICTを活用し、子ども一人ひとりの興味や理解度に合わせた学びを推進します。

主な関連計画
- 富山市教育振興基本計画
- 富山市立小・中学校再編計画
- 富山市学校施設長寿命化計画

政策 2 学校・家庭・地域で支え合う教育の推進

学校・家庭・地域みんなで力を合わせ、子どもの成長を支えます。

施策 1 学校・家庭・地域との連携・協働と開かれた学校づくり

- 学校運営協議会の機能を生かし、地域住民と保護者、学校が一体となり、子どもたちの豊かな成長を支えます。
- 子どもたちがスポーツや文化・芸術に親しむ機会を確保するため、部活動の地域連携を推進します。

施策 2 地域と共に子どもが育つ環境づくり

- 学校や公民館等を活用し、多様な体験活動や地域住民との交流活動を行い、地域における子どもたちの安全・安心な居場所を確保します。
- 共働きなどで保護者が昼間家庭にいない小学生に対し、地域の方々の協力を得ながら、放課後の小学校の余裕教室などを活用した安全な生活の場を提供します。

施策 3 家庭教育支援の充実

- 子育てに不安を感じたり、身近に相談相手がいない状況にある保護者を支えるため、相談体制を確保し、地域全体で子どもを育てる環境づくりを進めます。
- PTA等と連携し、家庭教育に関する情報交換や親学びの機会を提供します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市教育振興基本計画

政策 3

一人ひとりに合った学びの充実

一人ひとりに合った多様な学びを提供し、誰一人取り残されない教育を実現します。

施策 1

学校に行きづらいと感じている子どもへの支援

- 各学校にスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置し、子どもや保護者への支援体制を整備します。
- 教室に入りづらい子どもが、自分に合ったペースで安心して学び、過ごすことができる環境を学校内に整備します。
- 学びの多様化学校「古志はるかぜ学園」において、子ども一人ひとりの状況に応じた柔軟なカリキュラムによる教育を提供します。
- メタバースを活用し、家庭内で多くの時間を過ごす子どもたちに、他者とのつながりの機会や居場所を提供します。

施策 2

インクルーシブ教育の推進

- 各学校にスクールサポーターを配置し、特別な支援を必要とする子どもに対し、一人ひとりの教育的ニーズに対応した支援を行います。
- 支援が必要な医療的ケア児が在籍する学校に、看護師を派遣・配置し、保護者の付添いがなくても安全・安心に学べる環境を整備します。
- 外国人の子どもが円滑に教育を受けられるよう、日本語指導や生活適応の支援を行う体制を整備します。
- 国際交流活動や外国文化の理解を深める教育を行い、異なる文化背景を持つ人々への理解と、尊重する態度を育みます。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市教育振興基本計画

政策 4 生涯にわたり活躍できるひとづくり

年齢に関係なく挑戦し続ける社会の実現のため、学びの機会の提供や支援の充実を図ります。

施策 1 リカレント教育の推進

- 富山市民大学や公民館において、あらゆる世代が受講しやすい工夫を行い、生涯にわたり学び直し、能力向上を図ることができる機会を提供します。
- 社会人へ学びの機会を提供することで、多様な世代の職業能力向上を後押しします。

【関連施策】産業・雇用　政策２－施策２

施策 2 生涯学習拠点の充実

- 図書館において、魅力ある蔵書の充実や、本と関連したイベントや講演会の実施などにより、知の拠点施設として、市民に質の高い情報を提供します。
- 公民館において、利用申請の電子化やスマートロックの導入といったデジタル技術などにより利便性を向上させ、地域住民が集い、学び、交流できる場を創出します。

【関連施策】地域コミュニティ　政策３－施策１

- 魅力的な学びの場を提供できるよう、博物館の目指すべき方向性を定め、計画的に展示の見直しや施設の長寿命化を進めます。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市教育振興基本計画

分野
04

スポーツ

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

スポーツを「する・みる・ささえる」社会を実現し、スポーツを通じて人々が「つながる・あつまる」場をつくり、地域の活性化を目指します。

- 富山市はこれまで、生涯スポーツの推進や競技スポーツの振興、スポーツ拠点の整備、全国大会等の開催支援など、市民誰もがスポーツを身近に感じ、楽しむことができる環境づくりに努めてきました。
- 一方、運動習慣のない年代へのアプローチや、子どもたちが成長してもスポーツを楽しみ続けられる環境づくりが課題となっています。また、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツを通じて人々が集まり、交流する機会を拡大し、地域の活性化やまちの賑わいの創出につなげることが期待されています。
- 今後、スポーツを「する・みる・ささえる」社会の実現に向けて、市民一人ひとりが自分の状況に応じてスポーツに親しみ続けられる環境づくりや、将来のトップアスリートの育成及び競技力の向上を支える体制の整備を進めます。また、魅力あるスポーツ拠点を創出し、スポーツを通じて人々が「つながる・あつまる」場を作り、スポーツを通じたまちの賑わいの創出と地域の活性化を目指します。

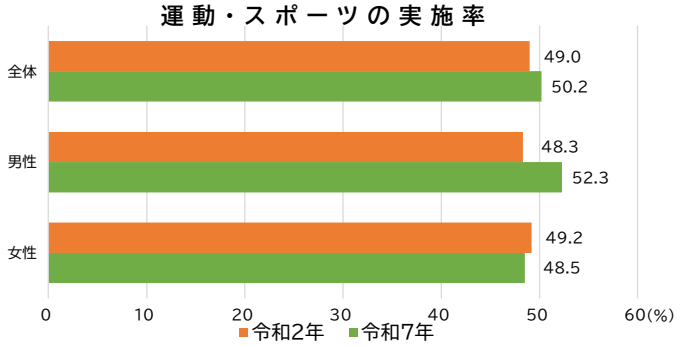
スポーツ分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 誰もが、いつでも気軽に運動やスポーツを楽しめる環境づくりが必要です。

市民（16歳以上）の週1回以上の運動・スポーツの実施率

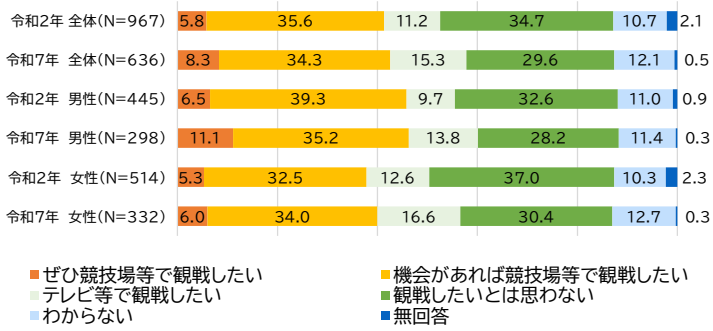


出典：富山市「スポーツに関する市民意識調査」

週1回以上の運動習慣がない大人や、運動への苦手意識がある子どもが見受けられます。心身の健康維持のためには、運動習慣を身に付けることが大切であり、自分の状況に応じて、誰でも気軽に運動やスポーツを楽しめる環境が必要です。

② スポーツを「観て、応援する」気運の醸成が求められています。

地域のプロスポーツの観戦意向

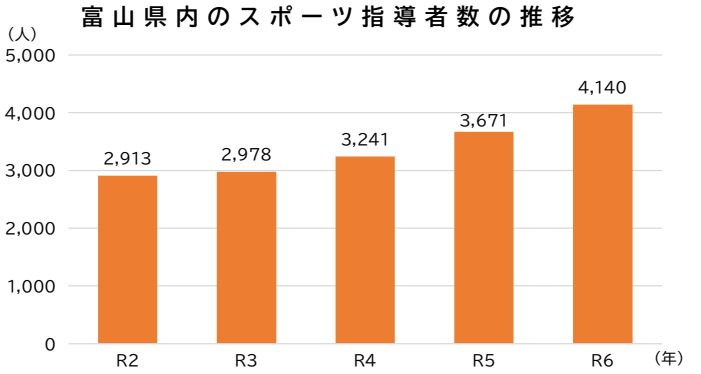


出典：富山市「スポーツに関する市民意識調査」

地域のプロスポーツを観戦したいと思わない市民も、一定程度いる状況です。トップレベルのスポーツを観ることは、市民に夢を与え、スポーツの振興にもつながることから、スポーツを「観て、応援する」文化の醸成が求められます。

③ 初心者からプロを目指す人まで、スポーツに取り組める体制づくりが必要です。

富山県内のスポーツ指導者数の推移

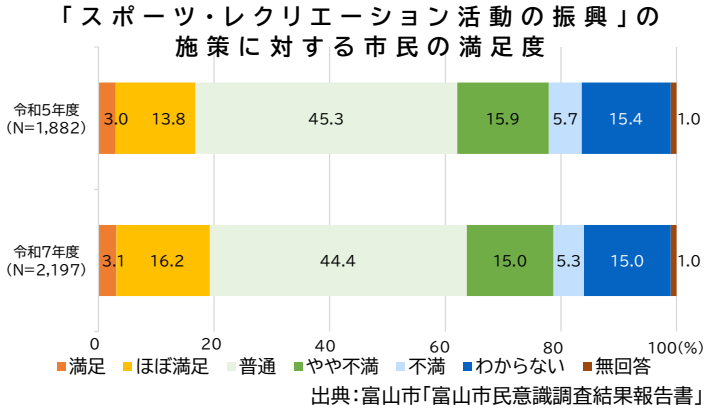


出典：日本スポーツ協会「公認スポーツ指導者認定状況」

富山市出身の選手の活躍は、市民に感動と夢を与え、スポーツへの関心を高める大きな効果があります。世界で活躍できる選手を輩出するためには、ジュニア期からの一貫した育成が必要であり、団体や指導者の活動を支える体制づくりが必要です。

④ スポーツを通じて、人々が集い、交流する場の創出が求められています。

「スポーツ・レクリエーション活動の振興」の施策に対する市民の満足度



出典：富山市「富山市民意識調査結果報告書」

スポーツへの参加や観戦は、人々が集まり交流する機会となり、地域の活性化やまちの賑わい創出につながります。市民がスポーツに関する情報をいつでも簡単に入手でき、スポーツに参加したくなったり、観戦に足を運びたくなるような、魅力あるスポーツ拠点の創出が求められています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

市民(16歳以上)の週1回以上の運動・スポーツ実施率

- 基準：50.2%（令和7年度）
- 目標：65.0%（令和12年度）

スポーツに関する市民意識調査

地域のプロスポーツの観戦率

- 基準：＜競技場等＞ 成人：12.6%、児童生徒：27.2% ＜テレビ等＞ 成人：20.9%、児童生徒：23.6%（令和7年度）
- 目標：＜競技場等＞ 成人：20.0%、児童生徒：35.0% ＜テレビ等＞ 成人：25.0%、児童生徒：35.0%（令和12年度）

スポーツに関する市民意識調査

市内のスポーツ競技団体における指導者数

- 基準：1,290人（令和8年度）
- 目標：1,380人（令和13年度）

富山市調査

スポーツを通じた交流に意義を感じている市民の割合

- 基準：26.3%（令和7年度）
- 目標：30.0%（令和12年度）

スポーツに関する市民意識調査

政策 1 誰もが楽しくスポーツを「する」環境づくり

誰もが身近な場でスポーツに親しめる環境の充実を図ります。

施策 1 多様な主体がスポーツを楽しむ機会の創出

- 各世代に応じた運動プログラムの提供やスポーツイベントの開催などを通じて、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。
- 障害者スポーツの普及促進を目的とした団体の設立・運営支援や、障害者関係団体等との連携により、障害者スポーツの推進を図ります。
- 子どもが運動・スポーツに取り組む習慣を身に付けられるよう、学校やスポーツ関係団体と連携し、運動・スポーツに親しむ機会を提供します。
- アーバンスポーツの普及促進を図るため、イベントの開催等により認知度を高め、市民の多様なスポーツ参加を促進します。

施策 2 安心・安全・快適で、持続可能なスポーツ施設の整備

- スポーツ施設の計画的な改修や設備更新により、施設のＬＥＤ化など、施設の長寿命化を図り、安心・安全・快適に利用できる環境を整備します。
- 民間の力を生かした効率的な運営手法を取り入れ、持続可能な施設運営を推進します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市スポーツプラン

政策 2 トップレベルのスポーツを「みる」環境づくり

スポーツを観て応援する文化を育み、スポーツへの関心を高めます。

施策 1 プロスポーツチームと連携した「応援する」気運の醸成

- 富山市を拠点とするプロスポーツチームと連携し、市民デーなどの試合情報を積極的に発信し、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供します。
- 市民が選手と交流できるイベント等の実施や、学校・地域との連携事業を通じて、地元のプロスポーツチームへの愛着やスポーツへの関心を高めます。

施策 2 スポーツ大会の誘致による観戦機会の創出

- 国際大会や全国規模のスポーツ大会、地域独自の特色ある大会の開催を支援し、市民が身近にスポーツを観る機会の充実を図ります。
- 大会開催地や合宿地として選択されるよう、施設の特徴や地域の魅力などについて、スポーツ団体、観光・経済団体等と連携し、情報発信を行います。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市スポーツプラン

政策 3

スポーツ活動を「ささえる」環境の整備

初心者からトップアスリートまで、誰もがスポーツに取り組むことができる環境を整備します。

施策 1 トップアスリートの育成・強化体制の確立

- ジュニア期から中・長期的な育成を行えるよう、競技団体を支援し、一貫した指導体制を確立します。
- 全国レベルで活躍する選手・指導者を外部講師として招聘し、選手の競技力向上と指導者の資質向上を図ります。
- 富山市を代表するスポーツについては、ジュニア育成の成果を踏まえ、定期的に対象種目を見直し、重点的に支援します。

施策 2 スポーツ活動を支える団体や指導者への支援

- 市民が生涯にわたってスポーツに取り組めるよう、地域におけるスポーツ活動を支える団体の運営を支援します。
- 指導者の質の向上を図るため、研修・講習会の開催や、指導者の資格取得を支援します。
- 選手の強化活動に貢献した指導者等に対し、社会的評価を高めるために表彰を行うなど、顕彰制度の充実を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市スポーツプラン

政策 4 スポーツで「つながる」交流と賑わいの創出

スポーツを通じて人々が集い、地域に交流と賑わいを生み出します。

施策 1 スポーツを通じた集まる機会創出と交流促進

- スポーツ活動の拠点となるスポーツ施設に、多くの人々が集い、交流が生まれるよう、魅力ある拠点づくりを進めます。
- 市民が必要なスポーツ情報をいつでも簡単に入手できるよう、スポーツイベントや施設利用等に関する情報を一元化し、わかりやすく提供します。
- スポーツ施設の利用予約をオンライン化するなど、利用しやすい施設運営を進めます。

施策 2 まちなかのアリーナを拠点とした賑わいの創出

- 民間ノウハウを活用した自由度の高い運営により、プロスポーツの興行や質の高いエンターテイメントを提供し、周辺エリアの活性化を図ります。
- イベントの開催等にあわせ、交流・滞在・消費につながる取組を展開し、スポーツを契機とした関係人口の創出や地域の活性化を図ります。

【関連施策】観光・交流　政策３－施策２

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市スポーツプラン

分野
05

地域コミュニティ

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

多様な人々が支え合い、地域の活動や文化の継承を通じて、安心して暮らせる地域コミュニティづくりを進めます。

- 富山市では、町内会や自治振興会、公民館活動、地域の祭りや行事などを通じて、住民同士が地域の暮らしを支え合う基盤が培われてきました。
- 一方、人口減少や少子高齢化の進行により、地域活動の担い手不足や、住民同士のつながりの希薄化が進んでおり、地域活動の継続に課題が生じています。
- 今後、ＩＣＴを活用した地域活動の効率化や、多世代の地域参加を促進するとともに、公民館などの地域拠点機能の向上を図ります。また、多文化共生や男女共同参画を推進し、誰もが地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。さらに、地域の伝統文化や文化遺産の保存・活用、ふるさと意識の醸成を通じて、地域への愛着とつながりを育みます。

地域コミュニティ分野に関連するSDGsゴール



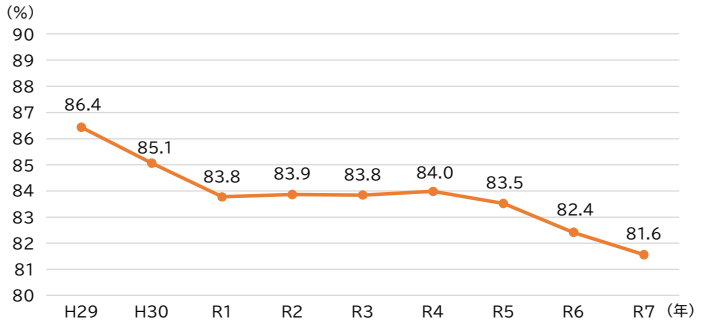
① 誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、さらなる対応が求められています。

写真
（男女参画イベント）

人口減少や少子高齢化が進む中、誰もが活躍の場を持ち活き活きと暮らすため、固定的な役割分担意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を解消することが課題となっています。また、外国人住民が増加する中、互いの文化や慣習を理解し、共に暮らす地域づくりが求められています。

② 地域活動の担い手不足と負担の軽減が、重要な課題となっています。

町内会加入率の推移

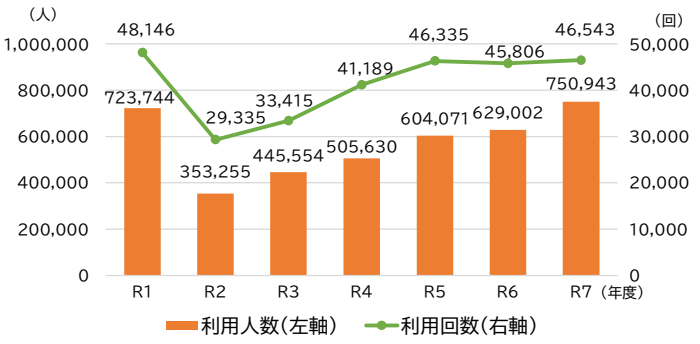


出典：富山市調査

少子高齢化やライフスタイルの変化により、町内会の担い手が減少し、地域活動の継続や運営に課題が生じています。多世代が継続的に関わる、効率的な仕組みづくりが求められています。

③ 地域交流拠点の利便性向上に取り組む必要があります。

公民館利用者数・利用回数の推移（年度別）



出典：富山市調査

市立公民館は地域住民の交流や学びの重要な拠点ですが、施設の老朽化への対応や、より利用しやすい施設環境の整備が求められています。

④ 地域の魅力の維持や、特色のある地域行事の継承が課題となっています。

写真

担い手不足により、地域で代々受け継がれてきた行事の継続が難しい状況となっています。世代を超えた関わりを推進し、行事を継承するための取組への支援が必要となっています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

自治会・町内会などの地域活動において男女平等と感じる市民の割合

基準 27.4%（令和7年度）

目標 32.4%（令和12年度）

男女共同参画に関する市民意識調査

電子回覧板利用世帯数

基準 10,608世帯（令和7年度）

目標 80,000世帯（令和13年度）

富山市調査

公民館利用者数

基準 629,002人（令和6年度）

目標 700,000人（令和13年度）

富山市調査

「町内会の活動やお祭りなど地域コミュニティに関する行事に参加している」と回答した市民の割合

基準 36.0%（令和7年度）

目標 38.0%（令和12年度）

富山市民意識調査

政策1 多様な人々が支え合う地域づくり

地域の多様な主体が支え合う、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指します。

施策1 多文化共生の推進

- 市民、事業者、民間団体等と連携・協働し、地域の実情に即した多文化共生推進施策を講じることで、相互理解と共生意識の醸成を図ります。
- 外国人住民が地域で安心して暮らせるよう、多言語や分かりやすい日本語による生活・防災情報等の発信や、相談体制の充実に努めます。

施策2 男女共同参画社会の推進

- 地域での啓発活動などを通じて、社会全体の男女共同参画に関する正しい理解の促進と意識醸成を図ります。
- 若者向けのイベントや男女共同参画推進センターにおける啓発講座の開催等により、性別に基づく偏見や固定観念を見直し、ジェンダー平等や多様性への理解を促進します。
- ＤＶ相談等の相談支援や啓発活動を通じて、あらゆる暴力を許さない意識の醸成と、安心して暮らせる社会づくりを進めます。

施策3 高齢者や障害のある人の社会参加支援

- 高齢者が豊富な経験と知識を生かして地域社会に貢献し、生きがいのある生活を送れるよう、就労や社会活動参加への支援を行います。
  【関連施策】健康・福祉・医療　政策３－施策２
- 障害者の就労移行支援事業所やグループホーム等の整備を支援し、地域で安心して生活できる環境づくりと就労先での理解の促進を図ります。
  【関連施策】健康・福祉・医療　政策３－施策４

主な関連計画
- 富山市男女共同参画プラン
- 富山市障害者計画・富山市障害福祉計画
- 富山市高齢者総合福祉プラン

政策2 地域を担う人材の育成と活動の促進

地域の担い手を育成し、ICT活用と多世代連携で、元気な地域社会の形成を目指します。

施策1 ICTを活用した地域活動の活性化

- 電子回覧板アプリなどデジタル技術の活用により、地域活動の効率化や幅広い世代の参加促進、担い手の負担軽減を図るとともに、平常時から災害時までの円滑な情報共有や連絡体制を推進することで、安全で安心な地域づくりを進めます。
- 高齢者がスマートフォンをはじめとするデジタル機器を積極的に活用できるよう、各種講座を実施します。

【関連施策】都市・交通　政策3－施策1

施策2 地域活動への参画促進・担い手育成

- 町内会等が抱える地域課題の解決や、地域の魅力向上につながる地域主体の新たな取組、若年層との交流を促進する取組等への支援により、「元気な地域」の形成を推進します。
- 地域における災害対応力向上のため、防災リーダーとなる人材の育成を推進します。

【関連施策】防災・防犯　政策1－施策1

- 自主防犯組織の活動を支援し、地域の防犯活動の質の向上と担い手の確保を図ります。

【関連施策】防災・防犯　政策2－施策1

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市地域防災計画
- 富山市安全で安心なまちづくりの推進に関する行動計画

政策 3

地域拠点を生かした交流の促進

公民館などの地域拠点を生かし、住民同士の交流や活動が広がる地域づくりを進めます。

施策 1

コミュニティ活動の拠点整備

- 地域住民が集い、学び、交流できる場である、市立公民館の整備を推進します。
- 利用申請の電子化やスマートロックの導入といったデジタル技術の活用などにより、公民館の利便性と地域活動の拠点性向上を図ります。

施策 2

地域拠点を活用した交流機会の創出

- 公民館をはじめとした公共施設を活用し、地域住民が気軽に集い、つながる機会の創出を支援します。
- 地域住民や団体、事業者等が連携して実施する、買物支援、移動支援、交流イベントなどの取組を促進し、身近な拠点を中心とした地域の活性化を図ります。

施策 3

中山間地域の地域資源を生かした交流の促進

- 富山の豊かさを支える中山間地域において、移住・定住の促進と、多様な担い手の確保により、住民主体の地域づくりを支援します。
- 地域住民が、地域の将来像を描き、共有できるよう、対話によるビジョンづくりを促進します。
- 豊かな自然、歴史ある生活文化、なりわいなど、中山間地域固有の地域資源を活かし、交流と活力を創出しながら、安心して暮らし続けられる場所として次世代に継承する取組を支援します。

取組の写真、イラストなど

政策 4

地域の誇りを受け継ぐふるさとづくり

地域の祭りや歴史、自然などを生かした住民主体の活動を通じて、地域の愛着と誇りを受け継ぎます。

施策 1

ふるさとづくりの推進

- 地域の特性を生かした公民館活動やふるさとづくり事業により、身近な学びと交流の機会を創出し、多世代のつながりを育みます。
- 地域の祭りや文化祭など、住民が主体となって取り組む地域活動を支援し、地域の連帯感とふるさとへの愛着を醸成します。

施策 2

地域の伝統行事等の継承支援

- 町内会等が地域の伝統、歴史、自然などの地域資源を生かして取り組む活動を支援し、地域への愛着や住民同士のつながりを育みます。
- 途絶えていた伝統行事の復活など、地域による伝統や文化の継承に向けた取組を支援します。

【関連施策】文化・芸術　政策３－施策２

取組の写真、イラストなど

分野
06

郷土愛

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

富山の魅力発信とふるさと教育を通じ、世代を超えて郷土愛を深める取組を推進します。

- 令和７年度に実施した「富山市民意識調査」では、「富山市に住み続けたい」と考える市民が８０％を超えているほか、住み続けたい理由としては「地域になじみや愛着があるので」と答える市民が最も多いという結果になっています。こうした市民の愛着は、富山の魅力発信や移住・定住、次世代へのふるさと教育につなげていくべき、重要な財産です。
- 一方、若年層を中心に市内定着意識の低下もみられ、若い世代、中でも若年女性の転出や、Uターン促進が課題となっています。市民自らが富山の魅力を発信する取組の推進や、ふるさとへの理解を深める子どもたちへの教育の充実が必要です。
- 今後、市外に向けた魅力発信と移住・定住の促進、市民のシビックプライド醸成、子どもたちへのふるさと教育を連動させるとともに、近隣市町村との連携により地域全体の魅力を高め、富山への愛着と共感を内外に広げます。

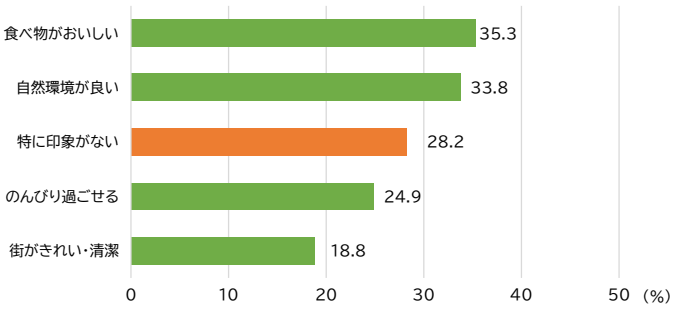
郷土愛分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 富山の魅力発信のさらなる強化が求められています。

大都市圏イメージ調査の結果（令和８年度調査）

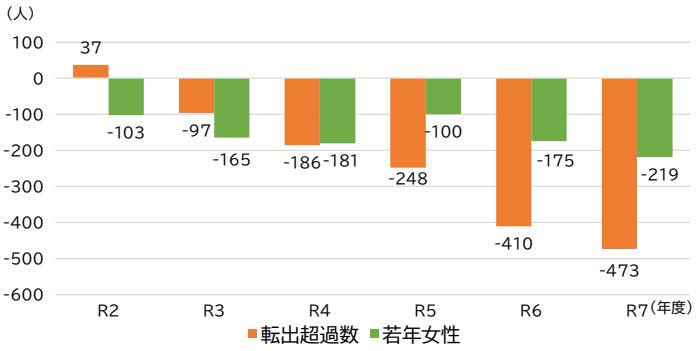


出典：富山市調査

大都市圏（首都圏・関西圏）の居住者を対象に富山市のイメージを聞く「大都市圏イメージ調査」では、約３割の人が富山市に「特に印象がない」と回答しています。市外での認知度向上が課題となっており、戦略的な情報発信を進めて富山の魅力を効果的に伝えることが必要となっています。

② 若年層の流出と、Uターン促進が課題になっています。

若年世代（１５～３４歳：日本人）の転出超過

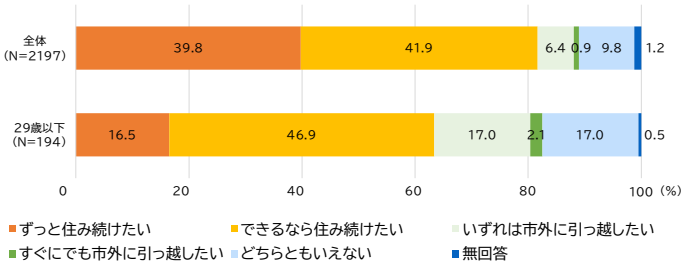


出典：富山県「人口移動調査」

富山市は全体で転入超過傾向にあるものの、１５～３４歳の若年層、特に若年女性は転出超過が続いています。進学・就職で転出した若者のUターン促進や、定住促進策の充実が求められています。

③ 市民の郷土愛は強いものの、若年層の愛着醸成に課題があります。

「富山市に住み続けたい」と回答した市民の割合



出典：富山市「富山市民意識調査結果報告書（令和7年度調査）」

富山市民意識調査では「富山市に住み続けたい」と回答した市民は全体で約８割と高水準ですが、２９歳以下では減少傾向です。ＳＮＳ発信やまちづくり参加を促し、富山への愛着を深める取組が必要です。

④ 子どもたちがふるさとの理解を深める教育の充実が求められています。



郷土の歴史や文化を体験し理解を深める教育を充実させることで、子どもたちが富山への愛着を持ち、一度転出しても再び戻りたいと思う気持ちを育むことが重要です。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

富山の魅力を自ら発信している市民の割合

基準　新規

目標　52%（令和12年度）

富山市民意識調査

移住者数（移住相談窓口を通した県外からの移住者数）

基準　230人（令和7年度）

目標　450人（令和13年度）

富山県調査

富山市に対して「推奨」・「参加」・「感謝」する意欲があると回答した市民の割合

基準　①推奨意欲 17.8%
②参加意欲 18.4%
③感謝意欲 56.1%
（令和7年度）

目標　①推奨意欲 21.8%
②参加意欲 22.4%
③感謝意欲 60.1%
（令和12年度）

富山市民意識調査

富山の新たな魅力を発見できたと回答した市民の割合

基準　新規

目標　70%（令和13年度）

富山市調査

政策 1

富山の魅力発信と移住定住の促進

富山の魅力発信と広域連携で、移住定住を促進します。

施策 1 シティプロモーションの推進

- 市外居住者、特に若い世代をターゲットに、SNSや各種媒体を活用し、富山の魅力を戦略的かつ効果的に発信します。
- 情報発信を通じて富山への興味・関心を高め、交流人口や関係人口の拡大を推進します。

施策 2 富山の魅力を生かした移住定住の促進

- 移住希望者との交流の場や、SNSなどのデジタル技術を活用し、富山での暮らしの魅力を地方移住検討者に戦略的に発信することで、富山への移住を促進します。
- 移住コンシェルジュによる継続的な支援を行い、移住検討段階から移住後の暮らしまで一貫して寄り添うことで、移住者の定住をサポートします。
- 市内外の若者に対し、富山で働き暮らす魅力を伝えることで、富山への愛着を育み、若者の定着やUIJターン促進を図ります。
- 先輩移住者による情報発信を促進し、富山での日常の暮らしの魅力を広げることで、さらなる移住者や関係人口の拡大につなげます。

施策 3 近隣市町村との連携による魅力創出

- 富山広域連携中枢都市圏の5市町村が連携して事業を推進し、域内全体の魅力を高めます。
  【関連施策】行政・パートナーシップ　政策2－施策1
- 自治体間で資源を有効活用し、広域的な住民サービスの維持・向上と関係人口・交流人口の増加を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市シティプロモーション推進指針

政策 2

ふるさとへの理解と誇りの醸成

多様な市民参加型事業で、地域の誇りと愛着を育みます。

施策 1

シビックプライドの醸成

- 「AMAZING TOYAMA」をキーワードに、市民の誇りや愛着を育む、シビックプライド醸成に向けた取組を推進します。
- 市内の風景や暮らしを写した写真展やワークショップなどを通じて、地域への理解と愛着を深める機会を創出します。
- 進学や就職で富山を離れた方も含め、SNS等で富山の魅力や暮らしの良さに触れることで、「帰ってきたい」「住み続けたい」と思う気持ちを育む取組を展開します。
- (仮称)とやまくすりミュージアムを整備し、富山の産業発展の礎となった配置薬業をはじめとした「富山のくすり」に関する情報発信や、子どもたちを中心に幅広い層の人々が参加できる体験学習プログラムを実施するなど、地域産業への誇りや愛着を育みます。

施策 2

ふるさと教育の推進

- 小学生を対象に、地域の自然や文化財を巡る参加型学習を実施し、郷土への理解と愛着を深めます。
- 歴史や文化、人とのつながりや生活など様々な地域資源の学びを通じて、子どもたちのふるさとを大切にする心を育みます。

【関連施策】文化・芸術　政策3－施策2

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市シティプロモーション推進指針
- くすり関連施設基本構想・基本計画
- 富山市文化財保存活用地域計画

分野
07

行政・パートナーシップ

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

産学官民の創意と知見を生かして、変化のスピードが速い現代社会に柔軟に対応できる行政基盤を確立します。

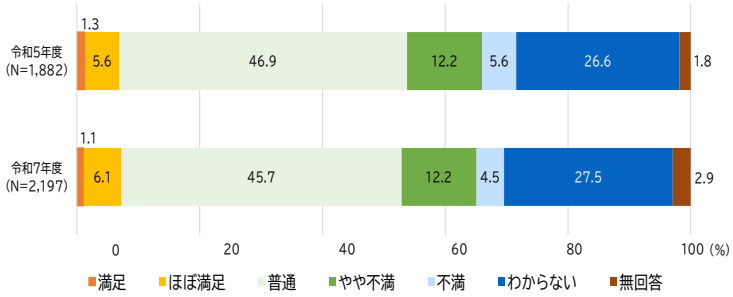
- 富山市はこれまで、市民との協働や、産学官民との連携、行政改革の推進などにより、行政課題の解決や時代に応じた行政運営体制の確立に努めてきました。
- 一方、グローバル化・高度情報化が急速に進展し、将来の予測が困難な現代社会において、行政課題は多様化・複雑化しており、行政のみの視点では、すべてに対応することがますます難しくなっています。また、少子高齢化の急速な進行により、行政経営資源が制約を受ける中でも、将来にわたって行政の機能を発揮し続ける必要があります。
- 今後は、産学官民の創意と知見をまちづくりに生かすため、新たな価値を生みだし、多様な主体が行政課題の解決に積極的に取り組む環境を整備します。また、持続可能な行政基盤を確立するため、人材育成と働き方改革を進めるとともに、限られた行政経営資源を最大限に有効活用できるよう、デジタル技術を活用した業務改革と魅力ある公共施設への転換を推進します。

行政・パートナーシップ分野に関連するSDGsゴール



① 地域課題の解決のために、市民のまちづくりへの積極的な参画が求められています。

「市民主体のまちづくり」の施策に対する市民の満足度



出典：富山市「富山市民意識調査結果報告書」

行政サービスへの市民ニーズや地域課題は多様化・複雑化しています。それらに対応するために、行政の視点だけではなく、市民の創意が求められており、市民がまちづくりに参画しやすい仕組みづくりが必要です。

② 持続可能なまちづくりを進めるため、多様な主体が連携することが必要です。

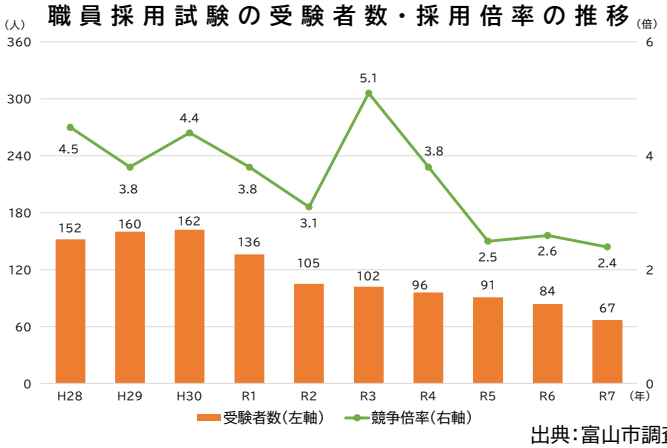
写真

（ワンチームの写真）

少子高齢化・グローバル化・高度情報化の急速な進行により、将来の予測が難しい社会となっています。変化しやすい行政課題に対応するためには、広域的な視点や、大学や企業等の専門的知見が必要となっています。

③ チャレンジを楽しみ、多様化する行政課題に対応できる職員の確保・育成が必要です。

職員採用試験の受験者数・採用倍率の推移

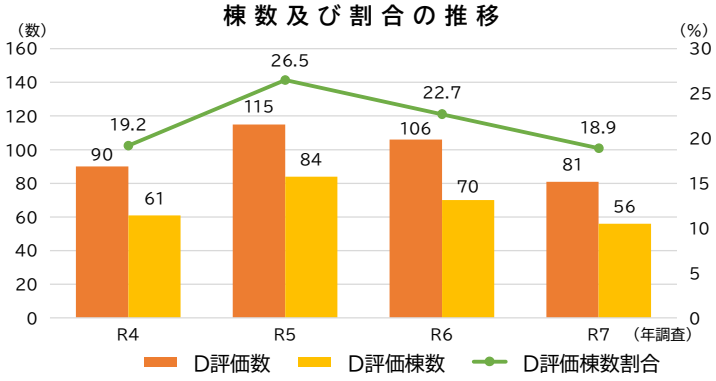


出典：富山市調査

少子化による生産年齢人口の減少等により、人材確保はますます厳しい状況となっています。多様化する行政課題に適切に対応できる職員を確保するために、人材育成や働き方改革の推進が求められています。

④ 持続可能な行政基盤を確立するためには、デジタル技術の活用や公共施設の在り方の見直しが必要です。

劣化状況調査によってD評価となった棟数及び割合の推移



出典：富山市調査
※D評価：「早急に対応が必要」と判定されたもの

人口減少や少子高齢化の進行に伴い、行政経営資源が制約される中でも、将来に渡って、自治体としての機能を発揮し続ける必要があります。そのためには、業務の効率化や公共施設の見直しなどにより、限られた資源を最大限に有効活用することが重要です。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

まちづくりの主体であるという意識を持ち、地域をより良くするために行動している市民の割合

基準 新規

目標 30%（令和12年度）

富山市民意識調査

SCRUM-T(※1)への参加企業・団体数

基準 283企業・団体（令和7年度）

目標 360企業・団体（令和13年度）

富山市調査

行政手続におけるデジタルサービスの利用率

基準 新規

目標 前年度比2%増（令和13年度）

富山市調査

基礎的財政収支

基準 黒字（令和6年度）

目標 黒字（令和13年度）

富山市調査

(※1)SCRUM-T：富山市スマートシティ推進プラットフォーム。富山市内外の企業や団体等との連携により、地域課題の共有や事業創出を目指す。

政策 1 市民主体のまちづくりの推進

まちづくりに参加しやすい仕組みを構築し、市民と行政が共にまちを創ります。

施策 1 市政への市民参画の推進

- 市民と市政の情報を共有するため、広報紙、SNSなど、多様な情報媒体を活用し、効果的に情報を発信します。
- タウンミーティングの開催などにより、市民に施策などを説明し、市民の多様な意見を聞く場を整備します。
- 市民のニーズに沿ったまちづくりを推進するため、市政の計画段階からの市民参画を促進します。

施策 2 市民の創意と主体性を生かしたまちづくりの推進

- 市民同士の対話の場づくりを進め、新たな価値の創造と地域課題の解決に取り組む意識の醸成を図ります。
- 市民活動に関する情報発信や参加機会の提供などにより、市民が主体的に活動へ参加できる環境づくりを進めます。
- 地域に関係する多様な主体とそれぞれの特性を生かして連携・協力し、協働による地域課題の解決を推進します。

施策 3 SDGsの普及展開と担い手の育成

- SDGsに関するイベントやワークショップを継続的に開催し、情報発信を積極的に行うことで、SDGsの普及展開を進めます。
- 「SDGsサポーター」の募集・登録を進め、SDGsの推進に取り組む担い手を育成します。
- 教育機関と連携し、SDGsの視点から地域の課題を考え、解決に向けて行動できる子どもの育成を図ります。

主な関連計画
- 富山市行政改革大綱

政策 2 多様な主体との連携の推進

地域の多様な主体と手を取り合い、持続可能なまちづくりを進めます。

施策1 県や近隣市町村との連携

- 富山広域連携中枢都市圏の市町村と連携し、圏域全体の住民サービス向上と地域の活性化を図ります。
  【関連施策】郷土愛　政策1－施策3
- 「ワンチームとやま」連携推進本部会議において、県と市町村間の課題共有を図り、連携した取組を推進します。

施策2 高等教育機関との連携

- 高等教育機関との連携・協力を推進し、専門的な知見や学生の柔軟なアイデアを活用し、地域課題の解決を図ります。
- 高等教育機関への支援を行うことにより、教育研究環境の充実を図り、地域を担う人材を育成します。
- 高等教育機関の魅力を向上させることで、若者で賑わうまちの実現を目指します。

施策3 産学官民の連携による共創の推進

- 産学官民が連携するプラットフォームを提供することで、オープンイノベーションを推進します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山広域連携中枢都市圏ビジョン
- 富山市スマートシティ推進ビジョン

政策 3

挑戦と成長を促すスマートな行政基盤の確立

複雑化・高度化する行政課題に対応できる行政基盤を創ります。

施策 1

スマート自治体の実現

- 行政サービスを支える事務処理等の内部業務を、デジタルツールを活用して見直し、職員の生産性向上を図ります。
- デジタル技術を活用して窓口業務を改善し、「書かない、待たない、迷わない、行かない」窓口サービスを実現します。
- 市が保有する行政データについて、職員が安全かつ効果的に利用できる環境を整備し、ＥＢＰＭ（証拠に基づく政策立案）を推進します。
- 職員のデジタル利活用能力を高める人材育成・確保の仕組みを構築し、持続可能なＤＸ推進体制を確立します。

施策 2

多様な行政ニーズに対応できる人材の育成・確保

- 複雑化・高度化する行政課題に対応できる人材を育成するため、職員の意識改革を進め、行政ニーズに対応した研修により職務能力の向上を図ります。
- 安定的・継続的に人材を確保するため、業務改革や職場環境の向上に取り組み、職員の働き方改革を推進します。

施策 3

健全な行財政運営に向けた公共施設マネジメント

- 公共施設の在り方を時代のニーズに応じて見直し、施設の数・配置・機能を最適化します。
- 公共施設を市民共有の資産と捉え、施設本来の用途にとらわれない柔軟な活用や、未利用・低利用施設の転用、民間活力の導入などにより、市の財政負担を減らしつつ、新たな価値の創出と持続的な利活用を進めます。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画

- 富山市行政改革大綱
- 富山市行政改革実施計画・富山市ＤＸ推進計画
- 富山市公共施設等総合管理計画
- 富山市公共施設マネジメントアクションプラン

背景に富山市の風景などの写真を挿入

分野
08

都市・交通

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

コンパクトシティ政策とスマートシティ政策の融合により、地域の魅力を生かしながら、誰もが安心して暮らし続けられる安全で快適なまちづくりを進めます。

- 富山市は、公共交通の活性化や公共交通沿線への居住推進、拠点の活性化などのコンパクトシティ政策を推進してきたことで、持続可能で魅力ある都市構造への転換を図ってきました。
- 一方、人口減少や少子高齢化の進行、また今後見込まれる世帯数の減少に伴い、公共交通の持続可能性の低下や空き家・空き地の増加による生活環境の悪化などの課題が深刻化しています。さらに、老朽化した社会インフラの維持管理費用が増大しているほか、安全性の確保や頻発・激甚化する災害への対策も急務となっています。
- 今後、コンパクトシティ政策をデジタル技術を活用したスマートシティ政策で補完・融合しながら、「都市の再構築によるコンパクトなまちづくり」を推進することにより、市域のどこに住んでいても利便性や生活の質の向上を実感できるまちを目指します。

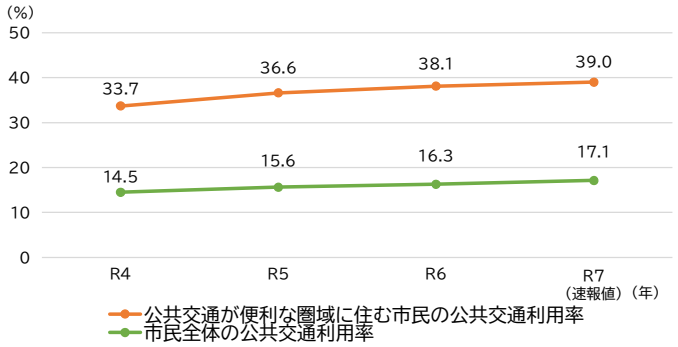
都市・交通分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 公共交通の利便性向上と住環境の整備が求められています。

市民の公共交通利用率

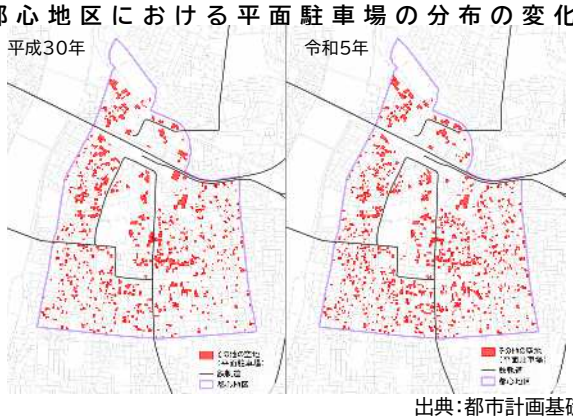


出典:富山市調査

市民の公共交通利用率は全体で2割弱であり、公共交通が便利な圏域では約4割となっています。今後、空き家・空き地が増加し、都市の魅力や賑わいの低下が懸念されるため、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりの実現に向けた継続的な取組が必要です。

② 都市の再構築による魅力ある都市空間の形成が求められています。

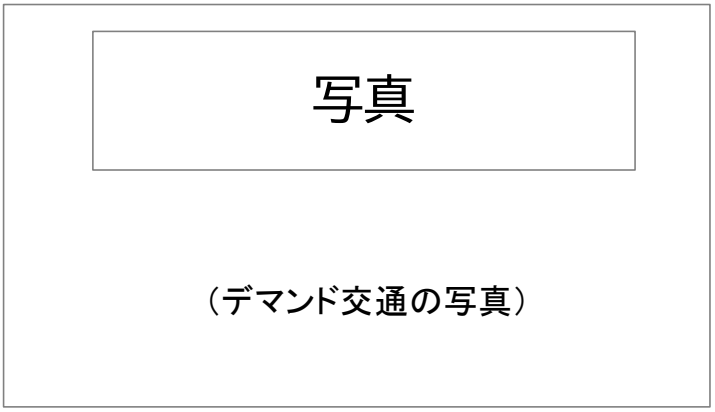
都心地区における平面駐車場の分布の変化



出典:都市計画基礎調査

都市の集約化や富山駅周辺の南北一体のまちづくりが進展する一方で、空き店舗や空きビルの増加による都市の魅力低下などが課題となっています。地域の特色や資源を生かした、持続可能な拠点の形成が求められています。

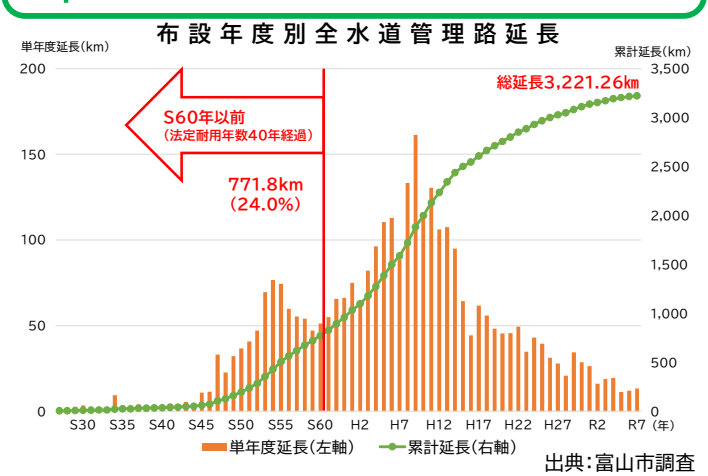
③ 郊外の暮らしを支える持続可能で実効性のある取組が求められています。



郊外部における公共交通の持続可能性の低下が懸念される中、デジタル技術の活用により、市域のどこに住んでいても市民一人ひとりが利便性や生活の質の向上を実感できる環境の整備が求められています。

④ 社会インフラの老朽化対策と計画的な維持管理が急務となっています。

布設年度別全水道管理路延長



出典:富山市調査

道路、橋梁、河川、公園、上下水道の老朽化が進行し、安全性や機能の維持に課題があります。増加するメンテナンス費用や災害リスクに対応するため、社会インフラの効率的な管理と強靭化が求められています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

公共交通が便利な圏域に住む市民の割合
- 現状 40.4%(令和7年度)
- 目標 4割以上(令和13年度)

富山市調査

中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量(日曜日)
- 現状 64,094人(令和7年度)
- 目標 66,360人(令和13年度)

富山市調査

公共交通空白地域に住む市民の割合
- 基準 1.6%(令和7年度)
- 目標 1.6%以下(令和13年度)

富山市調査

水道施設における基幹管路の耐震化率
- 基準 46.0%(令和7年度)
- 目標 56.8%(令和13年度)

富山市調査

政策1 便利で使いやすい公共交通等の充実

市民の快適な移動や暮らしを支える多様な施策を推進します。

施策1 持続可能な交通体系の実現

- 鉄軌道や主要なバス路線等において、活性化事業の継続と担い手確保を推進するとともに、沿線まちづくりや再構築事業等に取組み、誰もが利用しやすく持続可能な公共交通ネットワークの形成を目指します。
  【関連施策】産業・雇用　政策４－施策２
- 持続可能な交通体系を実現するため、市民・交通事業者との協働や県及び沿線自治体と連携を図ります。

施策2 公共交通利用の啓発

- 公共交通に関する情報発信、市民の年代や地域特性に応じた利用啓発、公共交通沿線企業への働きかけなど、モビリティ・マネジメントの推進により、公共交通利用への自発的な転換や公共交通のさらなる利用を促進します。
- 将来を担う子どもたちを対象に、公共交通の役割や必要性を学ぶ教育を実施するとともに、公共交通を利用する体験や機会の継続的な提供により、日常的に公共交通を利用するライフスタイルの創出を目指します。

施策3 歩くライフスタイルの推進

- 四季を通して歩きたくなる環境を形成することで、市民の歩いて暮らすライフスタイルへの転換を促します。
- とほ活アプリを活用した歩くきっかけづくりやスマートウェルネス推進事業などとの連携、官民連携による「とほ活」の普及啓発などを実施し、市民の健康意識の向上を図ります。

施策4 公共交通沿線居住の推進

- 公共交通沿線での中古住宅の取得や、中古住宅の取得に併せてリフォームや建替え等を行う市民を支援し、沿線の居住人口の増加に努めます。
- 旧耐震建築物や空き家等を除却し、良質な住宅の建設や宅地開発等を行う事業者を支援することで、既成市街地の再構築を目指します。

施策5 都市部や地域の骨格を形成する道路網の整備

- 地域間の連携や公共交通へのアクセス向上を図るため、都市計画道路や幹線市道を整備し、道路ネットワークの強化を図ります。
- 道路整備に併せてウォーカブルな空間を形成し、地域内の安全で円滑な移動の確保を目指します。

主な関連計画
- 富山市都市マスタープラン
- 富山市総合交通計画
- 中心市街地活性化基本計画
- 住生活基本計画

政策 2 賑わいと暮らしを支える都市拠点の形成

市民生活や豊かな都市活動を支える都市空間を形成します。

施策 1 都市の再構築による拠点の形成

- 都心地区では、都市機能の更新を図る市街地再開発事業などを促進し、活性化や賑わいの創出、安全な都市空間の形成を目指します。
- 活力と魅力ある各地域の拠点の形成を図るため、市民主体のまちづくりの促進、南富山駅をはじめとする拠点の整備や必要な都市機能の誘導を推進します。

施策 2 富山駅周辺の南北一体的なまちづくりの推進

- 富山駅周辺の施設整備を進め、産学官民が連携したイベントなども実施し、県都の玄関口にふさわしい活力と賑わいのある都市空間の創出を図ります。
- 南北一体的なまちづくりを支える都市計画道路等を整備し、交通結節機能の強化や利便性、アクセス性の向上を図ります。

施策 3 まちの魅力を高める都市景観の形成

- 郷土の景観を守り育み、魅力ある新たな景観を創出するため、市民・事業者との協働による景観まちづくりを推進し、表情豊かで魅力的なまち並みの形成を図ります。
- 屋外広告物の適正化を継続的に推進し、魅力ある都市景観の形成を図ります。

施策 4 中心市街地の賑わい再生

- 中心市街地への来街者増加を図るため、公共交通利用の促進や官民連携による公共空間の活用を進め、継続的な賑わい創出や魅力ある都市空間の形成を図ります。
- 魅力的で利便性の高い中心商業地区を形成するため、空き店舗や空きビルの新たな利用促進を図ります。

施策 5 まちなか居住の推進

- まちなか（都心地区）での中古住宅の取得や、中古住宅の取得に併せてリフォーム・建替え等を行う市民へ重点的に支援し、まちなかの居住人口の増加に努めます。
- 旧耐震建築物や空き家等を除却し、良質な住宅の建設等を行う事業者への支援を実施することで、既成市街地の再構築を目指します。

主な関連計画

- 富山市都市マスタープラン
- 富山市立地適正化計画
- 富山市景観まちづくり計画
- 中心市街地活性化基本計画
- 住生活基本計画

政策3 市域のどこに住んでいても多様な暮らし方ができる都市の実現

郊外や中山間地域でも不便を感じることなく暮らせる、多様なライフスタイルを実現します。

施策1 コンパクトシティ政策を補完するデジタル技術の活用

- 産学官民の共創により、地域の課題や市民の困りごとを解決する新たなスマートシティ関連サービスを創出し、市民一人ひとりが生活の質や利便性の向上を実感できる環境を整備します。
  【関連施策】行政・パートナーシップ　政策２－施策３
- 各種ＩｏＴセンサーからリアルタイムの情報を収集し、防災情報や地域情報の共有により、市民サービスの向上を図ります。
- 高齢者等に対して、スマートフォンの活用支援を実施し、行政手続や買物などの日常生活において、誰一人取り残されない社会の構築を目指します。
  【関連施策】地域コミュニティ　政策２－施策１

施策2 地域のニーズに合った最適な移動手段の確保

- 地域や路線の特性に応じて、路線定期運行や事前予約式の区域運行（デマンド交通）等、運行形態を適切に使い分けるとともに、ＡＩ等の新たな技術を活用し、生活交通の最適化を図ります。
- 地域団体等が主体となる地域自主運行や行政による運行、交通事業者による運行（乗合タクシー）等、地域の実情に応じた多様な事業形態を導入し、市民や交通事業者との協働による移動手段の確保を進めます。

施策3 市民生活を支える道路の整備

- 市民が快適かつ安全に通行できるよう、幅員の狭い生活道路のうち、危険度や緊急性の高い路線を改善し、地域住民が交流しやすい生活環境を確保します。
- 身近な拠点や公共交通等へのアクセス向上を図るため、必要性が特に高い道路を整備します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市スマートシティ推進ビジョン
- 富山市総合交通計画

政策 4

安全・安心を守る社会インフラのマネジメント

人員や予算など限られた資源の中で、選択と集中による戦略的な社会インフラマネジメントを進めます。

施策 1 安全で快適な道路空間の確保

- 緊急輸送道路やバス路線などの重要度の高い道路は計画的な補修を実施し、健全な道路空間を維持します。
- 歩道や側溝のリフレッシュ事業、街路樹の管理などを実施し、市民が安心して通行できる快適な歩行者空間を確保します。

施策 2 橋梁等のメリハリのある老朽化対策

- 橋梁をはじめとする道路施設の持続可能なマネジメントの実現に向けた取組を積極的に推進することで、施設の機能維持や向上を図ります。
- 優先度に応じたメリハリのある効率的な修繕・更新を実施し、強靭で安全・安心な道路環境の確保を目指します。

施策 3 河川水路の長寿命化・老朽化対策の推進

- 老朽化した河川や火防水路等を効率的に修繕・更新し、施設の長寿命化やコスト削減、安全性の確保を図ります。

施策 4 安全・安心な公園施設の保全管理

- 経年劣化の進んだ公園施設の改修・更新を実施し、市民が安心して公園を利用できる環境を維持します。
- 公園施設の適切な維持管理により、施設の長寿命化やコスト削減を図ります。

施策 5 強靭で持続可能な上下水道システムの構築

- 安全・安心でおいしい水の安定的な供給や快適な生活環境を維持するとともに、災害に強く信頼性の高い上下水道システム構築を目指します。

主な関連計画
- 舗装個別施設計画
- 富山市橋梁マネジメント修繕計画
- 富山市公園施設長寿命化計画
- 富山市上下水道事業中長期ビジョン
- 富山市上下水道耐震化計画

分野
09

防災・防犯

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

地域の防災力や災害対応力を高めるとともに、市民の防災意識の向上を推進します。また、ICTを活用した防災体制の強化等、災害に備えた取組を実施し、安全・安心に暮らせる地域づくりを進めます。

- 富山市は、自主防災組織や消防団、地域における防災活動、消防・救急体制、道路・橋梁等の社会インフラ整備を通じて、市民の安全・安心を支える基盤を築いてきました。
- しかし、交通事故の増加や頻発する有害鳥獣被害など、対応が必要な様々な課題も重なり、防災・防犯体制の充実が求められています。
- 今後は、地域の自主防災組織や消防団の強化と人材育成を一層進めるとともに、ICTを活用して、災害情報の伝達をよりスムーズにしていきます。また、防災インフラの長寿命化と機能向上を図り、土砂災害や浸水被害の軽減に努めます。さらに、交通安全指導や除雪体制を強化し、高齢者や子どもにやさしい環境づくりを進め、誰もが安心して暮らせるまちを目指します。

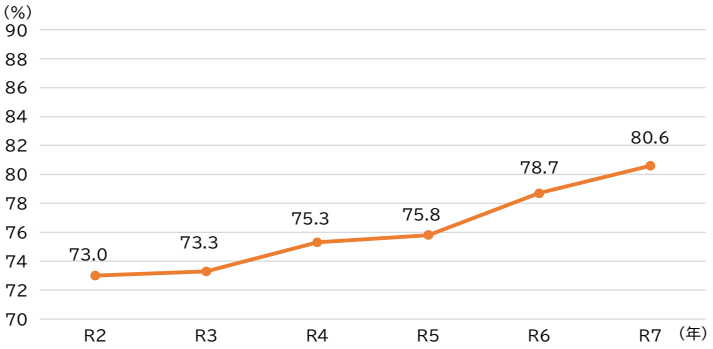
防災・防犯分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 市民の防災意識向上と災害リスクの的確な周知が求められています。

自主防災組織の組織率

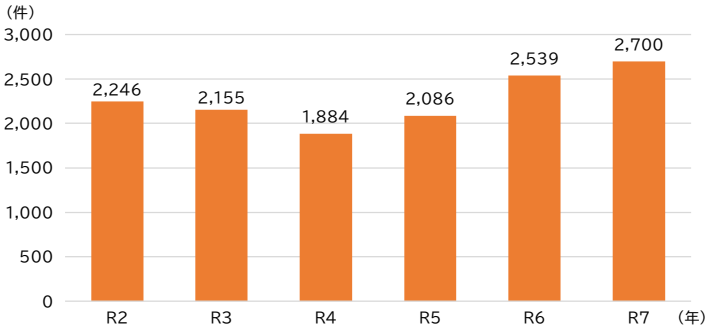


出典:富山市調査

自助・共助の強化とハザードマップによる周知啓発を進めていますが、市民一人ひとりの防災意識の向上に課題があり、継続的な訓練への参加や、過去の災害を教訓とした防災体制の充実が求められています。

② 地域で助け合いながら、安心して暮らせる社会の実現が求められています。

刑法犯認知件数

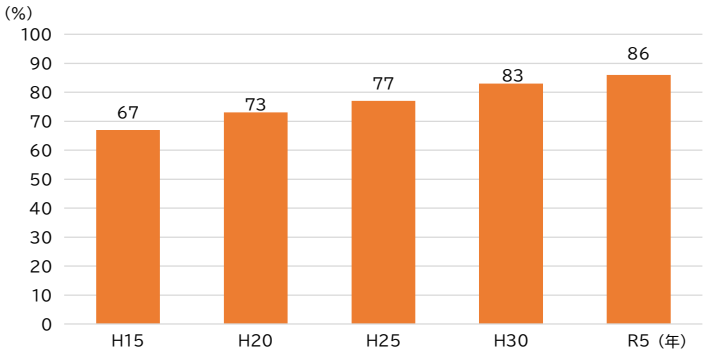


出典:富山県警察本部「富山県内の犯罪情勢」

通学路等における危険箇所への安全対策や、除雪における人手不足等の課題があります。また、刑法犯や有害鳥獣による被害も増加傾向にあり、地域ぐるみの防犯活動が求められています。

③ 防災インフラの整備や建築物の耐震化など、多面的な対策が求められています。

住宅の耐震化率

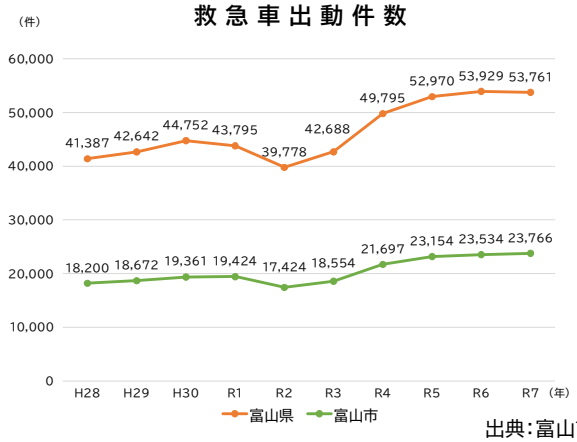


出典:富山市調査

地震や水害等の自然災害リスクが増大しており、被害を軽減する社会インフラの整備や住宅の耐震化等が求められています。また、災害発生時の迅速かつ的確な情報伝達や避難誘導等、災害に備えた体制づくりも必要です。

④ 消防・救急体制の充実強化や応急手当の普及が求められています。

救急車出動件数



出典:富山市調査

老朽化した消防拠点・車両・指令システム等の更新と、火災予防や救急分野で高度な知識を持つ人材の育成が求められています。加えて、市民の防火意識の向上や市民が応急手当の技術を身につけることも必要です。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

備蓄物資の整備率

基準 55.1%（令和7年度）

目標 100%（令和13年度）

富山市調査

防犯カメラ設置数

基準 318箇所（令和7年度）

目標 438箇所（令和13年度）

富山市調査

浸水被害を軽減した区域の面積

現状 21.73ha（令和7年度）

目標 52.78ha（令和13年度）

富山市調査

救急出動時の救急救命士2名以上搭乗率

基準 77%（令和7年度）

目標 87%（令和13年度）

富山市調査

政策 1 地域の防災力向上の促進

市民一人ひとりの防災意識の向上を図り、過去の災害の教訓を踏まえ、災害に強いまちづくりを推進します。

施策 1 自助、共助の強化

- 地域の防災講座の開催や防災士養成研修への支援を実施し、地域防災力の要となる自主防災組織の結成や人材育成を促進するとともに、市民の防災意識の向上を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

【関連施策】地域コミュニティ　政策２－施策２

- 自主防災組織が行う防災資機材の整備や防災訓練への支援を実施し、防災力の向上を図ります。

施策 2 災害対応力の強化と公助の充実

- 頻発化・激甚化する自然災害への対策として、防災資機材の整備や備蓄物資の確保を進め、避難所の生活環境の改善に努めます。
- 避難所として使用する小・中学校の体育館において空調設備の整備を進め、防災機能の強化を図ります。

施策 3 災害リスクの見える化

- ハザードマップの配布や出前講座の開催を通じ、災害リスクの周知啓発や河川水位情報等の防災情報を提供することにより、自助・共助による被害軽減対策の促進を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市地域防災計画
- 富山市浸水対策基本計画

政策 2 犯罪や事故を防ぐ安全・安心な暮らしの確保

市民一人ひとりが自らの安全・安心な暮らしを守るため、地域での取組を進めます。

施策 1 安全で安心して暮らせる地域社会の実現

- 町内会等による防犯カメラ設置への支援や、自転車利用者へのカギかけキャンペーンなど、犯罪の未然防止に向けた環境づくりを推進します。
- 地域の防犯体制の強化に向け、自主防犯組織の活動支援や研修会の実施などにより、地域の実情に応じた担い手の確保と育成を図ります。

【関連施策】地域コミュニティ　政策２－施策２

- 消費者トラブルや特殊詐欺被害の未然防止と迅速かつ的確な対応のため、積極的な情報提供や啓発活動を推進するとともに、相談体制の充実を図ります。

施策 2 人と車が共生できる安全で安心な交通社会の実現

- 市民が快適かつ安全に通行できるよう、歩行者空間が整備されていない道路や円滑な交通に支障がある箇所では、緊急度の高い路線から整備を進めます。
- 危険箇所における防護柵や道路反射鏡等の設置を進め、安全で安心できる快適な道路交通を確保します。
- 市民一人ひとりの交通安全技能の習得と、生涯にわたる交通安全意識の醸成を図るため、年代に適した交通安全指導等を実施します。

施策 3 地域ぐるみの除排雪活動の支援

- 除排雪機械の貸出しや購入補助制度などにより、町内会等が地域ぐるみで行う除排雪活動を支援し、市民と行政が協働して積雪時の生活道路における安全な通行環境を確保します。

施策 4 有害鳥獣による人身被害の防止

- クマなどの有害鳥獣を地域に寄せ付けない活動への支援や、クマ出没時における現地の正確な状況把握、住民への迅速な注意喚起に取り組むことで、人身被害の防止に努めます。

【関連施策】農林水産　政策１－施策４

主な関連計画
- 富山市安全で安心なまちづくりの推進に関する行動計画
- 富山市交通安全推進計画、富山市交通安全実施計画
- 富山市鳥獣被害防止計画

政策 3 災害に強いまちづくりの推進

包括的な施策展開による防災・減災対策、都市全体の強靭化を図ります。

施策 1 防災インフラの整備と長寿命化の推進

- 災害時の交通ネットワークを確保するため、重要な路線である緊急輸送道路の無電柱化を推進します。
- 地域住民の生命、財産を守るため、沿岸部では海岸保全施設の整備及び機能保全を図り、市街地などでは河川や排水路などの整備を推進します。
- 土砂災害の危険性がある区域では、急傾斜地崩壊防止施設等の整備を推進し、被害の軽減を図ります。
- 消雪装置の新設や更新などにより、積雪時の市道における交通渋滞の解消を図ります。

施策 2 ICTを活用した安全・安心なまちづくり

- 各種IoTセンサー等のデジタル技術を活用することで、雨量や河川水位などのリアルタイム情報を市民へ積極的に発信し、安全・安心な社会の実現を目指します。

施策 3 住宅の地震に対する安全性の向上

- 地震時における住宅の安全性を確保するため、一戸建て木造住宅の耐震改修に対する支援を実施します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画

- 海岸保全施設整備事業計画、海岸保全施設長寿命化計画
- 富山市無電柱化推進計画
- 富山市浸水対策基本計画
- 富山市耐震改修促進計画
- 富山市住生活基本計画

政策 4

消防・救急体制の整備

災害や事故から市民の生命と財産を守るため、消防・救急体制を強化します。

施策 1 地域における消防拠点の整備と機能強化

- 旧耐震基準で建設された常備消防拠点の改築、老朽化した施設・設備の更新整備を図り、防災拠点としての機能を強化します。
- 老朽化した消防分団器具置場の計画的な改築により、地域防災拠点機能の充実を図るとともに、地域に密着した持続可能で魅力ある消防団づくりを推進します。

施策 2 様々な災害や事故への対応能力の強化

- 様々な災害に対応するため、消防車両及び資機材の更新整備を行い、消防活動の安全性や効率性を確保します。
- 災害や事故に迅速かつ的確に対応するため、消防総合情報管理システムや消防救急デジタル無線の更新整備を進めます。

施策 3 市民の防火意識の高揚

- 出火原因を踏まえた防火講習会の実施などにより、市民の一人ひとりが防火を意識した行動を日常的に実践できるよう、防火意識の高揚を図ります。

施策 4 救命体制の充実強化

- 市民による応急手当の実施率向上を図るため、救命講習の実施や講習に必要な資器材の計画的な更新整備を進め、応急手当の普及啓発に取り組みます。
- 救急救命士の計画的な養成を進め、高度な救急活動を安定的に実施できる体制を構築します。

取組の写真、イラストなど

分野
10

産業・雇用

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

企業誘致や創業支援、人材確保の取組を強化し、産業の成長と多様な人材が活躍できる雇用環境の実現を目指します。

- 富山市は、製造業をはじめとする産業集積、交通・物流の利便性、大学等との連携、創業・共創を支える環境などを背景に、地域産業の成長を支える基盤を形成してきました。
- 一方、近年は物価高騰や世界情勢の影響などにより、先行きが不透明な状況であり、企業の将来の景況判断には慎重な姿勢が見受けられます。また、若年層の転出や就業ニーズとのミスマッチなどにより人材確保が難しくなっていることや、新規創業の伸び悩みが課題となっています。
- 今後は、成長分野を意識した企業誘致や産業基盤の高度化を進めるとともに、創業支援や共創の取組を強化し、新たな産業の創出を目指します。また、若者とのマッチング機会の拡充や多様な人材が活躍できる環境の整備を進め、人材の定着と地域経済の活性化につなげます。

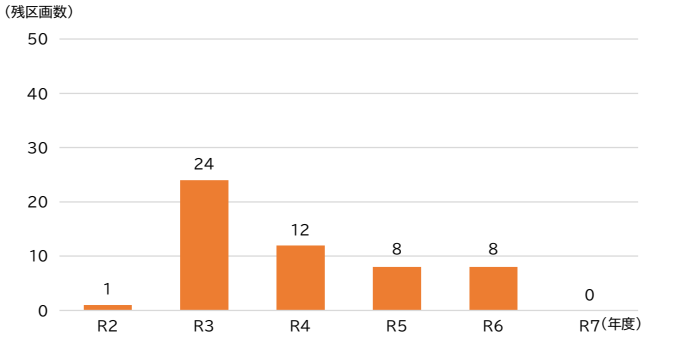
産業・雇用分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 企業誘致と産業基盤の強化が求められています。

企業団地の残区画数の推移

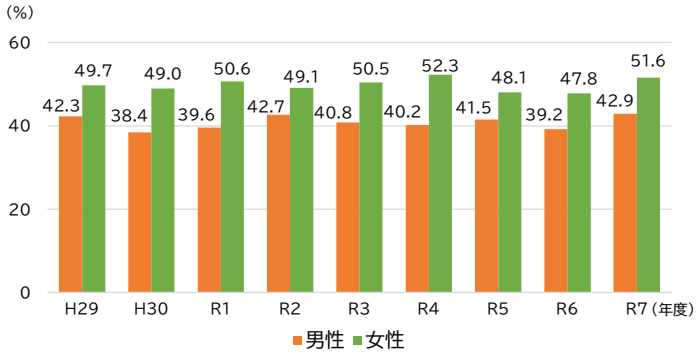


出典:富山市調査

若者に選ばれる情報通信業や製造業の誘致が求められています。また、企業団地の完売により立地の受け皿不足が課題となっています。

② 若者の地元就業促進と人材確保が求められています。

県内大学卒業生の県内就職率

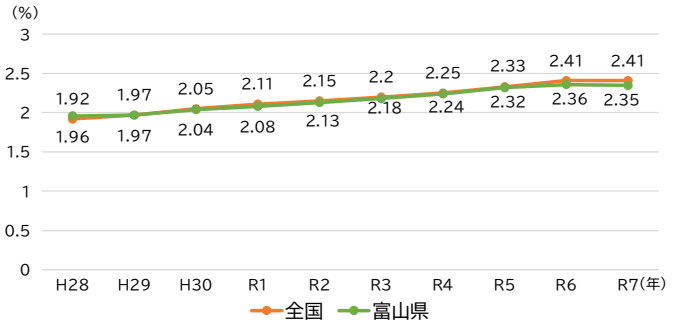


出典:富山県提供資料

求職者優位な売り手市場の状況が続き、中小企業等が学生と出会う機会が減少しています。卒業後に県外へ就職する学生も多く、人材流出が課題となっています。若者の地元就業と、企業とのマッチング強化が求められています。

③ 多様な人材が、安心して働ける環境整備が求められています。

障害者雇用率

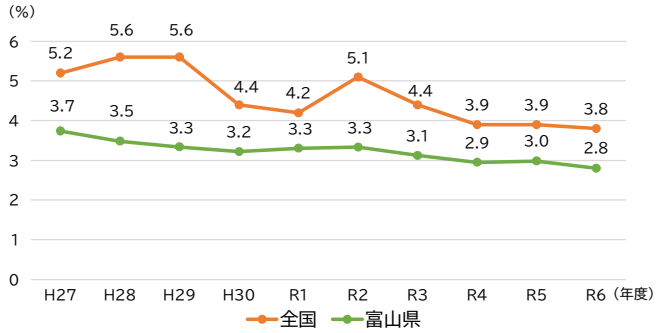


出典:厚生労働省「障害者雇用状況報告」

有効求人倍率が高水準で推移する一方で、障害者雇用率の伸び悩みや、ひとり親の正規雇用率の低さ、女性が働きやすい環境整備の遅れ、若者の奨学金返済の負担など、多様な人材の就業や定着には多くの課題があります。誰もが安心して働き続けられる安定した雇用環境の整備が求められています。

④ 起業創業や新たな産業創出に向けた支援が求められています。

富山県内の開業率の推移



出典:厚生労働省「雇用保険事業年報」

本県の企業等のうち、新規開業した企業等の割合を示す開業率は、全国平均を下回っており低下傾向にあります。新規創業や新事業展開に取り組む事業者の挑戦を後押しする支援の充実が求められています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

富山市の製造業の全事業所における粗付加価値額

基準 6,275億円（令和7年度）

目標 6,400億円（令和13年度）

経済構造実態調査

県内大学卒業生の県内就職率

基準 47.3%（令和7年度卒業者）

目標 50.0%（令和12年度卒業者）

富山県調査

市の支援事業により雇用につながった人数

基準 342人（令和3～7年度平均）

目標 355人（令和13年度）

富山市調査

富山県内の開業率

基準 2.8%（令和6年）

目標 3.0%（令和12年）

厚生労働省「雇用保険事業年報」

政策 1 地域産業の成長と産業基盤の強化

企業誘致や成長支援、ＤＸ・ＧＸの推進などを通じて、地域産業の競争力と産業基盤の強化を図ります。

施策 1 戦略的な企業誘致と産業基盤の強化

- 将来の成長が期待され、若者にとって魅力的な情報通信業や製造業の企業誘致を推進し、地域産業の成長を促します。
- 企業立地助成制度や設備投資支援の活用により、市外からの企業進出を後押しします。
- マッチングサイトの充実により、空き工場・用地の紹介を強化しつつ、新たな企業団地の造成について検討を進めます。

施策 2 企業の成長支援と販路開拓の促進

- 企業立地助成制度や設備投資支援の活用により、市内企業の事業拡大を支援し、競争力強化と付加価値の向上を後押しします。
- ベンチャー企業等の見本市への出展支援やＰＲ支援により、新商品や新技術の販路開拓を促進し、企業の成長と新分野進出につなげます。
- 関係機関との連携により、事業の承継を促進し、地域産業や技術の継承と持続的な発展につなげます。

施策 3 ＤＸ・ＧＸによる地域産業の持続可能性の向上

- 中小企業のＤＸ推進に向けて、商工業団体等との連携により、デジタル人材の育成やデジタル技術の導入に向けた取組を推進することで、生産性の向上や人手不足の解消を後押しし、企業の競争力強化につなげます。
- 中小企業のＧＸの推進に向け、脱炭素や省エネルギーに資する技術導入を支援し、持続可能な産業構造への転換を促進します。

【関連施策】環境　政策４－施策２

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市工業振興ビジョン
- 富山市創業支援等事業計画

政策 2

未来を支える人材の育成と地域定着

若者や働く世代の学びと就業を支援し、地域産業を支える人材の育成と定着を目指します。

施策 1 若者の就業促進と地域人材の確保

- 求職者優位な売り手市場の状況に対し、関係機関との連携により、企業情報の発信やイベント周知を強化することで、企業認知度を向上させるとともに、高校生や大学生等との接点を確保し市内企業への就職選択につなげます。
- 富山広域連携中枢都市圏の市町村と連携し、合同企業説明会を開催して学生と市内企業のマッチング機会を創出します。
- 教育機関との連携により、県内外の大学と共同でＵＩＪターン就職意識醸成イベント等を実施し、富山で働く魅力や市内企業の認知度向上を図ります。

施策 2 産業人材の育成とキャリア形成支援

- 職業能力の向上に向けた実務講座や研修機会の充実により、地域産業を支える人材の育成と企業の人材教育を支援します。
- デジタル分野を含む社会のニーズに対応した講座の充実を図り、働く人や求職者のスキルアップとキャリア形成を促進します。
- 社会人へ学びの機会を提供することで、多様な世代の職業能力向上を後押しします。

【関連施策】教育　政策４－施策１

取組の写真、イラストなど

政策 3

多様な人材が活躍できる環境づくり

誰もが希望に応じて安心して働き続けられる、多様な就業環境づくりを促進します。

施策 1 多様な人材の活躍促進と就業環境の整備

- 多様な人材の受入れに向けた企業の意識醸成と環境整備を進め、求職者と企業のミスマッチ解消と、安定した雇用環境の形成につなげます。
- 奨学金の返還における負担軽減に向けた取組を進め、若年層の経済的不安の軽減と職場定着の促進を図ります。
- 障害のある人やひとり親など多様な人材の就業機会の拡大に向け、企業への働きかけや支援制度の活用を促進し、安定した雇用の確保を図ります。
- 女性が働きやすい職場環境の整備を促進し、就業継続と就業意欲の向上につなげます。
- シルバー人材センターと連携し、高齢者の就労機会を拡大します。
- テレワークやフレックスタイム等の柔軟な働き方の普及を促進し、多様なライフスタイルに応じた就業環境づくりを進めます。

施策 2 外国人材の受入環境づくりと職場定着の支援

- 育成就労制度など外国人材の受入れに関する制度や支援策について、企業への情報提供や周知啓発を行い、適正な雇用管理と受入環境の整備を促進します。
- 外国人材が安心して働き暮らせるよう、関係機関と連携し、生活情報や就労に関する相談・情報提供体制の充実を図ります。
- 企業や地域における多文化への理解を促進し、外国人材の職場定着と地域での活躍につなげます。

取組の写真、イラストなど

政策 4

富山で働き挑戦できる環境づくり

創業や地元就職、UIJターン、移住・定住を後押しし、富山で働き、挑戦し、活躍できる環境づくりを進めます。

施策 1 創業と共創による新たなビジネスの創出

- 創業支援施設の運営や経営・技術相談により、創業者や中小企業の新たな取組を後押しし、事業化の実現を支援します。
- 創業初期における費用の一部助成により、創業のハードルを下げ、多様な主体による新規創業を促進します。
- Sketch Labにおける共創プログラムの展開とコミュニティの形成により、多様な主体の連携を促し、新たなビジネスの創出につなげます。

施策 2 移住・定住による地域人材の確保

- 富山で働く魅力を移住検討者や若い世代に発信し、地域産業を支える人材の確保につなげます。
- 移住相談や情報発信、移住後の伴走支援により、富山市への移住と地域での就業を促進します。
- 介護、保育、交通、農業など、人材不足が課題の分野に対して移住促進の取組を展開し、地域を支える担い手の確保を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市工業振興ビジョン
- 富山市創業支援等事業計画

分野
11

観光・交流

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

観光資源の魅力を体験と消費につなげ、広域周遊と交流機会の創出を推進します。

- ニューヨーク・タイムズ紙の「２０２５年に行くべき５２か所」に選定された効果もあり、富山市は旅行先の一つとして国内外から注目を集め、観光客数はコロナ禍から回復傾向にあります。
- 一方、滞在日数の延伸や観光消費の拡大には十分につながっておらず、広域周遊の動線や情報発信、受入体制の面でも課題があります。また、来訪者の増加を、継続的な再訪や地域との関係づくりにつなげる取組が求められています。
- 今後、観光資源の認知にとどまらず、体験、滞在、消費につなげる取組を進めるとともに、まちなかを拠点とした山間部や海沿いエリアを含む広域的な観光動線の形成や、公共交通を活用した周遊環境の充実を図ります。また、ガラスやくすり、食など富山市独自の魅力発信を強化するとともに、多様な交流機会の創出により、交流人口や関係人口の拡大につなげます。

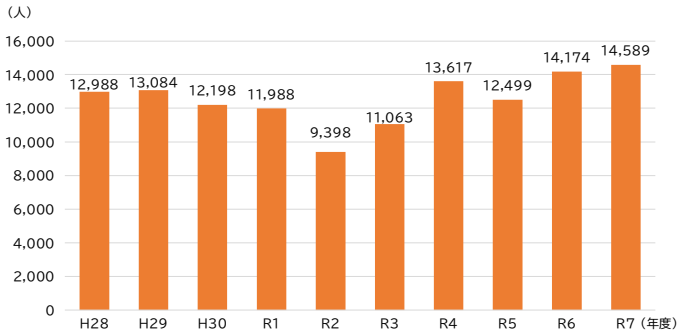
観光・交流分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 地域資源を生かした体験型観光の充実が求められています。

富山ガラス工房体験プログラム参加者数の推移



出典：富山市調査

ガラスやくすりなど富山市独自の資源は一定の認知はされているものの、観光消費や体験機会の広がり、市民への浸透にはなお課題があります。資源の磨き上げと発信の強化が求められています。

② 広域連携による滞在型観光の拡大が求められています。

市内宿泊施設における延べ宿泊者数

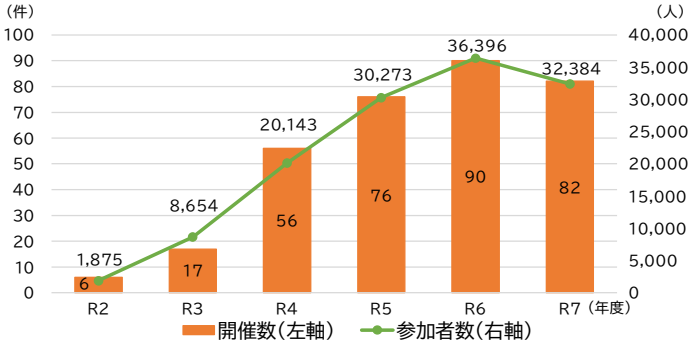


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

公共交通を活用した市内周遊は一定程度定着しているものの、日帰り観光の割合が高く、滞在日数の伸びにつながっていません。まちなかと山・海、さらには周辺地域を組み合わせた広域的な観光動線の形成が求められています。

③ 交流人口の拡大に向けたコンベンション等の誘致強化が求められています。

富山市補助金を活用した
コンベンション等開催数及び参加者数



出典：富山市調査

コンベンションの開催件数や参加者数は回復傾向にあるものの、コロナ禍前の水準には至っていません。大規模会議に対応できる施設や宿泊受入先、観光コンテンツのほか、開催に対する支援制度等の情報を広く発信していくことが求められています。

④ 継続的な来訪につながる交流機会の充実が求められています。



人口減少が進む中、来訪者の拡大に加え、地域と継続的に関わる関係人口の創出が重要となっています。多様な交流機会の創出により、再訪の促進や地域とのつながりの拡大を図る必要があります。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

(仮称)とやまくすりミュージアム来訪者による経済効果

基準 新規

目標 10億500万円（令和13年度）

富山市調査

本市を拠点とした市外・県外への広域観光客数

基準 995,162人（令和7年度）

目標 1,100,000人（令和13年度）

おでかけウォッチャー宿泊地別来訪先データ

富山市補助金を活用したコンベンション等開催数及び参加者数

基準 82件／32,384人（令和7年度）

目標 88件／32,700人（令和13年度）

富山市調査

観光客の再訪意向

基準 47.2%（令和7年度末時点）

目標 53.0%（令和13年度末時点）

富山県観光ウェブアンケートデータ

政策 1

魅力ある観光資源の創出と発信

富山独自の資源を生かし、多彩な魅力を創出・発信します。

施策 1 「薬都とやま」ブランドの確立

- （仮称）とやまくすりミュージアムを整備し、デジタル技術を活用した体験型施設として、「富山のくすり」の歴史・文化を魅力的に発信します。
  【関連施策】郷土愛　政策２－施策１
- 「富山やくぜん」認定店舗数及び認定品目数の増加と市民への認知度向上を図り、ＳＮＳ等を活用した情報発信とイベント開催により、「薬都とやま」ブランドの浸透を図ります。

施策 2 「富山の食」の魅力発信

- すしをはじめとする富山の食の魅力を発信し、富山の豊かな食文化の認知度向上を図ります。
- 富山が有する豊かな食や物産について、首都圏などで開催される物産展・展示会への出展などによりＰＲを行い、販路拡大に貢献します。

施策 3 伝統文化・行事の新たな魅力の創出と継承支援

- 富山市を代表する伝統文化である「おわら風の盆」や「曳山祭り」などについて、担い手の育成や新たな魅力の創出・発信を図り、持続可能な伝統行事として継承していきます。
  【関連施策】文化・芸術　政策３－施策２

施策 4 「ガラスの街とやま」観光体験の充実

- 富山ガラス工房でのガラス制作体験や富山市ガラス美術館での展覧会鑑賞など、多彩な観光プログラムを展開し、来訪者に「ガラスの街とやま」ならではのコンテンツを提供します。
- 富山ガラス造形研究所での国内外の作家による公開講座や制作実演などの機会を生かし、学生や市民との交流を促進します。
- ガラス文化の発信や関連事業を通じて国内外からの来訪を促進し、「ガラスの街とやま」のブランド力向上を図ります。
  【関連施策】文化・芸術　政策１－施策２

主な関連計画
- くすり関連施設基本構想・基本計画
- ガラスの街づくりビジョン

政策 2

滞在型観光と広域周遊の推進

外国人観光客をはじめとする多様な来訪者の誘致と受入環境づくりを進め、広域周遊と市内の滞在を促進します。

施策 1 富山の魅力を生かした広域・滞在型観光の推進

- 複数日にわたり市内各地や県内広域を巡る滞在型観光を促進するため、市内電車の割引・無料利用券を配布し、公共交通による周遊環境を整備します。
- まちなかを起点に、山間部や海沿いエリアを含むモデルコースを形成し、観光客に分かりやすく発信して滞在日数の延長を後押しします。
- 富山広域連携中枢都市圏の市町村と合同で観光物産プロモーションを展開し、圏域全体の滞在型観光連携を強化します。

施策 2 観光客の誘致と受入環境の充実

- 国外からの高付加価値旅行者をターゲットに、近隣自治体と連携して富山市の観光コンテンツや滞在モデルプランをＰＲするなど、積極的な誘客を図ります。
- 城址公園内での甲冑体験・乗馬体験など、外国人観光客に人気のある体験型コンテンツの充実を図ります。
- 観光案内所等での多言語による観光案内や相談対応、ガイドマップの充実により、来訪者が安心して市内を周遊できる受入環境の整備を進めます。

取組の写真、イラストなど

政策 3 多様な交流の場の創出

多様な交流機会を創出し、人と地域のつながりを深めます。

施策 1 コンベンション等の誘致の促進

- 国内外のコンベンションや合宿等の誘致に向け、県やコンベンションビューロー、宿泊・観光業者等と連携し、支援制度の周知や誘致活動を積極的に展開します。

施策 2 スポーツを通じた交流の推進

- まちなかのアリーナを核としたイベント開催などを通じて、地域の活性化・賑わい創出を図ります。
  【関連施策】スポーツ　政策４－施策２
- プロスポーツチームやアリーナ運営事業者と連携し、ファンの掘り起こしや、来場者が市内で食事や買物を楽しむための取組を推進します。
  【関連施策】スポーツ　政策２－施策１　政策４－施策２

施策 3 国際交流の推進

- 相互の訪問団派遣・受入れなどにより長く交流を深めてきた４つの「姉妹友好都市」（※１）と、観光や文化など新たな交流を視野に入れ、今後も友好な関係の構築に努めます。
- まちづくり・環境・文化など、特定の分野における国際交流協定による都市との交流を幅広く展開し、国際交流の推進につなげます。

主な関連計画
- 富山市スポーツプラン
- 富山市文化創造都市ビジョン

（※１）ブラジルのモジ・ダス・クルーゼス市、中国の秦皇島市、アメリカのダーラム市、オーストラリアのダボ・リージョナル・カウンシル

政策 4 再来訪の促進と関係人口の拡大

富山ならではの魅力と交流機会を生かし、再来訪や継続的な関わりを促進し、関係人口の拡大を図ります。

施策 1 再来訪につながる観光コンテンツの充実

- コンベンションの参加者を対象として会議の前後に行われるエクスカーションなどで、富山の歴史や文化に触れながら富山の魅力を感じる機会を創出し、再来訪を促します。
- 「薬都とやま」、「ガラスの街とやま」、「富山の食」、「おわら風の盆」などの地域資源を生かした観光コンテンツを充実させ、来訪者がまた来たいと感じる機会を広げます。

施策 2 継続的な来訪と二地域居住の促進

- 富山の自然・食・文化・スポーツなどの魅力を発信し、来訪者が継続的に富山と関わるきっかけづくりを進めます。
- 二地域居住や季節ごとの滞在など多様な関わり方を促進し、関係人口の拡大を図ります。
- 地域や事業者と連携し、来訪者が地域の活動や交流の場に参加しやすい環境づくりを進め、継続的な来訪や将来的な移住・定住につなげます。

施策 3 自然資源を生かした再来訪と交流の促進

- 富山湾、神通川、牛岳、立山山麓、呉羽丘陵など、富山の多様な自然資源を生かし、季節や目的に応じて繰り返し訪れたくなる自然体験や交流機会の創出を図り、関係人口や交流人口の拡大につなげます。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市シティプロモーション推進指針

分野
12

農林水産

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

生産性の向上と担い手の育成・確保、富山の豊かな自然が育む農林水産物の高付加価値化に取り組み、稼げる農林水産業の実現を目指します。

- 農林水産業は、地域経済を支える重要な産業であるとともに、田園地帯や中山間地域における自然環境の保全、良好な景観の形成など、多様な役割を担っています。
- 富山市は、気候風土と豊富な水資源に恵まれ、９３％を超える水田率を誇る米を中心に、野菜、果樹、花き、畜産といった地域の特性を生かした多様な農業が展開されています。また、「天然のいけす」と称される富山湾では、四季を通じて豊富な種類の魚介類が水揚げされ、富山の食文化を彩っています。
- しかし、人口減少や高齢化により、生産者や集落の担い手不足に直面しており、農山漁村の集落機能の低下などの厳しい課題があります。
- 今後は、地域ぐるみによる担い手の育成・確保、経営基盤の強化、先端テクノロジーを活用した省力化・効率化、プロモーション活動による販路拡大を図り、収益性の高い農林水産業を実現するとともに、産業としての魅力を向上させる取組を推進します。

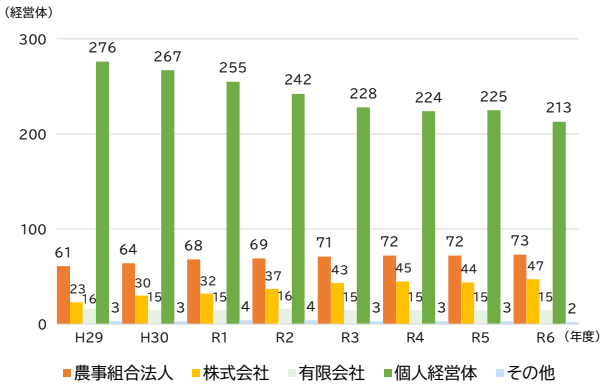
農林水産分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 農業の担い手の育成・確保や農地の集約・集積化の促進が求められています。

組織形態別認定農業者数

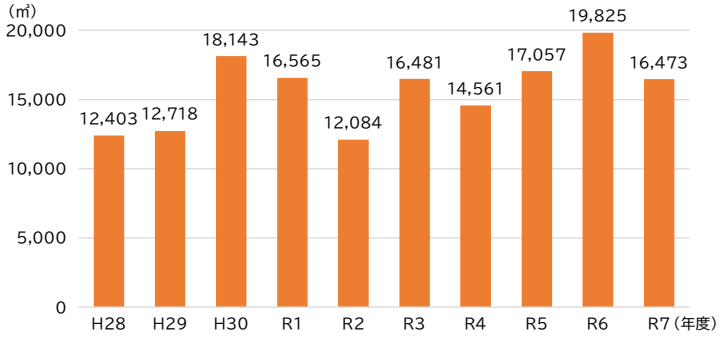


出典：富山市調査

農業者の高齢化や主食用米の需要減少などにより、担い手が減少しています。新規就農者の確保やスマート農業の推進により、担い手の経営基盤を強化し収益力を高める必要があります。

② 豊かな森林資源の循環利用や計画的な森林整備が求められています。

地域材生産量

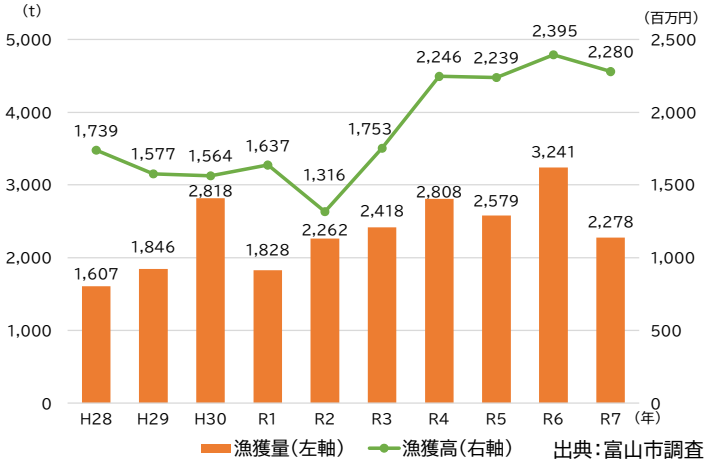


出典：富山市調査

市域の約７割を占める森林は、土砂流出防止や水源涵養、生態系保全などの重要な公益的機能を有しています。この資源を守るため、林業の生産・経営基盤を強化し、多様な主体による森づくりを進める必要があります。

③ 持続性のある漁業の振興が求められています。

漁獲量及び漁獲高（水橋、岩瀬、四方漁港の合計）

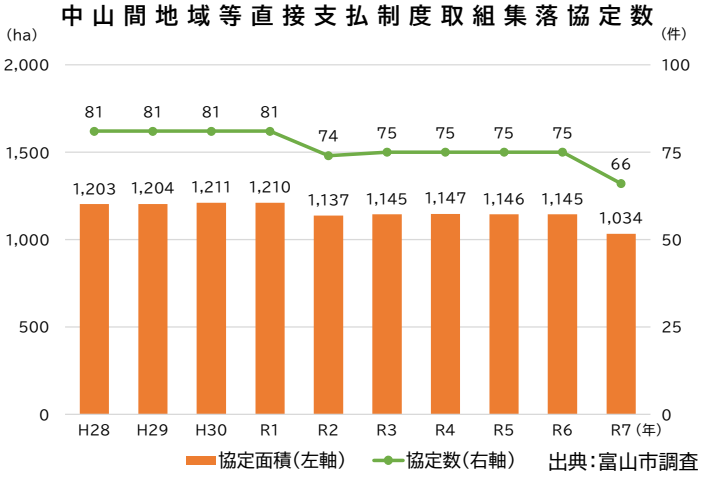


出典：富山市調査

主要魚種のホタルイカやシロエビなどのブランド力をさらに高めるため、県内外での競争力強化と資源保全に努め、持続可能な漁業の発展を図る必要があります。

④ 都市住民との交流を通じた中山間地域の活性化が求められています。

中山間地域等直接支払制度取組集落協定数



出典：富山市調査

中山間地域では、担い手不足や耕作放棄地の増加が深刻化し、地域活力の低下が懸念されています。そのため、都市住民との連携・交流を促進し、地域の活性化を図る必要があります。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

認定農業者・認定新規就農者数及び法人数

基準 認定農業者・認定新規就農者数 399経営体 / 法人数 144法人（令和7年度）

目標 認定農業者・認定新規就農者数 概ね現状維持 / 法人数 156法人（令和13年度）

富山市調査

市の事業を活用して実施した間伐等の森林整備面積

基準 110.0ha（令和2年度から令和6年度までの平均）

目標 130.0ha（令和13年度）

富山市調査

漁業者数（とやま市漁協の正・准組合員数）

基準 160人（令和7年度）

目標 概ね現状維持（令和13年度）

富山市調査

棚田保全活動集落数

基準 83集落（令和7年度）

目標 概ね現状維持（令和13年度）

富山市調査

政策1 持続可能な農業の推進

稼げる農業を推進し、地域農業の発展と食の安定供給を図ります。

施策1 農業の担い手の育成・確保

- 担い手の法人化及び企業参入を促進し、経営基盤が安定した大規模な農業経営体の育成・確保を図ります。
- 地域農業の担い手を確保するため、若い農業者などの就農支援・育成や県外からの就農者の移住促進など、積極的な担い手の育成・確保施策を展開します。
  【関連施策】産業・雇用　政策４－施策２
- 地域の移住者・就農者の受入体制の整備を伴走支援し、地域主体の新規就農希望者の農業体験活動を支援します。

施策2 スマート農業の推進と生産基盤の整備

- ＩＣＴやロボット技術等先端テクノロジーを活用するスマート農業に対応した基盤整備などを推進し、生産性向上を図ります。
- 大区画のほ場整備を促進するとともに、農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約化を進め、農業の効率化を図ります。

施策3 農林水産物の高付加価値化

- ６次産業化、Ｗｅｂ販売による販路拡大、県や他市町村との連携による海外輸出、地産地消の促進を支援し、富山の豊かな自然の中で育つ農林水産物の情報発信の強化によるブランド力の推進と高付加価値化を図ります。

施策4 安全・安心な農林水産物の供給

- 人と自然にやさしい有機農業を推進し、生産性と持続性が両立した自然と調和する農業の実現を目指します。
  【関連施策】環境　政策１－施策１
- 食の流通を支える卸売市場を適正に運営し、市民生活の安定と向上を図るとともに、生産者の継続的で安定的な販売ルートを確保します。
- イノシシやカラス等の有害鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、侵入防止対策や捕獲対策のほか、放任果樹の除去等の環境管理を継続的に行います。
  【関連施策】防災・防犯　政策２－施策４

主な関連計画
- 富山市農業・農村振興計画
- 富山市鳥獣被害防止計画

政策 2 森づくりと林業振興の推進

林業生産の強化や多様な主体による森づくりを推進します。

施策 1 豊かな森林整備の推進

- 森林資源の循環利用を図るため、間伐や主伐後の再造林など健全な森林整備を推進し、森林の多面的機能の維持を図ります。
- 地元住民との協働により、里山林や竹林の整備に取り組みます。

施策 2 地域資源である市内産材の利用拡大

- 市内産材の住宅利用を活性化し、とやまの木の温もりある優良な家づくりを促進します。
- 未利用材について木質ペレットなど新たな資源利用を促進し、市内産材の消費拡大を目指します。

施策 3 林業の担い手の育成・確保と市民参加の森づくりの推進

- 林業従事者の雇用環境の改善を図り、林業の担い手の育成・確保につなげます。
- 森林ボランティアと連携し、市民参加による森づくりを推進します。

【関連施策】環境　政策１－施策１

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市森づくりプラン

政策 3 水産業の振興

富山の魚介類のブランド力を高め、持続性のある水産業の振興を図ります。

施策 1 ブランド力の向上と情報発信強化

- 富山の魚介類を県内外にＰＲすることで、ブランド力を高め、漁業関係者の安定した経営を支援します。
- 漁業関係者や消費者との交流イベントを開催し、水産物の魅力発信と消費促進を図ります。

施策 2 持続可能な漁業の振興

- 漁港施設の機能を保全し、安全な漁業環境を維持します。
- 漁業の効率化のほか、ヒラメやクロダイ等の栽培漁業を支援し、持続性のある漁業の振興を目指します。

取組の写真、イラストなど

政策 4 中山間地域農業の活性化

豊かな自然を強みとした、中山間地域の活性化を図ります。

施策 1 中山間地域における資源の保全・整備と魅力ある空間づくり

- 地域が主体で行う棚田や農地、周辺環境の保全活動を支援し、水源涵養、洪水防止など多面的機能の維持と美しい景観の保全を図ります。
- 富山の豊かな自然を楽しむことができる森林公園や登山道などの自然体験空間の保全を図ります。

施策 2 地域資源を生かした農業・産業の育成

- スマート農業の活用や、集落営農の法人化・組織化、農村ＲＭＯ・地域運営組織の形成・活動を促進し、中山間地域における農業の担い手不足への対応を図ります。
- 棚田米、地場野菜、農産加工品など地域固有の産品の６次産業化・高付加価値化や、農業体験、農家レストランなど農山村の魅力を生かした地場産業の活性化を支援します。

施策 3 都市との交流による新たな価値の創出

- 地域おこし協力隊やテレワーカーなどの都市人材の受入環境を整備し、中山間地域に新たな活力をもたらします。
- Ｗｅｂ販売やふるさと納税の活用などにより中山間地域への理解と愛着を深めることで、新たな担い手の確保につなげます。

取組の写真、イラストなど

分野
13

環境

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

豊かな自然環境の保全と持続可能な地域づくりを目指し、市民や事業者と連携して環境負荷の低減と資源循環を推進します。

- 富山市は、森林、里山、水辺、海辺など、豊かな自然環境を有するとともに、環境モデル都市、環境未来都市、ＳＤＧｓ未来都市として、環境と都市づくりを一体的に進める基盤を築いてきました。
- しかし、気候変動による環境への影響の深刻化が課題となっています。そのため、市民一人ひとりの環境意識の向上や環境に配慮した行動の促進が一層求められています。
- 今後も、脱炭素社会の実現に向けた温室効果ガスの排出削減や再生可能エネルギーの普及拡大を進めます。自然環境や生活環境の保全、循環型社会の構築に注力するとともに、市民や事業者と連携し、環境活動や環境教育の充実を図り、誰もが安心して暮らせる自然環境を次世代に継承します。

環境分野に関連するSDGsゴール



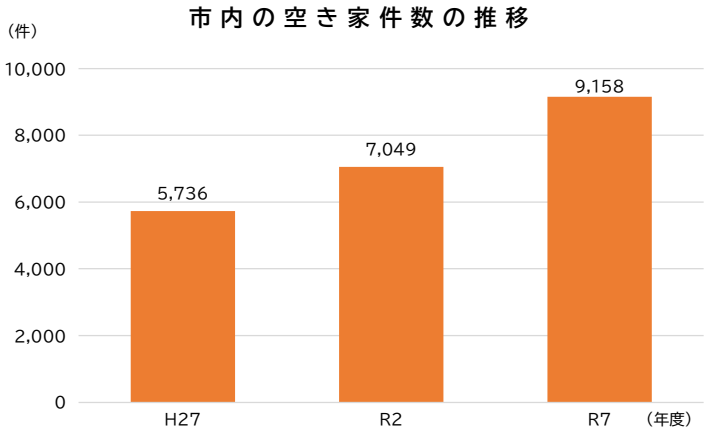
〔現状と課題〕

① 豊かな自然の保全が求められています。

環境保全活動の写真

富山市は、海岸から山間部までの広大で起伏に富んだ地形と豊かな自然環境を有しています。この財産を次世代に継承するため、自然の保全活動や自然を身近に感じられるまちづくりの推進が求められています。

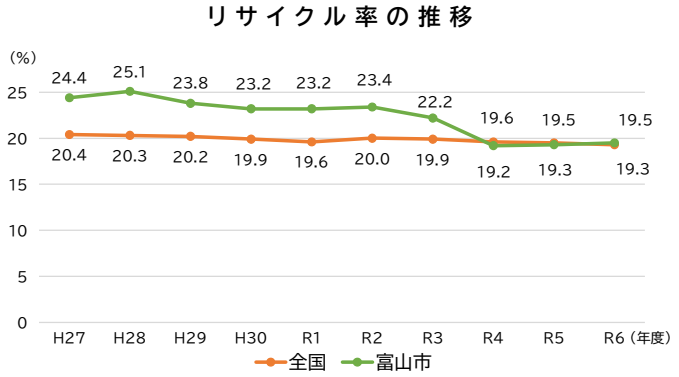
② 健康で快適な生活環境の保全が求められています。



出典:富山市調査

美しいまちを守り、良好な生活環境を将来に引き継ぐため、環境汚染の防止対策や人口減少などに伴う空き家・空き地の増加への対策が求められています。

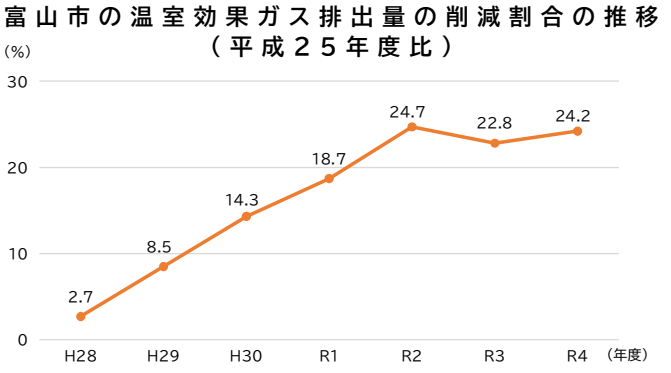
③ 資源循環を基調とした生活の豊かさと環境の保全の両立が求められています。



出典:富山市調査

大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会活動は、資源の枯渇と廃棄物の最終処分場の逼迫につながります。自然と共生し、持続可能な社会を目指すため、資源の効率的な利用や廃棄物の発生抑制、循環型のライフスタイルへの転換が求められています。

④ ゼロカーボンシティの実現に向けた取組の推進が求められています。



出典:富山市調査

近年、自然災害の激甚化・頻発化など、地球温暖化による影響が深刻化しています。富山市は、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しており、再生可能エネルギーの導入促進をはじめとした、地球温暖化対策の推進が求められています。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

市民1人あたりの身近な緑のオープンスペースの面積

基準 10.4m²/人 (令和7年度)

目標 10.9m²/人 (令和13年度)

富山市調査

市が関与・支援した空き家の解消件数

基準 77件 (令和7年度)

目標 105件 (令和13年度)

富山市調査

市民1人1日あたりの燃やすしかないごみ及び燃やせないごみの排出量

基準 511g/人日 (令和7年度)

目標 432g/人日 (令和13年度)

富山市調査

温室効果ガス排出量の削減割合(平成25年度比)

基準 24.2% (令和4年度)

目標 40.6% (令和10年度)

富山市調査

政策 1 豊かな自然と美しいまちの調和の推進

豊かな自然を次世代に継承するための取組を進めます。

施策 1 水と緑の保全・活用の推進

- 四季折々の美しい景観を形成する水源地域を含む水辺環境の保全・整備を推進します。
- 林業生産・経営基盤の強化を通じ、計画的な森林整備や市民参加による里山の整備・保全を推進します。
  【関連施策】農林水産　政策２－施策３
- 生物多様性を重視し、地域資源の循環を図る有機農業など環境にやさしい農業を推進します。
  【関連施策】農林水産　政策１－施策４

施策 2 豊かな自然空間の整備

- 自然と都市が調和した景観資源である松川公園の桜並木や河川・用水沿いの街路樹・遊歩道など、まちなかの貴重な四季の彩りを保全・活用し、自然と都市が調和した景観形成を進めます。
- まちなかに四季折々のフラワーハンギングバスケット（花かご）を設置するなど、花と緑の潤いを感じることができる歩行空間づくりを推進します。
- 地区公園・近隣公園など身近な公園の整備・維持管理を進め、市民が生活の中で自然に親しめる環境を確保します。
- 自然が豊かで優れた景観を楽しむことができる、森林公園等の適切な維持管理を行います。
- 水橋フィッシャリーナの利用促進をはじめ、釣りや散策など海辺の自然環境を生かした沿岸地域の活性化を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市環境基本計画
- 富山市農業・農村振興計画

政策 2 快適な生活環境づくり

身近な地域で生じる生活環境の問題に対応します。

施策 1 良好な生活環境の確保

- 工場・事業所等における排ガスや排水などの規制基準の達成状況を監視・指導し、公害の防止対策を図ります。
- カラスのふん害や鳴き声による騒音被害など、身近な生活環境の問題に対応し、市民が快適に暮らせる地域環境づくりを進めます。

施策 2 空き家・空き地対策の推進

- 民間事業者との連携による空き家情報バンクの運営や、若年新婚世帯を対象とした中古住宅取得への支援などにより、空き家の流通促進を図ります。
- 空き家の除却や有効活用への助成、相談体制の充実など、空き家所有者自らによる対応への支援を行うとともに、空き家のリノベーションによる利活用を推進します。
- 放置された空き家は、倒壊の危険や治安の悪化など、住環境に悪影響を与え、重大な問題を発生させる恐れがあることから、空き家所有者や市民に対する情報発信を図り、空き家対策への意識の向上を図ります。
- 空き地の適正な管理に向けた啓発を行うとともに、管理が不十分な空き地の所有者等への指導に努めます。

施策 3 将来の需要を見据えた斎場機能の充実

- 将来の火葬需要への対応に向け、老朽化した斎場の再整備や今後のあり方を検討し、利用者の利便性向上を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市環境基本計画
- 富山市空家等対策計画

政策 3 循環型社会の形成

ごみの排出抑制とリサイクルによる資源循環を推進します。

施策 1 環境にやさしいライフスタイルの推進

- ごみの発生抑制に取り組み、ごみをできるだけ出さないライフスタイルへの転換を図ります。
- 民間事業者と連携し、日常生活でリユース活動に取り組みやすい環境の整備を推進します。
- プラスチックをはじめ、資源の分別回収や再資源化を促進し、包括的な資源循環に取り組みます。

施策 2 サーキュラーエコノミー（循環経済）の推進

- サーキュラーエコノミーの実現に向け、市民や事業者の理解促進や意識醸成を図ります。
- 従来の「大量生産・大量消費・大量廃棄」という持続困難な経済システムから、資源や環境への対応を新たな付加価値とする経済システムへ転換し、持続的な発展を目指します。
- 地域特性を生かした循環資源や再生資源の活用により、付加価値を創出し、地域の活性化を図ります。

施策 3 環境学習の充実

- ３R推進スクールやエコタウン学園などの環境学習講座の実施により、子どもから大人まで、幅広い世代の市民がごみの減量化・資源化を身近に体験し、学ぶことができる機会を提供します。
- 資源循環の取組や海洋ごみなどの環境問題について、情報発信や学習コンテンツの充実に取り組みます。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市環境基本計画
- 富山市一般廃棄物処理基本計画

政策 4 ゼロカーボンの推進

2050年のゼロカーボンシティの実現に向けた取組を推進します。

施策 1 再生可能エネルギーの導入拡大・活用推進

- 太陽光発電を柱に、中小水力、バイオマスなどを組み合わせて再生可能エネルギーの導入拡大・活用推進を図り、電力の脱炭素化を推進します。

施策 2 省エネルギー化の推進

- 住宅のZEH化や省エネルギー設備の導入を支援し、地域の省エネルギー化を推進します。
- 中小企業のGXを推進するため、省エネルギー診断の受診や脱炭素設備の導入を支援し、脱炭素経営の促進を図ります。

施策 3 エネルギービジネスの活性化

- 再生可能エネルギーの地産地消を推進し、エネルギー関連サービスの振興に繋がるビジネスモデルの構築を目指します。
- 環境先進都市として、開発途上国での脱炭素等の環境技術導入に向けた市内企業の取組を支援します。

施策 4 多様なステークホルダーとの協働

- 脱炭素社会の実現に向けて、市民・事業者・行政が一体となり、地域全体でエネルギープロジェクトに取り組む基盤の拡大を図るとともに、環境教育を推進します。
- 環境問題等の解決に向けて、国内外の自治体や国際機関等との連携を図ります。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市環境基本計画
- 富山市地球温暖化対策推進計画

分野
14

文化・芸術

写真①

写真②

写真③

〔取組の方向性〕

文化・芸術の振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、産業等幅広い分野との連携や市民との協働により、富山ならではの新たな価値を創造し、都市の魅力向上と活性化につなげます。

- 富山市は、ガラス、舞台芸術、デザイン、民俗民芸、文化遺産、伝統行事など、多様な文化・芸術資源を培ってきました。これらは、市民の創造的な活動を支えるとともに、観光やまちづくり、地域経済にもつながる富山ならではの魅力となっています。
- 一方、これらの文化・芸術資源を守り、発展させていくには、さらなる魅力向上や情報発信のほか、観光、まちづくり、国際交流、産業等関連する幅広い分野との連携が求められています。また、市民参加の拡大や伝統文化の担い手不足への対応も課題となっています。
- 今後、文化・芸術の振興だけでなく、相乗効果が期待できる他分野との連携を視野に入れた総合的な文化・芸術施策を展開し、文化・芸術による富山ならではの新たな価値を創造することにより、都市の魅力向上と活性化につなげます。また、市民による多様な文化活動の促進、地域に根差した伝統文化の継承を通じて、郷土への愛着と誇りの醸成を図り、富山の文化・芸術を次世代へつなげます。

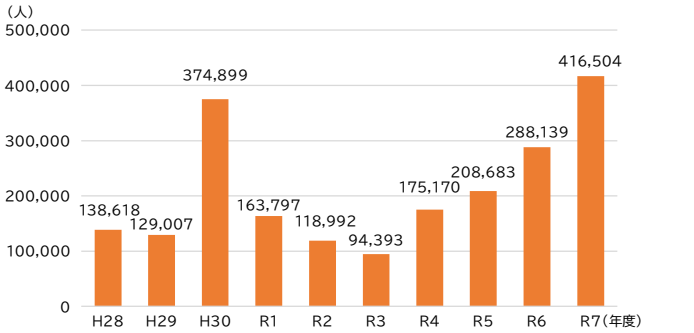
文化・芸術分野に関連するSDGsゴール



〔現状と課題〕

① 文化・芸術による富山ならではの新たな価値を創造する取組が求められています。

富山市ガラス美術館来館者数の推移

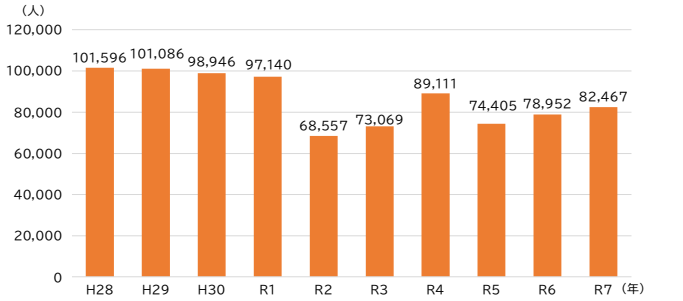


出典:富山市調査

ガラス文化や舞台芸術への関心は高まっていますが、市民へのさらなる浸透や全国的・国際的な認知度の向上には課題があります。国内外に富山の文化・芸術の魅力を戦略的・効果的に発信するとともに、文化・芸術との相乗効果が期待できる幅広い分野と連携した取組が求められています。

② 文化・芸術の魅力を産業や観光につなげる取組が求められています。

富山ガラス工房「創作工房(レンタル工房)延べ利用者数」の推移

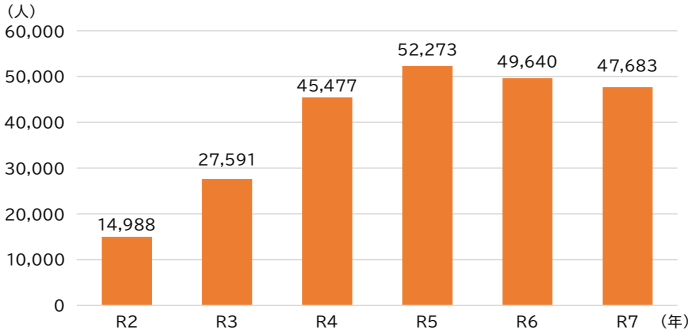


出典:富山市調査

ガラス文化をはじめ、これまで培ってきた富山ならではの強みはありますが、さらなるブランド価値の向上や普及展開に課題があります。観光面や商業的な価値を高めるとともに、富山らしさをさらに発信する取組の推進が必要です。

③ 市民が日常的に文化・芸術に親しむ機会のさらなる充実が求められています。

市民文化振興事業の来場者数の推移



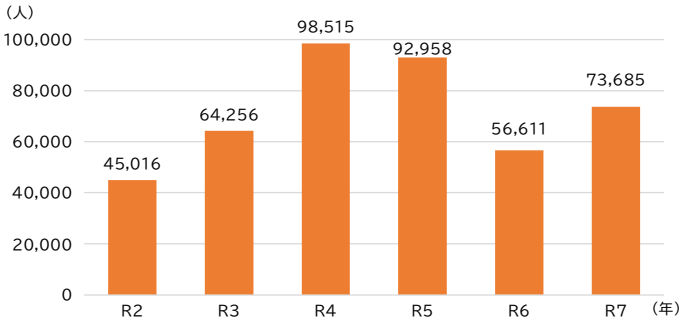
出典:富山市調査

※市民文化振興事業:音楽、演劇、舞踊等多様で質の高い芸術文化を市民に提供し、魅力ある文化の創造に寄与する事業

市民が自主的に行う文化・芸術に関する創作・発表の場や、鑑賞機会の提供等の取組は行われていますが、引き続き、市民の自主的な活動を促進していくことが必要です。市民が日常的に多様な文化・芸術に親しみ、気軽に文化活動を楽しむ機会をより一層充実させることが求められています。

④ 伝統文化や文化遺産等を活用し、次世代へ継承するための対策が必要です。

文化遺産等の対象施設の利用者数



出典:富山市調査

※対象施設:浮田家、森家、馬場家、婦中安田城跡歴史の広場、北代縄文広場

地域ならではの伝統文化の継承や文化遺産の保存・活用が進められているものの、担い手不足や計画的な保存・整備などに課題があります。地域資源や観光資源として活用しながら、次世代に魅力や価値を伝える持続可能な取組の推進が必要です。

〔取組の進捗を測る主な指標〕

ガラス関連施設への入場者数

基準 富山市ガラス美術館 352,322人(令和6~7年度平均)
富山ガラス工房 79,601人(令和3~7年度平均)

目標 富山市ガラス美術館 350,000人(令和13年度)
富山ガラス工房 80,000人(令和13年度)

富山市調査

市民文化振興事業における入場率

基準 79.6%(令和7年度)

目標 82.5%(令和13年度)

富山市調査

富山デザインフェアアンケートの満足度「満足」の割合

基準 63.4%(令和7年度)

目標 75.0%(令和13年度)

富山市調査

文化遺産等の対象施設の利用者数

基準 73,685人(令和7年度)

目標 77,800人(令和13年度)

富山市調査

政策 1 観光・まちづくり・産業等との連携による質の高い文化・芸術の共創

富山ならではの新たな価値を創造し、さらなる魅力の創出を図ります。

施策 1 富山ならではの文化・芸術の創造

- 富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）を拠点に、国内外の多様な音楽や舞台芸術に関する公演を開催し、質の高い文化・芸術の発信や鑑賞の機会を提供します。
- 多様な文化・芸術に関わる人々との協働や市民参加型の創作活動により、富山ならではのユニークな文化・芸術に触れる機会を提供します。
- 文化・芸術分野にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、産業等幅広い分野と連携し、富山ならではの新たな価値を創造することにより、来訪者の増加や交流促進、地域内での滞在、消費の拡大を図り、文化・芸術の価値を生かした地域経済の活性化につなげます。

施策 2 「ガラスの街とやま」の推進

- 富山ガラス造形研究所、富山ガラス工房、富山市ガラス美術館の3施設が連携し、人材育成から制作、展示、販売までを一体的に進め、「富山ガラス」のグローバルな発展と発信により「ガラスの街とやま」をさらなるステージに押し上げます。
- 外部講師の招聘や公開講座の実施により、ガラス作家の育成や技術力の向上を支援します。
- ガラスの制作体験やワークショップの開催などを通じて、市民が日常的にガラスに触れる機会を提供します。
- 富山ガラス工房や富山市ガラス美術館のショップ等において、「富山ガラス」作品の販売促進に取り組み、市民への普及と創作活動の産業化を推進します。

【関連施策】観光・交流　政策1－施策4

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市文化創造都市ビジョン
- ガラスの街づくりビジョン

政策 2

市民文化活動への支援

多様な文化活動への参加を促し、市民の創造性と交流を広げます。

施策 1

多様な文化・芸術に親しむ機会の充実

- 富山市民芸術創造センターを拠点に、ジャンルを超えて文化・芸術活動を担う人々の交流を促進します。
- 公民館等の地域の施設での出張コンサートなど、市民が文化・芸術を身近に感じることのできる機会を提供します。
- 幅広い世代に合わせた公演やイベントを開催するとともに、市民の創作活動を発表する場を提供することにより、文化・芸術に取り組みやすい環境を整えます。
- 子ども向けの公演やストリートピアノなど、幼少期から日常的に多様な文化・芸術に触れる機会を創出します。

施策 2

市民の創造性と交流拡大に向けたデザイン活動の支援

- 優れた商業デザインや広告デザインの展示イベント、デザインセミナー、トークイベント、ワークショップなどを通じて、市民が広くデザインに親しむ機会を提供します。
- 学生や若手デザイナー、教育機関、企業との連携による企画を充実させ、次代を担うデザイン人材の育成を促進します。

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市文化創造都市ビジョン

政策 3

伝統文化の継承と文化遺産の活用

地域に根ざした伝統文化を守り生かし、次世代へつなぐ取組を進めます。

施策 1 文化遺産等の保存・活用

- 指定・登録文化財や未指定文化財の計画的な保存・整備を進め、観光資源や地域資源として活用します。
- 史跡の保存・活用を図ることにより、史跡の魅力や価値を幅広い人々に周知し、後世に継承します。

施策 2 地域の伝統文化の継承

- 富山を代表する伝統文化である「おわら風の盆」や「曳山祭り」について、担い手の育成や新たな魅力の創出・発信を図り、持続可能な伝統行事として継承していきます。
  【関連施策】観光・交流　政策１－施策３
- 地域の自然や歴史、文化財などに実際に触れる学習機会を通じて、子どもたちの郷土への愛着と誇りの醸成を図ります。
  【関連施策】郷土愛　政策２－施策２
- 途絶えていた伝統行事の復活など、地域による伝統や文化の継承に向けた取組を支援します。
  【関連施策】地域コミュニティ　政策４－施策２

取組の写真、イラストなど

主な関連計画
- 富山市文化創造都市ビジョン
- 富山市文化財保存活用地域計画

第Ⅲ部 分野横断重点テーマ

前期基本計画では、基本構想で掲げる将来像の実現に向け、各分野における取組の方向性を「分野別の政策」として体系的に示しています。あわせて、複数の分野が連携して対応すべき課題については、「分野別の政策」と連動させながら、一体的、戦略的に取組を進めます。

富山市の最重要課題である人口減少・少子化対策をはじめ、デジタル技術の活用、災害への備え、脱炭素社会への移行、公共施設や社会インフラの老朽化への対応、多様な人材が活躍できる共生社会の実現といった、今後5年間で特に重視すべき課題については、「分野横断重点テーマ」として位置付けます。

これらのテーマに対し、関連する分野の政策・施策を横断的に展開することで、基本構想で示した経済・社会・環境の変化に的確に対応していきます。

テーマ 1

人口減少・少子化対策

テーマの背景と方向性

加速する人口減少や少子高齢化は、労働力不足、地域経済の縮小、税収減に伴う行政サービスの低下、地域コミュニティの担い手不足、公共交通の衰退、空き家・空き地の増加など、市民生活や地域経済に様々な影響を及ぼします。

富山市では、人口減少のスピードを緩やかにするため、多様な価値観や考え方を尊重しながら、結婚したい人が結婚し、子どもを持ちたい人が安心して産み育てることができる社会の実現や、若者や女性を含め、誰からも「選ばれるまち」の実現を目指し、部局横断で人口減少・少子化対策に取り組みます。

あわせて、人口減少社会にあっても、生産性を保ち、市民が幸せに暮らすことができるよう、人口減少に適応するための施策についても取り組みます。

関連する主な分野

健康・福祉・医療、結婚・出産・子育て、教育、スポーツ、地域コミュニティ、郷土愛、行政・パートナーシップ、都市・交通、防災・防犯、産業・雇用、観光・交流、農林水産、環境、文化・芸術

主な取組

- 若い世代のライフデザインの支援
- 出会いの場の創出・結婚支援
- 妊娠・出産・子育て・教育の切れ目ない支援
- 若者や女性にとって魅力的な雇用機会の創出
- 移住・二地域居住、UIJターンの促進
- シティプロモーションの推進、関係人口・交流人口の創出・拡大
- DX推進などによる人材不足への対応
- 空き家・空き地対策の推進

テーマ 2

DX・デジタル技術による暮らしと産業の変革

テーマの背景と方向性

デジタル技術の進展により、市民サービス、地域活動、教育、産業のあり方は大きく変化しています。

富山市が進めてきたスマートシティ政策をさらに推進し、行政サービスや市民生活の利便性向上、地域活動の効率化、教育ＤＸの推進、官民連携による産業の生産性向上や新たな価値の創出につなげます。

関連する主な分野

健康・福祉・医療、教育、スポーツ、地域コミュニティ、行政・パートナーシップ、都市・交通、防災・防犯、産業・雇用、農林水産

主な取組

- 行政サービス・公共施設利用のデジタル化
- ＩＣＴを活用した市民生活・地域活動の効率化
- 教育ＤＸの推進
- 市内企業のＤＸ推進による生産性の向上
- デジタル人材の育成・活用
- ＡＩ・ＩｏＴ等を活用した新たな価値の創出

テーマ 3

安全・安心を支える防災力の強化

テーマの背景と方向性

令和６年能登半島地震をはじめとする近年の災害を受けて、地震や豪雨など大規模災害への備えの重要性が改めて認識されています。

市民の命と暮らしを守るため、地域における自助・共助の力を高めるとともに、公共施設や社会インフラの強靱化や消防・救急体制の整備、デジタル技術やデータの利活用による迅速な情報共有や災害対応力の向上を図ることで、安全・安心を支えるまちの基盤を強化し、災害に強い「都市レジリエンス」の向上を図ります。

関連する主な分野

地域コミュニティ、行政・パートナーシップ、都市・交通、防災・防犯、産業・雇用

主な取組

- 地域防災力の向上
- 防災人材の育成と地域防災活動の支援
- 公共施設や社会インフラ等の耐震化・強靱化
- 消防・救急体制の整備
- 災害時における多様な住民への支援体制の強化

テーマ 4

脱炭素化・GXの推進と豊かな自然環境の保全

テーマの背景と方向性

気候変動への対応や脱炭素社会への移行は、市民生活や産業活動の持続可能性に直結する重要な課題です。

コンパクトシティ政策を基盤とした持続可能な都市構造の形成を進めるとともに、富山の豊かな自然環境を守りながら、再生可能エネルギーの活用や企業のＧＸ、省エネルギー化を促進し、環境と経済が調和したまちづくりを進めます。

関連する主な分野

都市・交通、産業・雇用、観光・交流、農林水産、環境

主な取組

- ゼロカーボンシティの推進
- 企業のＧＸ・省エネルギー化の促進
- 再生可能エネルギーの活用促進
- 資源循環と廃棄物の適正処理の推進
- 水辺・森林・里山など自然環境の保全
- 生物多様性に配慮した農林水産業の推進
- 自然空間の活用と環境に親しむ機会の創出

テーマ 5

公共施設・社会インフラの持続可能なマネジメント

テーマの背景と方向性

高度成長期に整備された公共施設や道路、橋梁、上下水道、公園などの社会インフラは、今後一斉に更新時期を迎えます。人口減少や財政的な制約の中にあっても、市民生活や地域活動、災害時の安全、スポーツ・文化活動などを支える機能を維持していくことが求められます。

公共施設や社会インフラの老朽化状況、利用実態などを踏まえ、コンパクトなまちづくりと連動した計画的な保全・更新や長寿命化、再編、民間活力の導入、柔軟な利活用、適切な情報提供と合意形成などを進め、持続可能で魅力ある都市基盤の形成を目指します。

関連する主な分野

健康・福祉・医療、結婚・出産・子育て、教育、スポーツ、地域コミュニティ、行政・パートナーシップ、都市・交通、防災・防犯、文化・芸術

主な取組

- 公共施設の計画的な保全・更新と再編
- 施設本来の用途にとらわれない柔軟な利活用
- 民間活力を生かした公共施設の管理・運営
- 道路、橋梁、上下水道、公園等の長寿命化・計画的な維持管理
- スポーツ施設・文化施設の機能維持と魅力向上

テーマ 6

多様な人材が活躍できる共生社会の実現

テーマの背景と方向性

地域や企業活動などを支える人材が多様化する中、性別、年齢、障害の有無、国籍などにかかわらず、誰もが自分らしく力を発揮できる環境づくりが重要になっています。

多文化共生や男女共同参画、柔軟な働き方、外国人材の受入環境づくりなどを進め、多様な人材が互いに「違い」を認め、高め合うことができる共生社会の実現を目指します。

関連する主な分野

健康・福祉・医療、結婚・出産・子育て、教育、地域コミュニティ、郷土愛、防災・防犯、産業・雇用

主な取組

- 多文化共生の推進
- 多様な人材が働きやすい就業環境の整備
- 柔軟な働き方や仕事と生活の両立支援
- 外国人材の受入環境づくりと職場定着支援
- 男女共同参画の推進
- 高齢者・障害のある人の社会参加と地域生活支援